

# 二之宮洗橋遺跡

一般国道17号（上武道路）改築工事に伴う  
埋蔵文化財発掘調査報告書

〈写真図版編〉  
観 察 表

1994

建 設 省  
群 馬 県 教 育 委 員 会  
（財）群馬県埋蔵文化財調査事業団



〔群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告第166集〕

# 二之宮洗橋遺跡

一般国道17号（上武道路）改築工事に伴う  
埋蔵文化財発掘調査報告書

〔写真図版編〕  
〔観察表〕

1994

建設省  
群馬県教育委員会  
〔群馬県埋蔵文化財調査事業団〕





## 観察表凡例

- 本文中に掲載した出土遺物の特徴については、この観察表で一括して記す。  
遺物は出土した遺構単位で掲載頁の順に掲載した。観察表にはスペースの都合で略語・記号や慣用語を多く使用した。
- 遺物番号は本文中の番号や写真図版の番号と同じである。
- 器種には器形と（土器種類）を併せて記した。金属製品や石製品では製品名を記した。
- 計測値はセンチメートルを単位とし、ミリメートルの単位まで実際に遺物を計測した値を記した。そのため、実測図から得られるデータと数値は必ずしも一致しない。計測値は外径である。歪みの大きな遺物は最小値と最大値を～を使って併記した。図上復元の値には（ ）を、残存値には〔 〕を付した。計測部位の表示に下記の略語を使用した。

「口」口縁部径 「頸」頸部径 「胴」胴部径 「台」高台等の下端径 「高」器高  
「紐」蓋の紐部径 「長」土鍾等の長さ 「径」土鍾等の最大径 「重」重量（単位g）

- 出土・復元状況は、遺跡での出土状況と整理作業での復元状況を記した。床面や底面からの高さを+（単位cm）で示した。■は接合を示す。流路あとの窪地で遺物出土位置のドットがおちているものに※印をつけた。また復元状況で分数を使用している場合、分母は8までとし、1/8以下の表記には小破片とか若干と表現した。

- 成・整形技法と器形の特徴については次のとおりである。ロクロ（回転台などの総称）使用の土器は「回転の方向」→「切離しの手法」→「切離し後の調整」の順で記した。切離し後の調整でロクロ使用のものは、成形段階と異なる回転方向の場合のみ、その方向を記した。回転痕跡の表現では指や工具によって生じた線を「ロクロ痕」、回転によって生じた擦痕を「横ナデ」とした。特にロクロ不使用の土器に見られる「横位ナデ」と区別した。

ヘラ削りについては、粘土をそぎ落とすようにしたものを「強い」、なま乾き状態で擦痕が目立つものを「弱い」と表現した。

器形については、特記事項の他は、歪みなど図示だけでは表現の難しいものの記載にとどめた。

- 備考は「①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他」の順で記した。

①胎土は素地と混入鉱物に分けて記した。素地については精密の観察に主眼をおいた。混入鉱物は肉眼観察によるものである。赤褐色鉱物・黒色鉱物等としたものは鉄を主成分にするものと思われる。砂粒は農学会の表記方法を使用した（細砂→0.2mm以下、粗砂→0.2～2mm、細礫2mm以上）。

②焼成は焰の種類と焼き上がりの状態を記した。焰の種類は酸化焰と還元焰の他に、平安時代後半以降に現れる中間的なものを中性焰と記した。状態については軟調と硬調に分けた。

③色調には「新版標準土色帖」（日本色研事業株式会社）を使用した。二次的的被熱による変色や付着物のない部分のうち、特徴的な場所を選んだ。「土色帖」の色名を使用した場合は必ず記号を併記して、「一部黄色味をおびている」というような補助的記載と区別している。

④その他では、土器は二次被熱・付着物・凍てハゼなど、焼成後に加わった特徴を記した。陶磁器では類推される生産地と年代をこの項に加えた。

# 目 次

## 凡 例

1号住居出土遺物	1
2号住居出土遺物	1
3号住居出土遺物	2
4号住居出土遺物	4
5号住居出土遺物	4
6号住居出土遺物	4
7号住居出土遺物	5
8号住居出土遺物	6
9号住居出土遺物	6
10号住居出土遺物	7
11号住居出土遺物	8
12号住居出土遺物	9
窪地出土遺物	10
窪地出土の墨書土器	29
1号溝出土遺物	44
2号溝出土遺物	48
6号溝出土遺物	49
8号溝出土遺物	49
9号溝出土遺物	50
10号溝出土遺物	50
12号土坑出土遺物	51
水田出土遺物	51
舶載磁器	51
遺構外出土木製品	52
遺構外出土遺物	53
旧流路跡の窪地出土漆附着の土器	54
住居出土こも編石	54

## 写真図版目次

- PL-1 二之宮洗橋跡出土の特殊遺物  
墨書土器・円筒瓦・磁石  
漆付着の土師
- PL-2 漆模物質の顕微鏡写真  
写真1, 漆1の落射光による写真 (×100)  
写真2, 漆1の透過光による写真 (×200)  
写真3, 漆2の落射光による写真 (×100)  
写真4, 漆2の透過光による写真 (×100)  
写真5, 漆2'の落射光による写真 (×100)  
写真6, 漆2'の透過光による写真 (×100)  
写真7, 漆4の落射光による写真 (×100)  
写真8, 漆4の透過光による写真 (×200)  
写真9, 漆5の落射光による写真 (×100)  
写真10, 漆5の透過光によつて写真 (×100)  
写真11, 漆6の落射光による写真 (×100)  
写真12, 漆6の透過光による写真 (×100)  
写真13, 漆7の落射光による写真 (×100)  
写真14, 漆7の透過光による写真 (×400)  
写真15, 漆8の落射光による写真 (×400)  
写真16, 漆8の透過光による写真 (×400)
- PL-3 遺跡付近の航空写真
- PL-4 1号住居  
住居群全景 (北から)  
1号住居全景  
1号住居遺物出土状態 (南から)  
1号住居セクション (西から)
- PL-5 2・3号住居  
2号住居全景 (西から)  
2号住居遺物出土状態  
2号住居カマド遺物出土状態  
2号住居カマドセクション  
3号住居全景  
3号住居遺物出土状態  
3号住居セクション (東から)  
3号住居セクション (南から)
- PL-6 4号住居  
4～7号住居全景  
4号住居全景 (西から)  
4号住居屋下矢板跡 (南西コーナー付近)  
4号住居カマド振り方セクション  
4号住居カマド振り方
- PL-7 5・6号住居  
5号住居全景 (西から)  
5号住居カマドセクション  
6号住居全景 (西から)  
6号住居遺物出土状態  
6号住居カマド振り方  
6号住居セクション (西から)  
6号住居貯蔵穴セクション  
6号住居カマド振り方セクション
- PL-8 7・8号住居  
7号住居全景 (西から)  
7号住居セクション (南から)  
7号住居遺物出土状態  
7号住居カマドセクション  
8号住居全景 (西から)  
8号住居遺物出土状態 (西から)
- 8号住居カマド遺物出土状態  
8号住居カマド振り方
- PL-9 9・10号住居  
9号住居全景 (西から)  
9号住居セクション (南から)  
9号住居遺物出土状態  
9号住居カマド振り方  
10号住居全景 (西から)  
10号住居セクション (南から)  
10号住居セクション  
10号住居振り方
- PL-10 11・12号住居  
11号住居全景 (西から)  
11号住居遺物出土状態  
12号住居全景 (西から)  
12号住居遺物出土状態  
12号住居セクション (西から)  
12号住居カマド  
12号住居カマドセクション  
12号住居カマド振り方
- PL-11 獨立柱建物  
1号獨立柱建物全景 (西から)  
P 2・P 2'セクション  
P 3セクション  
P 4セクション  
1・2号獨立柱建物全景 (西から)  
2号獨立柱建物P 8セクション  
2号獨立柱建物全景 (南から)  
2号獨立柱建物P 6セクション
- PL-12 1～4号土坑  
1・2号土坑全景 (西から)  
3・4号土坑 (南から)  
1号土坑 (南から)  
1号土坑セクション  
2号土坑 (南から)  
2号土坑セクション  
3号土坑 (南から)  
3号土坑セクション
- PL-13 4～7号土坑  
4号土坑 (南から)  
4号土坑セクション  
5号土坑 (南から)  
5号土坑セクション  
6号土坑 (北東から)  
6号土坑セクション  
7号土坑 (南から)  
7号土坑セクション
- PL-14 8～12号土坑  
8号土坑 (北から)  
8号土坑セクション  
9号土坑 (西から)  
9号土坑セクション  
10号土坑 (南から)  
10号土坑セクション  
11号土坑セクション  
12号土坑遺物出土状態
- PL-15 洗橋跡の遺地(1)

- 流路跡の窪地の全景  
 1～4区全景  
 セクション  
 磁石出土状態  
 遺物出土状態
- PL-16 流路跡の窪地(2)・溝  
 流路跡遺物出土状態  
 流路跡遺物出土状態  
 1号溝南半全景  
 1号溝セクション  
 1号溝北半全景  
 1号溝遺物出土状態  
 2号溝全景(南から)  
 3・4・5号溝全景(南から)
- PL-17 溝  
 8・9・10号溝全景(東から)  
 6号溝セクション  
 8号溝セクション  
 9号溝遺物出土状態  
 10号溝セクション
- PL-18 C区の水田  
 C区水田全景(西から)  
 C区第1面水田  
 C区第1面水田(西から)  
 C区第2面水田(南西から)  
 C区第2面水田(南から)
- PL-19 A区の水田  
 A区水田全景(南東から)  
 A区水田(北東から)  
 A区水田(西から)  
 A区水田(南から)  
 A区水田(南から)
- PL-20 竪穴住居出土遺物(2～8号住居)  
 PL-21 竪穴住居出土遺物(9～12号住居)  
 PL-22 流路跡の窪地出土遺物(1～72)  
 PL-23 流路跡の窪地出土遺物(73～156)  
 PL-24 流路跡の窪地出土遺物(164～254)  
 PL-25 流路跡の窪地出土遺物(255～335)  
 PL-26 流路跡の窪地出土遺物(312～352)
- PL-27 窪地出土の黒書土器(1～24)  
 PL-28 窪地出土の黒書土器(25～37)  
 PL-29 窪地出土の黒書土器(58～83)  
 PL-30 窪地出土の黒書土器(84～121)  
 PL-31 窪地出土の黒書土器(122～151)  
 PL-32 窪地出土の黒書土器(150～194)  
 PL-33 窪地出土の黒書土器(193～237)  
 PL-34 1号溝出土遺物  
 PL-35 湧・土坑出土遺物および縄文時代遺物  
 PL-36 縄文時代の石器  
 PL-37 木製品および遺構外出土遺物  
 PL-38 こも堀石および膠付着の土器  
 PL-39 粘土分析電子顕微鏡写真(1)  
 分析試料No.1 電子顕微鏡写真  
 分析試料No.3 電子顕微鏡写真
- PL-40 粘土分析電子顕微鏡写真(2)  
 分析試料No.5 電子顕微鏡写真  
 分析試料No.7 電子顕微鏡写真
- PL-41 木製品の樹種顕微鏡写真(1)  
 1 a, マツ属単軸管束系属(横断面)  
 1 b, 同(接線断面)  
 1 c, 同(放射断面)  
 2 a, モミ属(横断面)  
 2 b, 同(接線断面)  
 2 c, 同(放射断面)  
 3 a, ヒノキ属(横断面)  
 3 b, 同(接線断面)  
 3 c, 同(放射断面)
- PL-42 木製品の樹種顕微鏡写真(2)  
 4 a, ケヤキ(横断面)  
 4 b, 同(接線断面)  
 4 c, 同(放射断面)  
 5 a, ヤマブツ(横断面)  
 5 b, 同(接線断面)  
 5 c, 同(放射断面)  
 6 a, モモ(横断面)  
 6 b, 同(接線断面)  
 6 c, 同(放射断面)
- PL-43 珪藻化石・花粉化石顕微鏡写真

## 1号住居出土遺物 (本文12頁)

No.・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
1 杯(土師)	口(11.4)	南側+6cm 口 底 底 底	素地の原因で器面は不鮮明となっているが、外底の磨りは鋭い。内面のナデは丁寧に丁寧に仕上げている。	①着しこ細かな素地。赤褐色胎物混入。 ②酸化焰。やや軟調。 ③焼5YR6/6。内面彩度低く断面一部灰色味をおびる。

## 2号住居出土遺物 (本文14頁～ P.L-20)

No.・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
1 蓋(須恵)	口(9.8)	+34cm 埋没土 図示部の写	左回転ロクロか。ロクロ痕は弱い。外面天井部に弱い回転ヘラ磨り。	①素地普通。白色砂粒の混入やや多い。 ②還元焰。普通。③灰N4/0。断面は明度高い。 ④外面にターレット状の光沢のある黒色の付着物あり。
2 脚付き盤 (須恵)	高(6.0)	+30cm 脚 底	4ヶの方形溝しかのある盤の脚部と思われる。右回転ロクロ使用。上面の割口は平坦で盤の底部から割られたものと思われる。透かしは鋭い工具で外面から穿っており面取りを加えている。	①素地普通。黒色胎物、白色砂粒を少量含む。 ②やや硬調の還元焰。 ③灰7.5Y6/1。断面までほぼ一様。
3 杯(土師)	口 10.6 高 3.5	電火床上3片 ほぼ完形	乾燥のすんだ状態で外面の磨りを行っていない。内面は器面に細かな凹凸がある。	①素地きわめて細かい。パミスまじりの砂粒やや多い。②やや硬調の還元焰。 ③焼7.5YR7/6。断面までほぼ一様。
4 杯(土師)	口(12.2) 高(4.2)	電火床上+ +6cm等10片 口 底 底	外面は細太で丁寧な磨り。内面ナデも丁寧に布状のやや粗い磨痕が通っている。	①素地やや硬調。1mm大の礫まじりの砂粒を少量含む ②還元焰。やや硬調。③において7.5YR5/3。外面に赤色味をおびる部分あり。
5 杯(土師)	口 10.2～ 10.8 高 3.4	電内+床直 +32cm 36個体	外面の磨りは不規則。内面のナデは布状の磨痕が口縁部に通っている。外底にモミ状の圧痕が残っている。	①素地普通。パミス、輝石等のまじる粗砂やや多い。 ②還元焰。やや軟調。 ③において5YR6/4。外底に広い黒斑あり。
6 杯(土師)	口(10.0)	+29cmの2片 図示部の写	外面の磨りは強くやや硬。無調整部分が広く残っている。外面口縁部には鋭い磨痕が通る。内面のナデは丁寧。	①素地普通。1mm大の礫、赤褐色胎物等を含む。 ②還元焰。やや硬調。 ③において5YR7/4。ほぼ一様。
7 杯(土師)	電内+47cm 図示部の写		外面の磨りは弱く丁寧に無調整部分が残っていない。内面は丁寧に仕上げてあり平滑。	①素地やや硬調。赤褐色胎物。2mm大の礫等を少量含んでいる。②還元焰。普通。 ③において7.5YR7/4。断面は彩度低い。
8 杯(土師)	口 20.4	+33cmの3片 図示部の写	外面の磨りは丁寧に細かく無調整部分が残っていない。内面のナデも丁寧に細太の布状の磨痕が通っている。	①素地普通。パミス、輝石等の混入物を含んでいる。 ②還元焰。やや硬調。 ③焼5YR6/6。断面一部灰色味をおびる。
9 壺(土師)	口 24.2 底 5.7～6.0 高 40.4	電内火床上+ 床直+43cm 上半 写 下半 ほぼ完形	外面の磨りはやや強い。内面もやや平滑に仕上げているが整形痕は不明瞭。口縁外面中に弱い磨痕がある。大型土器としては薄手で軽量。	①素地やや粗い。赤褐色胎物、土粒、パミス等1～3mm大の混入物多い。 ②還元焰。やや軟調。 ③において5YR6/4～黒焼7.5YR3/1。
10 壺(土師)	口 18.7～ 20.4 底 4.3 高 34.7 重 16.5	+33cmの39片 底部付近写を除き 完形	外面の磨りはやや強いが不明瞭。内面の磨きはヘラ状工具の痕跡が残っている。口縁端部は小さく肥厚しているが形状は一定でない。二次焼成の影響は少ない。	①素地やや粗い。1mm大のパミス多い。赤褐色胎物、内四石を含む。 ②還元焰。普通。 ③において赤焼2.5YR5/4～において7.5YR5/3。一様でない。
11 壺(土師)	口 24.0	電内と電火床上 の13片 図示部の写	外面の磨りは丁寧に強い。口縁部ナデは細で器面は不整。内面ナデはやや丁寧。口縁部に内面から強く穿った孔があるが摩滅等の使用痕は無い。	①素地やや粗くボソボソしている。パミス、赤褐色胎物等を含む。 ②還元焰。やや軟調。 ③において黒焼10YR7/3。下方は黒色味をおびている。
12 壺(土師)	口(20.0)	電内+43～ +31cmの13片 図示部の写	外面の磨りはやや強い。口縁部に強いナデを施し粗い磨痕が通っている。内面ナデは細太の工具痕が明確に見える。	①素地普通。輝石、角閃石、1mm大の石英の混入やや多い。②還元焰。やや軟調。 ③において赤焼5YR5/3。黒色味をおびるムラ広い。
13 壺(土師)	口(21.6) 高 10.2	電火床上+ +32～28cm 図示部の写	二次焼成の影響で器面は荒れて不明瞭。外面の磨りは細太で強い。胴部内面は息の長いナデのやや粗い磨痕が残る。	①粗くザラザラしている。1～3mm大の灰白色の粘土が多い。赤褐色胎物、角閃石等を含む。 ②還元焰。普通。③において7.5YR7/3。外面に灰色味をおびるムラ広い。
14 壺(土師)	口(22.0)	電火床上+ +15cm埋没土 図示部の写	外面磨りは縦位と横位がまじっている内面のナデはやや丁寧。内面胴部から口縁中位までの磨痕が著しい。	①素地やや粗い。赤褐色胎物。1mm大の礫まじりの砂粒を含む。②還元焰。普通。 ③において5YR7/4。外面は彩度の低いムラ広い。
15 壺(土師)	口 21.0	19cm(電内) 図示部の写	外面の磨りは強く鋭い。内面のナデはやや丁寧。口縁端部は下方に肥厚しているが形状は一定でない。	①砂粒の混入多くややザラザラしている。輝石、パミスを含む。②還元焰。普通。 ③において7.5YR7/3～黒焼10YR3/1。

遺物観察表

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
16 甕(土師)	口 15.3~ 15.7	甕内 図示部はほぼ充存	外面の削りは規則的でやや強い。内面ナデは布状のやや細かな磨痕が見られるが接合痕が残っている。	①素地やや砂質。赤褐色鉱物、パミス、チャート等やや大粒の混入物多い。②酸化焰。普通。 ③におい黄褐色10YR7/2。外面に黒斑あり。
17 甕(土師)	口(20.0)	+54cm <sup>±</sup> 埋設土 図示部の写	外面の削りは幅広でやや鋭い。内面のナデやや丁寧に平滑に仕上げている。	①ボソボソした素地にパミス、石英等を含む。 ②酸化焰。普通。③灰青2.5Y7/2~黒褐10YR3/2。
18 甕(土師)	口(22.0)	甕内+埋設土の 8片 図示部の写	外面の削りはやや丁寧に鋭い。口縁外端には幅広の帯のみが通っている。内面のナデは指痕程度の長い磨痕が残っている。 不安。	①粗くボソボソの素地。パミス、赤褐色鉱物、1mm大の礫等の混入物多い。②酸化焰。普通。 ③外面におい黄褐色10YR7/3。断面断面におい橙7.5YR7/4。
19 甕(土師)	口(23.4)	甕内+竈火床上 図示部の写	外面は細かくやや雑な削り。口縁部のナデも雑で接合痕が明確に残っている内面は割高多く不明瞭だがナデは布状の粗い磨痕が残っている。	①素地やや粗い。石英、赤褐色鉱物、1mm大の礫を含む。 ②酸化焰。やや軟調。 ③におい黄褐色10YR7/3。断面は明度高い。
20 甕(土師)	口(17.5) 高 33.6 頸 13.0	+33~+28cmの 37片+甕内 頸 写 底 写	外面の削りは強くやや雑で方向も一定でない。内面のナデは丁寧にやや平滑に仕上げている。底部付近は二次焼成で器面は荒れている。	①素地やや粗い。1mm大のパミスの混入物多い。赤褐色鉱物を含む。 ②酸化焰。やや軟調。 ③におい赤褐5YR5/4~黒褐10YR3/1。一樣でない。

3号住居出土遺物 (本文18頁~ P L—20)

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
1 杯(須恵)	口( 9.2) 高 3.5	+3cmの2片 口 写 底 写	右回転ロクロ一回転へラ切りか。外縁部に粘土粒の付着あり。ロクロ痕は弱い。内面は平滑に欠けている。	①素地普通。白色砂粒の混入やや多い。 ②還元焰。普通。 ③灰10Y4/1。断面は紫色味をおびている。
2 杯(須恵)	口 9.2~9.5 高 6.7 高 3.8	床直+8cm 口 写 底 写	右回転ロクロ一回転へラ切り。ロクロ痕弱い。内底中央が大きく凹んでいる。	①素地普通。黒色鉱物等のまじる砂粒を少量含む。 ②還元焰の還元焰。③灰白10Y8/1。および暗青灰5B3/1。内面磨砕状の磨痕が多少かかっている。
3 杯(土師)	口( 9.6)	+44cmの2片 図示部の写	外面の削りは強く鋭い。内面のナデは丁寧。口縁部に小さな波状の空みあり口徑不安。	①やや軟調。少量の粗砂以外混入物少ない。 ②酸化焰。やや軟調。 ③橙5YR6/6。断面までほぼ一様。
4 杯(土師)	口( 9.6)	床直 図示部の写	外面の削りは雑で強く無調整部分が広く残っている。内面のナデは丁寧にやや鋭い磨痕が通っている。	①素地やや軟調。1mm大の礫を少量含む以外混入物少ない。②酸化焰。普通。 ③におい橙5YR6/4。外面下半は褐灰10YR4/1。
5 杯(土師)	口 10.6~ 高 3.9	+6cm ほぼ完形	外面の削りは弱く不明瞭。内面も雑で帯が多。不明瞭だが丁寧なナデの痕が残っている。	①素地普通。パミス、石英、1mm大の礫等雑多な混入物を含む。②酸化焰。普通。 ③におい橙5YR6/3。外底に黒斑あり。
6 杯(土師)	口( 9.8)	+12cm +埋設土 図示部の写	外面の削りは丁寧に強い。内面のナデもやや強く丁寧に仕上げている。口縁外面には鋭い磨痕が通っている。	①素地普通。パミス、輝石、赤褐色鉱物等を含む。 ②酸化焰。やや軟調。③におい黄褐色10YR7/4。赤褐色黒色味をおびるムラあり一様でない。
7 杯(土師)	口(13.0)	+13cmの3片 図示部の写	外面の削りはやや雑。内面は凍てハズレ状の割高が多く整形痕は不明瞭。	①素地普通。パミス、1~2mm大の礫まじりの砂粒やや多い。②酸化焰。やや軟調。 ③におい橙5YR6/4。外底と断面は明度高い。
8 杯(土師)	口(11.0)	床直2片 写顔体	外面の削りは幅太でやや鋭い。内面は丁寧にナデで平滑に仕上げているが底部中央では凹みがある。	①素地普通。微細なパミス、輝石まじりの砂粒を含む。 ②酸化焰。普通。 ③におい橙5YR6/3。外面は黒斑広い。
9 杯(土師)	口(11.0) 高 4.5	床直+4cm 口 写 底 写	外面の磨削長方向は一定している。底部は丸い外面に比べ内面は平坦である。	①素地普通。砂粒を少量含む。気泡がまじっている。 ②酸化焰。普通。 ③におい橙7.5YR5/3。外面に小さな黒斑あり。
10 杯(土師)	口(10.6)	+10cm 図示部の写	外面の削りは丁寧に強い。内面のナデも丁寧に鋭い磨痕が通っている。外面に接物の可能性がある圧痕が残る。	①素地普通。赤褐色鉱物等少量含む。混入物少ない。 ②酸化焰。普通。 ③におい橙7.5YR6/4。ほぼ一様。
11 杯(土師)	口(10.4) 高 3.4	+8cm <sup>±</sup> 埋設土3片 口 写 底 写	外面の削りは幅広で丁寧に強い。口縁の帯のみが通っている。口縁の帯のみが通っている。内面のナデも丁寧に平滑に仕上げている。口縁の帯のみが通っている。	①素地やや軟調。少量の1mm大の礫以外の混入物少ない。②酸化焰。やや軟調。 ③におい橙7.5YR6/4。断面は明度高い。
12 杯(土師)	口( 7.2)	床直の2片 図示部の写	外面の削りは丁寧に強く鋭い。内面のナデも丁寧。	①素地普通。混入物少ない。②酸化焰。やや軟調。 ③におい橙7.5YR7/3。外面一部に黒色味強いムラあり。
13 杯(土師)	口(13.0) 高( 4.7)	床直+6cm +10cm 口 写 底 写	外面は幅広でやや強い削り。	①素地普通。パミス、輝石まじりの砂粒を含む。 ②酸化焰。普通。③におい橙5YR7/4。外面は赤色味や灰色味をおびるムラあり。

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
14 杯(土師)	口(12.2) 高 3.8	床直 片側体	外面の削りはやや強い。内面は底部付近で凹凸が多い。口縁部に小さな波状の歪みあり。	①赤地普通。赤褐色鉱物、パミス、石英等を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③におい橙5.YR7/4。断面までほぼ一様。
15 杯(土師)	口(13.8)	床直 $\pm$ 7cm 顯示部の片	外面の削りは息長くやや鋭い。内面のナゲも丁寧だがやや平滑さに欠ける。	①赤地普通。赤褐色鉱物、パミスのやや多い砂粒含む。 ②酸化焰。普通。③におい橙5.YR6/4。断面明度高い。
16 杯(土師)	口(16.2)	床直 $\pm$ 14cm 顯示部の片	外面の削りは弱い。内面のナゲはやや雑。口縁部のわずかな残存からの復元で不安。	①赤地普通。パミス、輝石等の混入物やや多い。 ②酸化焰。やや硬調。 ③におい橙5.YR7/4。ほぼ一様。
17 杯(土師)	口(12.0)	床直 $\pm$ 7cm 顯示部の片	外面の削りはやや雑だが無調整部分は残っていない。内面はやや平滑さ欠く。	①赤地普通。緑褐色パミスまじりの砂粒を少量含む。 ②酸化焰。やや軟調。③におい橙5.YR6/4。ほぼ一様。
18 杯(土師)	口 13.0 高 4.1	$\pm$ 5cmの2片 列側体	外面の削りは強く中央では一方。内面ナゲも丁寧で平滑に仕上げている。	①赤地普通。パミス、1mm程度の埋まじりの砂粒を少量含んでいる。②酸化焰。③におい橙5.YR6/6。ほぼ一様。 ④橙5.YR6/6～におい橙5.YR7/4。一様でない。
19 杯(土師)	口(17.8) 高 7.3	床直 $\pm$ 4cm $\pm$ 8cm 口 片 底 片	外面の削りは幅太で息長く丁寧。外底では一方。内面のナゲは口縁部に整った擦痕が通っている。	①赤地普通。少量の砂粒が外混入物少ない。 ②酸化焰。やや軟調。 ③橙7.5.YR6/6。外面に黒褐色のムラあり。
20 杯(土師)	口 18.0 高 6.8	床直の4片 口 片 底 片	外面の削り雑で無調整部分あり削りの下にもヒビ割れが多く見られる。内面ナゲ丁寧で口縁部やや粗い擦痕が通っている。	①赤地普通。パミス等のまじる砂粒を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③橙5.YR6/6。外底に黒痕あり。
21 小壺 (土師)	口(6.6) 高 5.6 胴 8.0	$\pm$ 4cm $\pm$ 埋没土 上半 片 下半 片	断面は摩滅して整形痕は不明瞭。薄手で軽量。	①赤地やや緻密。角閃石まじりの砂粒を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③橙5.YR6/6。断面までほぼ一様。
22 甕(須恵)	胴(25.4)	顯示部の片	内面は口周縁の上に下半にアテ具状のやや深い窪みが顕著に見られる。内面はやや平滑で上半に2条の帯状波状文と2条のやや浅い洗線が通る。	①赤地普通。白細礫の混入やや多い。石英、チャートを少量含む。 ②還元焰。普通。 ③暗青5.BK4/L。断面の一部で赤灰色。
23 壺(土師)	口(22.0) 頸(18.2)	床直 $\pm$ 埋没土 顯示部の片	外面の削りは鋭く細かい。無調整部分が残っている。口縁部のナゲは整った鋭い擦痕が通る。内面のナゲは丁寧。	①赤地やや粗い。赤褐色鉱物、輝石等のまじる砂粒やや多い。②酸化焰。③におい橙5.YR6/6。断面一部で黄色味をおびている。
24 壺(土師)	口(21.0)	床直 $\pm$ 4cm $\pm$ 9cm $\pm$ 14cmの9片 顯示部の片	外面の削りはやや丁寧。口縁部は肥厚し丸味が強い。歪みが強く径、傾きとも不安。	①赤地粗い。1～3mm程度の赤褐色鉱物、白色粘土塊大粒粘土等を含む。②酸化焰。やや軟調。 ③におい橙7.5.YR6/4。一様でない。
25 壺(土師)	口(16.0) 頸(13.2)	床直 顯示部の片	外面の削りやや強い。内面のナゲも丁寧で強い。	①赤地やや粗い。パミス、角閃石まじりの砂粒やや多い。②酸化焰。やや硬調。 ③におい黄褐色10.YR6/4。断面、内面は赤色味やや強い。
26 壺(土師)	口(20.0) 頸 17.0	床直の2片 顯示部の片	外面の削りやや強い。口縁部のナゲも強く粗い擦痕が通っている。内面のナゲは丁寧。	①赤地やや粗い。角閃石、赤褐色鉱物まじりの粗砂やや多い。②酸化焰。普通。 ③におい橙7.5.YR7/3。内面一部黄色味をおびている。

## 4号住居出土遺物 (本文21頁 P.L-20)

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
1 杯(土師)	口 12.7	床直 $\pm$ 4cm $\pm$ 5cm 口 片 底 片	外面の削りは幅太でやや鋭い。内面のナゲは丁寧。口縁部は内側に肥厚しているが形状は一定でない。内面に磨成痕と思われる線刻「X」あり。	①赤地普通。パミス、チャート等のまじる砂粒がやや多い。 ②酸化焰。やや硬調。 ③橙5.YR6/6。
2 杯(土師)	口(10.6)	埋没土 顯示部の片	外面の削りは弱い。内面のナゲは丁寧だがやや平滑さに欠けている。	①赤地普通。混入物少ない。②酸化焰。やや硬調。 ③におい橙5.YR6/4。内面やや彩度高い。
3 壺(土師)	口(23.6)	$\pm$ 4cm $\pm$ 埋没土 火床上の4片 顯示部の片	外面の削りやや強い。口縁部ナゲは雑。胴部内面は粘土粒状の凹凸残る。口縁部外縁に弱い窪み通るが形状は一定でない。二次焼成により断面荒れている。	①赤地粗い。1～3mm程度の赤褐色鉱物、白色粘土塊多い。石英、角閃石を含む。 ②酸化焰。やや軟調。 ③橙5.YR6/8～におい黄褐色10.YR7/4。一様でない。
4 壺(土師)	口(26.6)	床直 $\pm$ 埋没土 顯示部の片	径、傾きは異なるが3にほぼ同じ。同一個体である可能性あり。	①～③にほぼ同じ。

遺物観察表

5号住居出土遺物 (本文22頁)

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
1 鉢(土師)	口(18.0)	埋設土5片 図示部の写	外面の削りは幅太で丁寧。内面のナデも丁寧。小破片からの復元で怪不安。	①素地普通。チャート等が少量まじる砂粒を含む。 ②酸化焰。やや軟調。③にぶい橙5YR6/4。断面明度高い。
2 壺(土師)	口(21.0)	窰内⇒床直 埋設土 図示部の写	外面の削りはやや弱い。内面のナデは強く幅広く削い。磨痕が残っている。口縁外面上半に強い押入を施し肩部は小さく肥厚している。	①ボソソしたやや粗い素地。赤褐色鉱物、輝石、石英等を含む。 ②酸化焰。やや軟調。 ③洗黄2.5Y7/3。一部に黒斑あり。
3 壺(土師)	口(22.6)	床直の4片 図示部の写	外面の削りは弱い。口縁中位に指頭状の圧痕がある。内面のナデはやや丁寧で磨痕が残っている。厚手で重量。	①素地やや粗い。パミス、角閃石等を含む。 ②酸化焰。やや軟調。 ③洗黄2.5Y7/3。内面は明度低い。

6号住居出土遺物 (本文25頁 P L—20)

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
1 杯(須恵)	口(10.0) 底 7.2 高 3.4	+4cm <sup>2</sup> +10cm 口写 底 完存	右回転ロクロー⇒外底全面に回転ヘラ削り。内底で同心円状のロクロ痕強い。	①素地普通。黒色鉱物、白色砂粒等を含んでいる。 ②還元焰。普通。 ③青灰5BG6/1。口縁外面は明度低い。
2 杯(土師)	口 10.2 高 3.0	窰内 写個体	断面摩滅し整形痕は不明瞭。内底に焼成後の線刻「×」あり。	①素地普通。輝石、パミス等の混入物や多い。 ②酸化焰。硬調。③橙5YR6/6。ほぼ一様。
3 杯(土師)	口(13.4)	+15cm <sup>2</sup> + 10cm⇒埋設土	外面の削りは細かく強い。内面はやや丁寧なナデ。小破片からの復元で怪不安。平面形に歪み大きい。	①素地普通。0.5mm大の礫、輝石等がまじる。 ②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい橙5YR6/4〜薄灰5YR5/1。
4 杯(土師)	口(12.4)	埋設土3片 図示部の写	外面の削りは弱いが丁寧。内面のナデも丁寧でやや粗い磨痕が残っている。	①素地普通。パミス、1mm大の礫を少量含んでいる。 ②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい橙5YR6/4。断面は明度低い。
5 杯(土師)	口(11.0) 高 2.8	床直⇒+4cm ⇒埋設土 口写 底 写	外面の削りはやや弱い。内面はやや平滑さに欠けている。	①素地普通。パミス、輝石等の微細な混入物を含む。 ②酸化焰。やや硬調。 ③にぶい橙5YR7/4。
6 杯(土師)	口 10.7 高 2.8	+7cm <sup>2</sup> + 8cm <sup>2</sup> 埋設土 写個体	外面の削りは幅太で強い。内面のナデはやや平滑さに欠けている。平面形に歪みやや不安。	①素地普通。パミス、赤褐色鉱物まじりの砂粒を含んでいる。②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい橙5YR6/4〜薄灰10YR6/1。
7 杯(土師)	口 12.7〜 13.2 高 4.0	写個体	外底は幅広くやや強い削り。内底のナデも強いが磨面はやや平滑さに欠ける内面の広い範囲と外底の一部にワルシ状の付着物あり。	①素地普通。パミス、輝石、1mm大の礫等の混入や多い。 ②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい橙5YR6/4。断面は明度高い。
8 杯(土師)	口 13.6	+12cm <sup>2</sup> 埋設土 口写 底 写	3とほぼ同巧。	①素地普通。赤褐色鉱物、輝石、雲母細片等を含む。 ②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい黄褐10YR7/2〜にぶい橙5YR6/4。
9 杯(土師)	口 13.2 高 3.8	床直⇒+5cm 口写 底 写	外面の削りは方向不定で丁寧。内面のナデもやや丁寧だが磨面の平滑さに欠けている。	①素地ややや砂質。パミス、輝石等のまじる粗砂や多い。②酸化焰。普通。 ③内面ににぶい橙5YR7/4。外面橙5YR6/6。
10 壺(土師)	口(21.2)	窰内の6片 ⇒埋設土 図示部の写	やや厚手だがコの字状口縁の裏になると思われる。頸部中央まで外面の削りが及んでいる。内面のナデはやや丁寧。	①素地普通。輝石、パミス、1mm大の礫等のまじる砂粒や多い。②酸化焰。普通。 ③にぶい橙2.5YR6/4。ほぼ一様。

7号住居出土遺物 (本文27頁 P L—20)

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
1 杯(須恵)	口 13.2 底 8.9 高 4.0	埋設土の小片 ⇒流路跡4片 口写 底 完存	内底の高巻状のロクロ痕より左回転ロクロー⇒外底全面と口縁下縁に右回転のヘラ削りを施すが中央に回転ヘラ切り痕が残っている。	①素地ややボソボソしている。黒色鉱物、1mm大の礫を少量含んでいる。②やや硬調の還元焰。 ③灰7.5Y6/1。断面は黄色味をおびている。内底中心に環路状の輪がかかっている。
2 杯(須恵)	口 10.8 高 3.5	埋設土 図示部の写	右回転ロクロー⇒外底全面に弱いが丁寧な手持ちヘラ削り。ロクロ痕は弱い。	①素地ややや砂質。1mm大の礫を少量含んでいる。 ②還元焰。普通。③灰白2.5Y8/1。断面まで一様。
3 杯(須恵)	口(12.0) 底( 8.2) 高 3.8	埋設土 図示部の写	右回転ロクロー⇒回転ヘラ切り無調整か内面に付着粘土あり。口縁の歪み強く怪不安。	①素地やや砂質。パミス、1mm大の礫が少ない。 ②還元焰。砂質。 ③灰白2.5Y8/1。断面まで一様。
4 杯(土師)	口(12.8)	+16cm <sup>2</sup> + 15cm 図示部の写	断面の摩滅すずみ整形痕は不明瞭。外面の削りはやや粗である。	①素地普通。石英、輝石等のまじる砂粒の混入多い。 ②還元焰。普通。 ③橙7.5YR6/6。断面の一部灰色味をおびている。



No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
5 杯(土師)	口(12.3) 高 3.4	埋没土2片 口 瓦 底 瓦	外底の削りはやや強い。口縁下半の無調整部分広い。内面のナデは口縁部に強い押痕が走り底部は凹凸や多い。	①素地普通。バミス、3mm大のチャート等のまじる砂粒やや多い。②酸化焰。普通。 ③にぶい。④灰白7.5YR6/4。
6 杯(土師)	口(12.0) 高 3.3	床直+埋没土の4片 口 瓦 底 瓦	外面の削りは弱い。無調整部分が広く残っている。内面のナデは丁寧で平滑に仕上げている。	①素地普通。バミス、赤褐色鉱物等、節多量混入物を含む。②酸化焰。やや軟調。③にぶい。④黄褐色10YR6/3。外底に黒線状内面は赤色味をおびている。
7 杯(土師)	口(10.5)	埋没土 図示部の瓦	外面の削り弱い。丁寧。口縁下半の無調整部分は広い。内面はやや平滑さに欠けている。内底に墨書あり。	①素地普通。混入物は少ない。気泡がまじる。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい。④黄褐色10YR7/4。ほぼ一様。
8 杯(土師)	口(16.6)	+26cmの2片 図示部の瓦	外面の削りはやや丁寧で息長い。内面ナデは口縁部に布状の押痕が残る。	①素地普通。バミス、輝石等のまじる砂粒を含む。 ②酸化焰。やや硬調。 ③にぶい。④黄褐色10YR7/4。ほぼ一様。
9 甕(土師)	口( 9.0)	掘り方内 図示部の瓦	外側器面荒れていて整形痕は不明瞭。内面も口縁上半のみ剥落がすすんでいる。内面のナデは丁寧。	①素地普通。赤褐色鉱物まじりの砂粒を少量含む。 ②酸化焰。やや硬調。 ③にぶい。④黄褐色10YR7/4。ほぼ一様。
10 甕(土師)	口(20.0)	+15cm± +18cm±床直 ±埋没土 図示部の瓦	外面の削りは丁寧で息長い。口縁外縁は下方へ肥厚している。内面のナデは長い押痕が見られる。二次被熱で器面は見えている。	①ボソボソしたやや粗い素地。輝石、赤褐色鉱物等小形の混入物多い。②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい。④黄褐色10YR7/3。赤褐色、黒色味をおびるムラあり一様でない。

## 8号住居出土遺物 (本文29頁 P L-20)

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
1 杯(須恵)	口 13.2~ 底 5.9 高 4.0	甕内の5片 ±埋没土 ほぼ完形	右回転クロー回転赤切り無調整。外面でロクロ痕細かくやや強い。	①素地普通。片岩、チャート等1mm大の混入物や多い。 ②還元焰。普通。 ③灰白7.5Y7/1。
2 杯(須恵)	口(13.8) 底(6.8) 高 3.6	+3cm 口 瓦 底 瓦	ロクロ回転赤か。外形摩滅し切離し痕不明。内面は平直に仕上げているが底部は凹凸がやや大きい。	①素地やや砂質。2mm大の片岩、チャートを含む。 ②還元焰。やや軟調。 ③灰白5Y7/1。内外面に黒線あり。
3 高台付杯 (須恵)	口 13.9~ 高 3.4 台 5.8	床直±埋没土 口 瓦 底 完存	右回転クロー回転赤切り高台取付けは難でロクロ不使用か。内面でロクロ痕まわめて弱い。	①素地やや粗い。赤褐色鉱物、雲母片を含む。 ②還元焰。不十分で軟調。 ③灰黄2.5Y7/2~灰5Y5/1。
4 甕(須恵)	口(15.4) 高 5.7 台 6.8~7.1	床直10片 口上半 瓦 他は完存	右回転クロー回転赤切り一様な高台取付け。切り難しの損じがある。外底中央に穿孔途中で止めたような窪みがある。	①素地やや粗い。1~3mm大の礫がまじる。 ②還元焰。やや軟調。 ③灰白5Y8/1~灰5Y4/1。 ④内底にスズ状の付着物あり。
5 高台付椀 (須恵)	口(14.9) 高 5.5 底 6.5	竈火床土4片 口 瓦 底 完存	右回転クロー回転赤切り一様な高台取付け。内面のロクロ痕は弱い。	①素地やや粗い。赤褐色鉱物、バミス等種多量混入物を含む。②不十分な還元焰で軟調。 ③灰黄2.5Y7/2~灰2.5Y4/1。④二次被熱。
6 杯(土師)	口(13.0) 底 8.8 高 3.5	甕内±床直± +4cm±埋没土 口 瓦 底 瓦	外底に広く型腐状のヒビが見られる。口縁部外面中に指面痕状の窪みが走り接合も部分的に観察できる。内面はナデでやや平滑に仕上げている。	①素地普通。バミス、輝石等を含んでいる。 ②酸化焰。軟調。 ③にぶい。④黄褐色7.5YR6/4。黒線状のムラあり。
7 杯(土師)	口(11.6) 高 3.9	床直5片± 埋没土3片 瓦個体	外底に広く型腐状のヒビが見られる。口縁外面中に指面痕状の窪みがわずかに観察できる。内面はナデでやや平滑に仕上げている。	①素地やや粗い。バミス、輝石等を少量含んでいる。 ②酸化焰。軟調。 ③にぶい。④黄褐色7.5YR6/4~にぶい。⑤黄褐色10YR4/3。
8 甕(須恵)	口(13.2)	埋没土小片± 洗跡跡6区 図示部の瓦	右回転クロー。天井部の胎が厚く、整形痕は観察できない。ロクロ痕は弱い。混入品。	①素地普通。黒色鉱物以外の混入物少ない。 ②還元焰。普通。 ③灰白7.5Y7/1。外面の胎は灰緑色。

## 9号住居出土遺物 (本文31頁 P L-21)

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
1 甕(須恵)	口(19.0)	+36cm 竈火床上 図示部の瓦	右回転クロー天井部に弱い回転へラ削り。ロクロ痕や強い。紐の付け根がわずかに残存している。	①素地やや砂質。黒色鉱物がまじる。細かな気泡が多量混入している。②還元焰。普通。 ③灰白10Y7/1。外面明度の低いムラあり。
2 杯(土師)	口(11.4)	埋没土2片 図示部の瓦	外面の削りは難で弱い。無調整部分が広い。内面のナデは丁寧。口縁部の形状は一定していない。	①素地普通。バミス、輝石まじりの砂粒を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい。④黄褐色7.5YR7/4。ほぼ一様。

遺物観察表

No・器種	計測値 (cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
3 杯(土師)	口(12.4)	埋没土2片 図示部の写	外面の削りは細かい。口縁下半の無調整部分は磨崖状のヒビが多い。内面は丁寧なナデで平滑に仕上げている。	①赤地普通。1mm大の赤褐色鉱物や多い。石英等を含む。②酸化焰。やや低調。 ③にぶい焼7.5YR7/4。内面は赤色味をおびている。
4 杯(土師)	口(11.6)	床直 $\pm$ +4cm $\pm$ +24cm 図示部の写	外面の削りは強い。無調整部分を残さない。内面はやや強いナデだが器面は平滑に欠ける。	①赤地普通。赤褐色鉱物、パミス、1mm大の糠等の混入物や多い。②酸化焰。やや低調。 ③にぶい焼7.5YR5/4。内面は赤色味をおびる。
5 杯(土師)	口 11.0~ 11.4 埋没土 高 3.5	床直 $\pm$ +6cm $\pm$ 埋没土 ほぼ完成形	外面の削りは丁寧で弱い。内面のナデは強く口縁部に鋭い磨痕が通っている内底はやや凹凸多い。	①赤地やや軟弱。磨痕細片、1mm大の糠、パミス等を少量含む。②酸化焰。やや低調。 ③にぶい焼7.5YR6/4。ほぼ一様。
6 杯(土師)	口(11.4) 高 3.6	埋没土3片 口写 裏写	外面の削りは粗く強く器面は凹凸が多い。口縁のナデは細太の磨痕が通っている。内面のナデは口縁部に鋭い磨痕が通っているが平直さに欠ける。	①赤地普通。赤褐色鉱物、石英、1mm大の糠等を含む。②酸化焰。普通。 ③にぶい焼7.5YR7/4。外底は黒味が深い。
7 杯(土師)	口 14.0 高 4.7	床直 $\pm$ +13cm 口写 裏 完存	外面の削りは幅広く息長い。口縁下半の無調整部分広い。内面は口縁に布状の幅広いナデの痕が残っている。	①赤地普通。パミス、輝石、1mm大の赤褐色鉱物を含む。②酸化焰。やや低調。 ③焼5YR5/6。断面は彩度低い。
8 壺(土師)	口 21.9	壺内8片 図示部の写	外面の削りは細くやや強い。内面ナデはやや雑で幅状の工具痕が残っている。口縁は大きく波状に歪んでいる。	①赤地普通。赤褐色鉱物、輝石等が少量まじる砂粒を含む。②酸化焰。普通。 ③にぶい焼5YR7/4。内面に彩度の高い部分広い。
9 壺(土師)	頸(19.4)	床直 $\pm$ +9cm ほか14片 口写 裏 写	外面の削りは丁寧でやや弱い。内面は幅広いナデの工具痕が残っている。下半にやや強い接合の段あり。外面割部下位の割割がすずむ。	①赤地やや粗い。パミス、角四片、赤褐色鉱物のまじる砂粒や多い。②酸化焰。やや低調。 ③にぶい焼10YR7/3。赤色味、灰色味をおびるふたあり。
10 壺(土師)	口 20.8~ 21.9 頸 16.7	床直 $\pm$ +9cm 図示部の写	外面の削りは丁寧で息長い。内面のナデもやや丁寧。口縁部は指頭痕状の細かな凹凸が多い。	①赤地普通。パミス、1mm大の糠のみまじる砂粒や多い。②酸化焰。やや低調。 ③にぶい焼10YR7/3。ほぼ一様。

10号住居出土遺物 (本文34頁~ P L-21)

No・器種	計測値 (cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
1 蓋(須恵)	口 9.8~10.1 蓋 1.7	張出部2片 写個体	右回転クランク。輪が厚く天井部の整形は不明。口縁部は波状に歪んでいる。	①赤地や軟弱。赤褐色の混入物や多い。 ②還元焰。硬調。③青黒10BG/1。断面赤灰色。外面は灰緑色の輪が厚くかかっている。
2 蓋(須恵)	口(11.6) 高 2.3	埋没土 図示部の写	右回転クランク→天井部中央に回転ヘリ削り。クランクは外面で強い。カエリの下端は著しく摩滅している。	①赤地やや軟弱。黒色鉱物がわずかにまじる砂粒や多い。②還元焰。やや低調。 ③灰7.5Y6/1。断面一部は赤色味をおびる。
3 杯(須恵)	口( 9.0) 高 3.0	+8cm 写個体	右回転クランク→外底に回転ヘリ削り。クランク直鋭い。内底は平滑。	①赤地やや軟弱。白色砂粒を含む。細かな気泡混じり。 ②還元焰。普通。③灰白7.5Y7/1。断面まで一様。
4 杯(須恵)	口 10.9~ 11.5 高 3.9~4.4	床直2片 $\pm$ 埋没土3片 口写 裏 ほぼ完存	砂粒の移動より右回転クランクと思われるが内底の渦巻状のクランクが不自然→外底右回転のヘリ削り。平面形は楕円形に歪んでいる。	①赤地暗黒。黒色鉱物。0.5mm大の糠を少量含む。 ②還元焰。普通。 ③灰7.5Y6/1。外面の約半分に灰黄色の輪がかかる。
5 杯(須恵)	口(17.6) 底(12.2) 高 4.3	張出部5片 口写 底 写	右回転クランク→外底全面手持ちヘリ削り。クランク鋭い。内底には指頭によるほぼ一方方向の強いナデの痕がある。	①赤地砂質。チャート。黒色鉱物等を少量含む。 ②還元焰。普通。 ③灰白7.5Y7/1。断面は明度高い。
6 杯(土師)	口(10.2)	+27cm $\pm$ +13cm 図示部の写	外面の削りは高く不明。内面のナデは丁寧で平滑に仕上げている。	①赤地普通。砂粒を少量含んでいる。 ②酸化焰。やや低調。 ③にぶい焼7.5YR7/4。赤色味をおびる部分あり。
7 杯(土師)	口 10.4 高 3.6	+28cm $\pm$ +17cm 埋没土3片 写個体	外面の削りはやや雑。内面ナデは丁寧だが底面付近は凹凸あり。平面形に歪みあり。	①赤地普通。パミス、輝石まじりの砂粒を含む。 ②酸化焰。普通。 ③焼5YR6/6。外底一部赤色味をおびている。
8 杯(土師)	口 12.3~ 12.6 高 3.8	+14cmの3片 ほぼ完成形	外面の削りは不規則。口縁下半に指頭痕状の窪みが一部に見られる。内面のナデは平滑さにはやや欠ける。	①赤地普通。パミス、片岩のまじる砂粒を含む。 ②酸化焰。低調。 ③にぶい焼5YR6/4。外底は黒色味をおびている。
9 杯(土師)	口(17.8) 高 4.8	+4cm $\pm$ 埋没土 図示部の写	外面の削りは丁寧で強い。内面ナデは丁寧だが器面は平滑さに欠ける。	①赤地普通。赤褐色鉱物、輝石、パミス等を含む。 ②酸化焰。普通。 ③明赤焼5YR5/6。内面は赤色味をおびている。
10 鉢(土師)	口(19.0)	+14cm $\pm$ +34cm 図示部の写	外面の削りはやや強い。内面ナデも強く粗い磨痕が通っている。小破片からの復元で歪みも強く、細さも不安。	①赤地普通。パミス、輝石等の混入物を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい焼5YR6/4。断面彩度低い。

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
11 杯(土師)	口(13.4) 高 3.9	+20cm <sup>2</sup> 埋没土2片 口 瓦底 瓦	外面の削りはやや強いが息短い。内面は断面の割れすずみ不明瞭。	①素地普通。輝石、チャート、パミス等のまじる砂粒を含む。②酸化焰。普通。 ③明赤焼2.5YR5/6。断面は形度低い。
12 杯(土師)	口(17.0) 高 3.5	頸出部2片 口 瓦 底 瓦	外面の削りは幅広くやや方向性に欠けている。無調整部分を残さない。内面のナデは丁寧。	①素地普通。パミス、赤褐色鉱物、2mm大の礫等混入物やや多い。②酸化焰。やや硬調。 ③焼5YR6/6。断面一部形度低い。
13 甕(須恵)	口( 6.8) 胴(13.4)	口 瓦 胴 瓦	内面胴部は口口痕の下に接合痕のヒビが残る。また胴部の接合痕は顕著な口口痕は内外面とも強い。接合しない口胴部と胴部からの復元で径、傾きとも不安。	①素地普通。白色砂粒を含む。 ②還元焰。普通。 ③暗青灰10BG4/L。外面一部に黄白色の薄灰輪かかる。
14 甕(土師)	口(25.0)	埋没土 図示部の瓦	外面の削りは幅太でやや強い。口縁のナデも強く粗い磨痕が通っている。内面のナデは不明瞭。小破片からの復元で径、傾きとも不安。	①ボソボソしたやや粗い素地。石灰、パミス、1～2mm大の礫等の混入物多い。 ②酸化焰。やや軟調。 ③浅黄2.5Y7/3。外面は黒色の強いムラあり。
15 甕(土師)	口(20.4) 胴(17.2)	+10cm 図示部の瓦	外面の削りは強いが一部に接合痕が残っている。内面のナデはやや丁寧。口縁外縁直下に幅太の深い沈線が通る。	①素地やや粗い。内四石、パミスが少量まじる砂粒を含む。②酸化焰。普通。 ③焼7.5YR6/6。断面は形度低い。
16 甕(土師)	口(20.4) 胴(18.8)	床面の4片 図示部の瓦	外面の削りは丁寧でやや細かいが頸部直下に無調整部分が残っている。内面のナデは幅広いの工具痕が残っている。	①素地やや粗い。内四石、パミスが少量まじる砂粒を含む。②酸化焰。やや硬調。 ③焼2.5YR6/6。内外面に黒斑あり。
17 甕(土師)	口 22.7 底 5.6～6.0 高 33.4 胴 17.4	甕内の火床土 6 ～15cmの10片 口 瓦 底 瓦	外面の削りは丁寧でやや弱い。内面のナデはやや丁寧でへラ削りの工具痕が残っている。	①素地普通。1～2mm大の礫、赤褐色鉱物まじりの砂粒やや多い。 ②軟調の酸化焰でしまり欠く。 ③におい焼7.5YR5/4～灰青7.5YR4/2。一様でない。
18 甕(土師)	口 22.3～ 底 3.7 高 40.0	甕内の火床土 ～34cmの42片 ほぼ完成	二次焼熱のため整形痕は不明瞭。外面の削りは下から上への息長い痕跡が観察できる。口縁部に波状の凹みあり形状も一定しない。	①素地やや粗い。パミス、赤褐色鉱物。1～3mm大の礫等の混入多い。 ②軟調の酸化焰でしまり欠く。 ③におい赤焼2.5YR5/4～灰青焼10YR4/2。
19 甕(土師)	口 25.2 底 5.1 高 41.8	甕内の15片 上半 瓦 下半 ほぼ完成	強い二次焼熱により整形痕は不明瞭だが外面は息の長い丁寧な削り。器厚は變態としては一定である。	①素地やや粗い。パミス、赤褐色鉱物まじりの粗砂の混入多い。②軟調の酸化焰でしまり欠く。 ③におい赤焼2.5YR5/4～黄焼2.5Y7/3。一様でない。

## 11号住居出土遺物 (本文37頁 P.L-21)

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
1 杯(土師)	口(12.0)	床面レベル 口 瓦 底 瓦	外底の削りは雑で器面は凹凸。削り残し部分が多い。内底のナデもやや粗い。	①ザラザラしたやや粗い素地。パミス、1mm大の礫の混入物やや多い。②やや軟調の酸化焰。 ③におい焼7.5YR5/4。外底に黒斑あり。
2 杯(土師)	口(12.0) 高 3.6	北壁外 口 瓦 底 瓦	外面の削りは息長く鋭いがやや粗。内面のナデは丁寧。口縁の歪み強く径、傾きとも不安。	①やや砂質でザラザラした素地。1mm大のパミス、礫等を含む。②酸化焰。やや軟調。 ③におい焼5YR6/4～7.5YR7/3。一様でない。
3 杯(土師)	口(12.4) 高 3.7	～5cm 瓦6個体	外底の削りはやや雑である。無調整部分は少ない。内面は平滑さ欠く。口縁外縁にモミの圧痕あり。	①素地普通。パミス、角四石まじりの砂粒を含む。②軟調の酸化焰。 ③焼5YR6/6。内面は形度低い。内面の磨痕がすずむ。
4 杯(土師)	口 12.4～ 高 3.8	+21cm 瓦6個体	外面の削りは強く息長い。内面は底部付近に細かな凹凸が多い。口縁は小さく波状に歪んでいる。	①素地普通。パミス、石灰、輝石等を含む。②酸化焰。やや軟調。 ③におい赤焼5YR5/4。ほぼ一様。
5 杯(土師)	口 16.8 高 5.3	～9cm 瓦6個体	外底の削りは幅広く息長い。口縁下半は無調整。内面のナデは強いが器面は凹凸多い。口縁にへラ削りの工具痕が残っている。	①素地普通。パミス、角四石、1mm大の礫等まじる。②酸化焰。普通。 ③におい焼5YR7/4。断面までほぼ一様。
6 杯(土師)	口(14.0)	埋没土4片 口 若干 底 瓦	外面の削りは丁寧で方向不定。内面は細かな凹凸あり。器面の平滑さ欠く。口縁の残存少々径、傾きとも不安。	①素地普通。細かなパミス、輝石まじりの砂粒を含む。②酸化焰。普通。 ③におい焼7.5YR7/4。ほぼ一様。
7 杯(土師)	口 14.6 高 4.3	口 瓦 底 完成	外面の削りは幅広く息長い。内面は強いナデで口縁部に磨痕が同心円状に走っている。底面は凹凸あり。	①やや緻密な素地。角四石、パミス等を少量含む。②酸化焰。普通。 ③焼5YR6/6。外面は灰青色をおびるムラあり。
8 杯(土師)	口 15.6 高 4.1	床面レベル 瓦6個体	外面の削りはやや強い。内面ナデは口縁部に細かな磨痕が通っている。口縁内縁は部分的に肥厚している。	①素地普通。パミス、輝石まじりの砂粒を含む。②酸化焰。やや軟調。 ③におい焼7.5YR6/6。内面やや赤色をおびている。

遺物観察表

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
9 杯(土師)	口(18.4) 高 5.7	北壁外 口 互 底 互	器面が荒れて整形痕は不明瞭。外面の削りは息が長いようだ。口縁部ナデの範囲は狭い。内面はやや平滑。	①赤地やや粗い。パミス、赤褐色鉱物、輝石等を含む。気泡まじり。②酸化焰。普通。 ③に白い帯7.5YR5/4。赤色味、灰色味をおびるムラあり。④二次焼成。
10 壺(土師)	口(20.8) 頸(17.4)	床直 図示部の互	外面口縁上端に指面の強い押圧あり。肩部の削りは強く鋭い。内面もやや平滑でへう状の幅広いの工具痕が残る。	①赤地普通。角閃石、パミス、チャート等の混入物やや多い。②酸化焰。やや硬調。 ③に白い帯7.5YR7/4。内面に彩度高いムラあり。

12号住居出土遺物 (本文38頁 PL-21)

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
1 小型壺 (土師)	口(13.8) 高 13.4	壺内火床土 上半 互 下半 ほぼ完存	二次焼成と摩滅のため、整形痕は不明瞭。平面形は楕円に歪んでおり不安。	①赤地普通。細砂の混入やや多い。 ②酸化焰。やや軟調。 ③焼2.5YR6/6。外底は黒底広く内面は灰色味強い。
2 壺(土師)	口 19.6 高 16.2	壺内火床土 口 完存 胴上半 互	外面削りは方向不定で強やや弱い。内面のナドもやや粗。口縁端部は一部で下方に肥厚している。	①赤地普通。粗砂の混入多くザラザラしている。チャート、角閃石を含む。②酸化焰。普通。 ③に白い帯10YR7/4。ほぼ一様。

窪地出土遺物 (本文48頁～ PL-22～) ※は平面図に遺物ドットあり。+は底面からの高さ。

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
1 蓋(須恵)	口(10.2) 高 2.8 蓋 1.3	2区⇒4区 縁 互 底 互	右回転クロー→天井部回転へう削り。鋸取付けはやや雑で中心を若干外れている。	①赤地やや軟質。黒色鉱物の混入やや多い。 ②還元焰。普通。③青灰5P/BS/1。外面白っぽく、一部黄緑色の降灰粒かかる。
2 蓋(須恵)	口( 9.8)	8区埋没土 互個体	右回転クロー。天井部細かな回転へう削り。つまみの痕跡は認められない。内面は凹凸多い。	①赤地硬質。黒色鉱物の混入多い。気泡混じる。 ②焼調の還元焰。 ③灰N6/6。外面一部割れ。
3 蓋(須恵)	口(11.0)	※ 図示部の互	右回転クロー。天井部の回転へう削りはカキ目状。内面にも鋭い工具痕が残っている。	①砂質。1mmの白色砂粒の混入やや多い。 ②焼調の還元焰。普通。 ③灰7.5Y7/1。断面まで一様。
4 蓋(須恵)	口(14.6) 高 4.3 天(13.2)	※底面直上 ⇒2区⇒4区 互個体	右回転クロー。天井部中央に回転へう削り。器面は平滑き欠く。	①赤地普通。白色砂粒の混入やや多い。 ②還元焰。普通。 ③灰N6/6。黒色味をおびるムラ多い。
5 蓋(須恵)	口 13.0 高 3.0	※+8cm 互個体	右回転クロー。外面に不明瞭な回転へう削り。削りの方法より重み。	①赤地やや砂質。0.5mmの白色砂粒やや多い。 ②やや硬調の還元焰。③灰白N7/6。断面は明度低い。内外面とも一部に降灰粒。
6 杯(須恵)	口(11.2)	※+11cm ⇒4区 口 互 底 互	右回転クロー。外底に強く不明瞭な手持ちへう削り。内底大きく窪んでいる。高杯の可能性あり。	①赤地やや砂質。黒色鉱物、白色鉱物、小粒の雑多な混入物あり。②還元焰。やや硬まり欠く。 ③灰白N7/6。外面上半黒色味をおびる。
7 杯(須恵)	口(10.4) 底( 7.9)	※+43cm ⇒4区3片 図示部の互	右回転クロー→回転へう削り無調整。内底縁部に幅広い鈍い沈線が通っている。歪みあり。口縁、傾きとも不安。	①赤地普通。3mmの最少量混入している。 ②還元焰。普通。③灰白5Y7/1。断面まで一様。 ④器面の剥落すずんでいる。
8 杯(須恵)	口(11.6) 高3.7~4.1	3区⇒4区 底 互 口 互	右回転クローのみ。外底と外面下端に雑で強い細尖削り。内底は平短。歪み著しく。傾、傾きとも不安。	①赤地やや砂質。1mmの雑の混入やや多い。 ②還元焰。普通。 ③灰白10Y7/1。断面までほぼ一様。
9 杯(土師)	底(7.6) 高(2.2)	4区2片 図示部の互	横焼杯。外面の削りは雑でやや強い。縁部に無調整部分残りが器面は平滑。内底はやや強いナデの上に細太の放射状の暗文。	①赤地やや粗い。赤褐色鉱物、石英等を含む。②酸化焰。普通。 ③外面に白い黄褐10YR5/3。黒底広い。内面に白い帯7.5YR5/4。
10 杯(土師)	口(12.8)	※+66cm 互個体	外面削りは息長く鋭い。内面のナデは丁寧。口縁部内面上半の削落がすずんでいる。	①赤地やや粗い。赤褐色鉱物まじり。 ②酸化焰。普通。 ③に白い帯5YR6/4。彩度の低いムラあり。
11 杯(土師)	口12.7~13.2 高 4.9	※+6cm⇒ +76cm⇒4区 互個体	外底の削りは弱くやや雑。内面のナデは丁寧で、同心円状の磨痕が通っている。内底中央には幅広い2cmのへう状の工具痕が残っている。厚手で重量。内面黒色処理。	①赤地普通。赤褐色鉱物、パミス、石英等を含む。②やや軟調の還元焰。 ③に白い赤褐2.5YR5/4。内面は光沢のない黒色。
12 杯(土師)	口(13.4)	※+68cm 口 若干 底 互	外底の削りは弱く雑で器面は凹凸。内底のナドも雑だが平滑。底部の厚みに比して口縁は薄い。口縁部の残存は僅かで、径不安。	①赤地やや粗い。石英、赤褐色鉱物、パミスまじりの砂粒を含む。 ②酸化焰。普通。 ③に白い帯5YR6/4。断面は彩度低い。

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
13 杯(土師)		4区埋没土 図示部の写	器型厚減して、整形痕は不明瞭。外面口縁下端の沈線は棒状工具の磨痕が通っている。	①素地普通。1～3mm大の赤褐色鉱物やや多い。雲母薄片を含む。②酸化焰。やや硬調。 ③にぶい橙5YR6/4。外面一部赤味をおびている。
14 杯(土師)	口(13.0) 高(5.2)	■+63cm ⇒4区 瓦割体	外面の削りはやや息が長い。内面深てハゼ状の割痕が著しい。	①素地普通。赤褐色鉱物の混入やや多い。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙7.5YR7/4。
15 杯(土師)	口(9.0)	■底面直上 ⇒5区 図示部の写	外面の削りは細かく丁寧。内面の仕上げはやや粗。	①素地普通。輝石、バミスマじりの細砂少量含む。 ②酸化焰。普通。焼き締まる。③にぶい橙5YR6/4。ほぼ一様。
16 杯(土師)	口(10.8) 高 2.9	■77cm⇒ 3区⇒4区 瓦割体	外面の削りは細かく丁寧。内面ナデも丁寧。	①素地普通。赤褐色鉱物、バミス等を含む。 ②酸化焰。普通。③橙5YR6/6。ほぼ一様。 ④外面割すずむ。
17 杯(土師)	口(10.7) 高 3.1	■+62cm 瓦割体	外面の削りはやや粗い。内面は丁寧なナデで平滑に仕上げる。	①素地やや緻密。輝石、バミスマじりの細砂やや多い。 ②酸化焰。やや硬調。 ③にぶい橙7.5YR7/4。外面一部灰色を呈している。
18 杯(土師)	口(10.4)	4区埋没土 図示部の写	外面の削りは強く鋭い。内面のナデはやや粗い磨痕が通っている。	①素地普通。輝石、バミスマじりの細砂を少量含む。 ②やや硬調の酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR7/4。一部灰色を呈している。
19 杯(土師)	口10.9～11.2 高 3.1	■+35cm⇒ +38cm ほぼ完形	外底の削りは鋭い。内面のナデも丁寧。薄手で端正な造りである。	①素地普通。バミス、バミスマじりの細砂を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR7/4。外面は黒斑広い。
20 杯(土師)	口 9.8 高 3.1	■+21cm 完形	外底の削りは規則的で、中央を一方向に幅広く削った後、縁部を細かく削って仕上げている。内面ナデは丁寧。	①素地普通。バミス、輝石まじりの砂粒を含む。 ②酸化焰。やや硬調。 ③にぶい橙7.5YR7/4。一様。
21 杯(土師)	口(10.9) 高 3.8	瓦割体	外底の削りは鋭く、削り残り部分も多い。内面ナデは丁寧で布状の幅広い工具痕が通っている。	①素地普通。バミス、輝石まじりの砂粒を少量含む。 ②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい橙5YR6/4。黒色味をおびるムラあり。
22 杯(土師)	口 9.9 高 3.0	埋没土 瓦割体	外面の削りは丁寧で強い。口縁端部のナデの痕跡は不明瞭。内面は平滑に仕上げている。	①素地普通。バミス、輝石、石英等を含んでいる。 ②酸化焰。やや硬調。 ③橙5YR6/6。断面は一部で灰色味をおびている。
23 蓋(須恵)	口(13.0) 径(4.4)	6区⇒8区 瓦割体	右回転クワ。クワ利用の鉤取付け。鉤はリング状か。	①やや砂質。混入物少ない。②硬調還元焰で焼き締まる。③断面赤色味をおびる。外面に白色の降灰輪がかかる。
24 蓋(須恵)	口 17.9 径 5.5 高 3.2	■4区 ほぼ完形	内面の渦巻状のクワ口直より左回転クワロー→天井部幅状の回転ヘラ削り。鉤の取付け丁寧。カエリ部分の焼き出しに工具痕が残っている。	①素地普通。赤褐色鉱物まじりの3mm大の礫を少量混入。 ②硬調だが還元やや不十分。 ③灰白10YR/1。黒色味をおびるムラ多少あり。 ④素地普通。1mm大の礫を少量混入している。
25 蓋(須恵)	口 16.8 径 5.7 高 3.0	2区⇒4区 瓦割体	右回転クワロー→天井部回転ヘラ削り。蓋上部にヘラ状工具痕が残っている。口縁部に波状の歪みあり。傾き不安。	②還元焰。普通。 ③灰白N7/0。断面は浅黄色。
26 蓋(須恵)	口(17.4) 高 2.8	8区3片 図示部の写	右回転クワ。降灰輪のため外面のクワ口痕は不明。歪みあり。径、傾きとも不安。	①素地普通。黒色鉱物の混入やや多い。 ②還元焰。普通。③灰白10Y7/1。断面は灰緑色の降灰輪が厚くかかっている。
27 蓋(須恵)	口(18.8) 径 4.0 高 4.1	4区6片 瓦割体	右回転クワロー→天井部中央に回転ヘラ削り。鉤取付け時に天井部中央に鋭い刻みを入れている。	①素地やや粗い。バミスの目立つ砂礫混入。 ②やや硬調の還元焰。 ③灰N5/0。ほぼ一様。
28 蓋(須恵)	口(19.0)	4区3片 図示部の写	右回転クワ。天井部回転ヘラ削りは丁寧で範囲広い。内面平滑。	①砂質だが粒子細かく緻密。やや大粒の赤褐色鉱物を含む。②酸化焰気味。硬調で良好。 ③にぶい橙7.5YR7/3。一部灰色味が強い。
29 蓋(須恵)	口(14.8) 径(4.2) 高 3.6	4区3片 瓦割体	右回転クワ。天井部粗い回転ヘラ削りと鉤取付け。内面は磨痕鋭い。	①砂質。混入物多い。 ②還元不十分で混入鉱物が赤褐色に発色。 ③外面暗灰黄2.5Y5/2。内面にぶい黄橙10YR6/4。
30 蓋(須恵)	径(5.4)	■8区 図示部の写	右回転クワロー→天井部回転ヘラ削り。リング状の蓋を取り付けが、中心をやや外れている。	①素地やや砂質。混入物少ない。 ②やや硬調の還元焰。 ③灰7.5Y6/1。外面に灰黄色の降灰輪がかかる。
31 蓋(須恵)	口 15.6 径 4.6 高 2.5	1区⇒4区 瓦割体	右回転クワ。天井部回転ヘラ削り。外面でクワ痕やや強い。	①素地やや粗い。チャートまじりの1mm大の礫や多い。②やや軟調の還元焰。 ③灰7.5Y6/1でほぼ一様。

遺物観察表

No.・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と胎形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
32 蓋(須恵)	口 15.4 径 4.5 高 2.8~3.1	※+77cm± 4区 瓦體体	右回転クロー→天井部倒回転ヘナリ。内面に鋭い指痕が残っている。小さな歪みあり。	①赤地普通。白色砂粒の混入やや多い。 ②還元焰。普通。 ③青灰5BG5/1。断面は赤紫色味をおびる。
33 蓋(須恵)	口(15.4) 径( 6.0) 高 4.0	4区2片 瓦體体	右回転クロー。クロー痕弱い。天井部丁寧な回転ヘナリ有り。蓋はリング状。	①赤地普通。微細な黒物混入。 ②やや硬調の還元焰。 ③外面にムラ多い。
34 蓋(須恵)	径 4.2	8区3片 図示部の写	右回転クロー。天井部の回転ヘナリは弱い。内面のクロー痕弱い。やや平滑さ欠く。	①やや砂質で普通。 ②やや硬調の還元焰。 ③灰白7.5Y7/1。断面中央褐色味強い。
35 蓋(須恵)	径(4.0)	※87cm± 4区 図示部の写	右回転クロー→天井部回転ヘナリ→クロー利用の継ぎ取り。クロー痕は弱い。	①赤地やや砂質。石英等の混入物あり。 ②還元焰。やや軟調。 ③灰白7.5Y7/1。断面は黒色味強い。
36 蓋(須恵)	径 3.1	※ 図示部完存	右回転クロー。天井部回転ヘナリはやや弱い。内面のクロー痕は渦巻状。	①赤地やや砂質。1mm以下の礫を少量含む。 ②やや硬調の還元焰。③灰10Y6/1で断面まで一様。
37 蓋(須恵)	径(5.2)	※+15cm 4区 瓦體体	右回転クロー。クロー痕強い。天井部手持ちヘナリは蓋で細かい。	①砂質だが粒子細かく緻密。混入物少ない。 ②硬調の還元焰で良好。 ③外面暗青灰5BG4/1。内面灰10Y6/1。
38 蓋(須恵)	口 10.8	1区±4区 瓦體体	右回転クロー→天井部丁寧な回転ヘナリ有り。クロー痕弱く平滑。蓋の割れ口も平滑になっている。	①緻密で混入物少なく良好。②やや硬調の還元焰。 ③灰白7.5Y8/1。内面やや黒色味をおびる。④内面研ぎ込んで著しく平滑。転用破状になっている。
39 蓋(須恵)	径 4.2	4区3片 図示部の写	右回転クロー。天井部に弱い回転ヘナリ有り。凸部、鋸と端部は鋭く尖っている。蓋の蓋であるが、身の破片は出土していない。	①赤地普通。不揃いな窪みの混入多い。 ②還元焰。普通。 ③青灰5PB5/1。断面は黄色味が強い。外面に黄白色の降灰輪がかかる。
40 蓋(須恵)	口(16.0) 高 6.3	4区 図示部の写	右回転クロー。口縁部は内傾し、平滑。内底に方向不定の指痕状のナデ。	①赤地やや砂質。混入物少ない。②硬調の還元焰。 ③灰N6/0。外面火口モナ部分で龍脚状に白色。
41 杯(須恵)	口(14.6) 高 4.1 台 9.8	4区13片 口瓦 底瓦瓦	右回転クロー→外底全面回転ヘナリと高台削り出し。内底に方向不定の細かな指痕のナデを行っている。	①赤地やや砂質。黒色黒物まじりの礫を少量混入。 ②還元焰。普通。 ③灰白10Y7/1。ほぼ一様。
42 高台付杯(須恵)	底10.6~10.8	※+32cm 4区 底瓦完存 口縁部なし	右回転クロー→回転ヘナリ→外底全面回転ヘナリとごく簡単な削り出し高台。内底クロー痕の上に指痕の様なナデの痕が残っている。	①赤地普通。混入物少なく良好。 ②還元焰。普通。 ③灰白7.5Y8/1で断面まで一様。
43 高台付杯(須恵)	口(14.6) 底(12.0) 高 3.9	※+28cm 4区 ほぼ完整	右回転クロー→外底全面回転ヘナリ丁寧な高台削り出し。内底は凹凸多い。	①赤地やや砂質。砂粒少量混入している。 ②やや硬調の還元焰。③灰7.5Y5/1。外面は灰白色部分広く、一部に降灰輪がかかる。
44 高台付碗(須恵)	口(14.4) 底( 9.6) 高 4.2	3区3片 口1/10 底瓦	右回転クロー。外底は不明瞭な削り出しナデ。高台削り出し丁寧。内底にも不明瞭なナデが加わっている。	①赤地普通。白色砂粒を少量混入。 ②還元焰。普通。 ③暗青灰5B4/1で断面まで一様。
45 高台付杯(須恵)	口 17.8 高 4.4 台 13.8	※底面直上± +7cm± 4区 口瓦底瓦	右回転クロー→外底全面回転ヘナリ→高台削り出し丁寧。	①赤地普通。粗砂の混入やや多い。 ②やや硬調の還元焰。 ③灰7.5Y5/1。外面やや暗く光沢あり。
46 高台付杯(須恵)	口(17.0) 高 4.4 台 11.8	※底面直上± 4区 図示部の写	右回転クロー。切り離し手法不明。高台削り出し場所不明瞭な鋭い指痕を加えている。クロー痕強いが磨成痕強い。	①やや砂質。混入物少ない。 ②還元焰。普通。 ③灰7.5Y4/1。断面までほぼ一様。
47 高台付杯(須恵)	口(14.2)	※+72cm± 2区±3区 口瓦底瓦	右回転クロー→回転ヘナリ。高台削り出しは未使用で割れ口は摩滅していない。クロー痕弱い。	①赤地やや砂質。パミスまじりの2mm大の礫がまじる。②還元焰。普通。 ③青灰3B5/1。断面赤紫色味が強い。
48 高台付杯(須恵)	口(16.6) 高 3.4 台 13.6	※+70cm± 4区 口瓦底瓦	右回転クロー→外底全面回転ヘナリ丁寧な高台削り出し。内底に指痕による方向不定のナデの痕あり。	①赤地普通。黒色黒物、白色砂粒が混入している。 ②硬調還元焰で焼き締まる。 ③灰10Y5/1。断面は赤紫色味をおびる。
49 高台付杯(須恵)	口 16.8 高 6.0~6.4 台 11.6	8区10片 口瓦 底瓦完存	内底の渦巻状の痕跡より左回転クロー→回転ヘナリから→外底全面と体部下期回転ヘナリ。	①赤地普通。黒色黒物まじりの礫混入。 ②還元焰。普通。 ③灰白7.5Y8/1。外面の一部黒色味をおびる。
50 高台付杯(須恵)	口 16.4 高 4.3 台 11.5	※±2・4区 口瓦 蓋ほぼ完存	右回転クロー→外底全面回転ヘナリ。内面にクロー痕強いが平滑さにやや欠ける。	①赤地普通。黒色黒物の多い礫混入。気泡まじる。 ②やや硬調の還元焰。③灰7.5Y6/1。外面に濃緑色の降灰輪から光沢がある。
51 高台付杯(須恵)	口(11.2) 底 8.1	4区6片 口瓦 底瓦	右回転クロー→外底全面回転ヘナリ丁寧な高台削り出し。クロー痕は弱い。	①赤地普通。黒色黒物を少量含んでいる。 ②還元焰。普通。 ③灰10Y6/1。断面は赤紫色味強い。

No・器種	計測値(cm)	出土・視元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
52 高台付杯 (須恵)	口(11.0) 底(6.4)	1区⇔4区 図示部の写	右回転クロー→回転へう切りか。外底回転へう削りの後、高台取付け。内外面とも器面に平滑さ欠く。	①素地やや緻密。混入物少ない。 ②還元焰。普通。 ③青灰5B5/1。
53 高台付杯 (須恵)	口(13.4) 高 4.0 台(8.0)	1区⇔3区 ⇔4区 口 写 底 写	右回転クロー→回転へう切りか→高台取付け。クロー痕弱いが、器面の平滑さ欠く。	①素地やや緻密。黒色鉱物粒等を少量混入。 ②還元焰。普通。一部でアタを生じている。 ③灰7.5Y6/1。断面は赤紫色味をおびている。
54 高台付杯 (須恵)	口 10.3 高 4.2⇔4.5 台 7.9	1・4区 口 写 底 完存	右回転クロー。高台取付け時に体部下端までへう削り状の擦痕が付く。内底平滑。歪み僅く僅。傾きとも不安。	①素地やや砂質。チャートまじりの砂質やや多い。 ②やや硬調の還元焰。 ③灰7.5Y4/1。内面やや明度高い。
55 高台付杯 (須恵)	口(13.6) 底 9.3⇔9.7 高 4.5	■⇔71cm 口 写 底 完存	右回転クロー→回転赤切り→外底縁部と体部下端左回転のへう削り。高台取付け丁寧。内面平滑。	①素地普通。2mm大の石英、礫を含む。 ②還元焰。普通。 ③暗青灰5BG4/1。
56 高台付杯 (須恵)	口 12.3~ 13.2 高 4.4⇔5.1 台 8.7	■⇔2区⇔ 4区 完形	右回転クロー→回転赤切りか→外底ほぼ全面の回転へう削りと高台取付け。クロー痕弱く内底は平坦。歪み著しい	①素地やや砂質。1~3mm大の礫の混入やや多い。 ②硬調の還元焰。 ③暗青灰5B4/1。断面までほぼ一様。
57 杯(須恵)	口 12.2 高 3.7	■⇔15cm⇔ 2区⇔4区 口 写底 写	右回転クロー。外底は磨きに近い丁寧な手持ちへう削りで器面きわめて平滑	①素地普通。黒色鉱物まじりの砂粒少量含む。良好。 ②還元焰。普通。 ③明青灰5PB7/1。外面一部明度低い。
58 杯(須恵)	口 10.3 高 6.1 高 3.9	■ 口 写 底 完存	右回転クロー→回転へう切り無調整。クロー痕やや弱いが器部の外縁鋭く外面下部の沈線は歪み状と思われる。	①素地やや砂質。1mm大の礫混入。 ②還元焰。普通。 ③灰7.5Y5/1。沈線あり一様でない。
59 杯(須恵)	口(10.0) 底(6.0) 高 3.6	4区3片 口 写 底 写	右回転クロー→回転へう切り→無調整クロー痕弱いが内底は平滑さ欠く。	①素地やや砂質だが良好。石英、黒色鉱物等の混入物やや多い。 ②やや硬調の還元焰。 ③内面青灰5PB5/1。外面は黒色味強い。
60 杯(須恵)	口(10.2) 底(6.0) 高 3.2	埋没土 図示部の写	右回転クロー。クロー痕弱いが、外底から体部下端に細かな手持ちへう削り。	①やや砂質だが取肌。 ②やや硬調の還元焰。 ③灰質2.5Y7/2。断面までほぼ一様。
61 盤(須恵)	口(20.4) 底(18.2)	瓦筒体	右回転クローか。外底全面に細かな削り。内底前面にも方向不定のナデを施している。	①素地普通。黒色鉱物、パミス等を含む。 ②還元焰。普通。 ③青灰10BG6/1。断面までほぼ一様。
62 盤(須恵)	脚下(11.4)	■⇔26cm ⇔4区 図示部の写	右回転クローによる杯部と脚部の別製作。接合部に回転利用の跡が加えられている。内外面とも模てハゼ状の剥落が多い。	①素地やや砂質。混入物は少ない。 ②還元焰。普通。 ③灰白5Y8/2。断面までほぼ一様。
63 盤(須恵)	口(24.0)	■⇔25cm⇔ 2区⇔4区 図示部の写	右回転クローか。外面は回転利用と思われる粗い削り。内底はカキ目状の擦痕が通っている。	①素地やや砂質。黒色鉱物まじりの礫やや多い。 ②還元焰。焼き締まる。 ③灰10Y6/1。断面は明度高い。
64 盤(須恵)	脚下(14.4)	■⇔75cm⇔ ⇔4区 脚 写	右回転クロー。外面に鋭い二条沈線が走る。	①素地普通。黒色鉱物やや多い。 ②やや硬調の還元焰。 ③暗緑灰7.5GY4/1。断面は赤紫色味をおびている。
65 盤(須恵)	口 14.6 底 9.8 高 2.4	■⇔18cm⇔ ⇔24cm⇔4区 瓦筒体	右回転クロー→回転へう切りか→外底全面回転へう削り。クロー痕弱く平滑	①やや砂質。黒色鉱物、パミスまじりの大粒の砂質混入。 ②還元焰。普通。 ③灰白7.5Y7/1。断面までほぼ一様。
66 杯(須恵)	口(14.4) 底(10.2) 高 2.9	3区⇔4区 口 写 底 写	右回転クロー→外底全面と体部下端に回転へう削り。内底は弱いカキ目状のクロー痕が残っている。	①素地普通。赤褐色鉱物少量混入。 ②還元焰。普通。 ③赤い煙7.5YR7/3。断面灰色。
67 杯(須恵)	口(18.0) 高 14.1 底 4.4	■⇔4区 口 写 底 完存	内底の溝巻状の痕跡より左回転クロー→外底右回転のへう削り。	①素地不揃いでやや粗い。チャート、片岩まじりの砂質混入。②不十分な還元焰。普通。③灰10Y4/1。一様でない。内面明度高く断面一部赤色味おびる。
68 杯(須恵)	口(13.2) 底 9.8 高 3.2	■⇔15cm 口 写 底 完存	右回転クロー→外底全面細太の回転へう削り。クロー痕弱く平滑。	①やや砂質。0.5mm大の石を少量含む。 ②還元焰。普通。 ③灰N5/0。外縁部帯状に黒色味強い。
69 杯(須恵)	口(12.7) 底 7.8 高 3.6	■⇔19cm 口 写 底 完存	右回転クロー→回転へう切りか→底部全面と体部下端に回転へう削り。クロー痕強い。	①素地やや粗い。砂粒多く1mm大のチャート粒散見。 ②やや硬調の還元焰。 ③灰白5Y8/1で断面まで一様。
70 杯(須恵)	口(15.8) 底(11.4)	3区⇔4区 口 写 底 写	右回転クロー。外底と体部下端の一部に丁寧に細かな手持ちへう削り。口縁端部摩滅している。	①素地中程度密。0.5mm大の小石混入。気泡もじる。 ②硬調の還元焰。③外面灰5Y6/1。内面全面に薄くオリブ色の降灰輪がかかる。
71 杯(須恵)	口(12.8) 底(9.3)	■⇔84cm 口 写底 写	右回転クロー→外底と体部下端に左回転のへう削り。内底は平滑。	①素地普通。最大2mmの不揃いの石を混入。 ②還元焰。普通。③灰白2.5Y8/1。断面まで一様。

遺物観察表

No.・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①治土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
72 杯(須恵)	口(13.8) 底 8.0	1区⇔3区 ⇔4区 片側体	右回転ロクロー外底全面回転ヘラ削り内面平滑。	①素地やや粗い。赤褐色鉱物まじりの砂礫混入。 ②還元焰。不十分。③灰白5Y7/1。黒色味をおびるムラあり。④遅くハゼ状の剥落多い。
73 杯(須恵)	口(13.2) 底 7.2	■+12cm 口片 底 寛存	右回転ロクロー外底全面幅太の回転ヘラ削り。ロクロ痕弱く平滑。	①やや砂質。1mm大の石、白色針状物混入。 ②還元焰。普通。 ③灰7.5YR6/1。端部は黒色味をおびている。
74 杯(須恵)	口(12.2) 底 8.4 高 3.2	4区4片 口片 底 片	右回転ロクロー回転ヘラ切り⇔外底全面回転ヘラ削り。ロクロ痕弱く平滑。	①素地やや緻密。0.5mm大の石少量混入。気泡あり。 ②やや硬調の還元焰。③灰黄2.5Y6/1。断面黄色味をおびる。外面黒色味の強いムラあり。
75 杯(須恵)	口(14.0) 底 9.0 高 3.7	■底面直上 口片 底 寛存	右回転ロクロー外底全面と体部下平に左回転のヘラ削り。内面平滑。	①素地砂質。石灰、バミスまじりの礫含む。 ②還元焰。普通。 ③灰白7.5Y7/1。外面一部黒色味をおびる。
76 杯(須恵)	口 12.5 底 6.6~6.8 高 3.3	■⇔2区⇔ 3区⇔4区 片側体	右回転ロクロー底部全面回転ヘラ削り器面平滑。	①素地普通。不揃いな径の礫以外混入物少ない。 ②還元焰。普通。 ③灰7.5Y5/1。断面まで一様。
77 杯(須恵)	口(13.2) 底(10.0) 高 3.7	■⇔4区 片側体	右回転ロクロー外底と体部下平回転ヘラ削り。ロクロ痕弱いが磨き鋭い。器面平滑。	①素地やや緻密。0.5mm大の石少量混入。気泡まじり。 ②やや硬調の還元焰。 ③灰白10Y8/1。断面まで一様。
78 杯(須恵)	口(14.5) 底(10.4) 高(3.4)	■+73cm 図示部の片	右回転ロクロー外底回転ヘラ削り。ロクロ痕弱く平滑。	①素地普通。チャート、輝石まじりの1mm大の石混入。②硬調の還元焰。 ③灰白2.5Y8/1。断面まで一様。
79 杯(須恵)	口 12.6~ 13.1 底 8.0 高 3.6	2・8区 片側体	右回転ロクロー底部全面と体部下端に回転ヘラ削り。外面下半のみロクロ痕弱い。歪み大きい。	①素地やや緻密。チャートまじりの1mm大の礫を少量混入。②やや硬調の還元焰。 ③青灰5B5/1。断面までほぼ一様。
80 杯(須恵)	口 12.5 底 8.0 高 3.2	1区⇔2区 口片 高 ほぼ寛存	右回転ロクロー回転ヘラ切り⇔底部全面回転ヘラ削り。外底の削りは縁で中央に粘土塊が残っている。	①素地普通。混入物少ない。気泡の混入やや多い。 ②やや硬調の還元焰。③灰N6/1。外面一部降灰輪かかる。断面中央赤紫色味をおびる。
81 杯(須恵)	口 13.2~ 13.7 底 9.2	■+77cm⇔ 1区⇔4区 片側体	右回転ロクロー回転ヘラ切り無調整。内端部に重ね焼き痕あり。小さな歪みあり。	①面密。少量の白色砂。黒色鉱物以外混入物まれ。 ②還元焰。普通。③青灰5PB6/1。外面光沢のある黒色部分広い。断面赤紫色味強い。内面に片寄って降灰輪がかかる。
82 杯(須恵)	口(12.4) 底 7.7 高 3.6	2区⇔4区 ⇔8区 口片底片	右回転ロクロー回転糸切り⇔外底に丁寧な手持ちヘラ削り。	①やや砂質。黒色鉱物やや多い。気泡まじり。 ②硬調の還元焰。 ③外面灰5PB7/1。外面に黒色味強いムラあり。
83 杯(須恵)	口 12.6 底 7.6 高 3.7~4.1	■+68cm ⇔4区 口片底片	右回転ロクロー外底全面幅太の左回転ヘラ削り。内面平滑。歪みあり様、傾きとも不安。	①素地やや砂質。1mm大の礫を少量混入。 ②還元焰。やや軟調。 ③外面灰5Y6/1。内面灰10Y4/1。
84 杯(須恵)	口(14.6) 底(8.6) 高 3.2	4区7片 口片 底片	右回転ロクロー回転ヘラ切り無調整。ロクロ痕弱い。	①やや緻密。黒色鉱物多い。気泡混入。②還元焰で普通。③明青灰5PB7/1。内面に瘤降状の白色降灰輪若干かかる。断面黄色味強い。
85 杯(須恵)	口(12.8) 底(7.7) 高 4.1	■⇔2区 口片 底片	右回転ロクロー回転ヘラ切り⇔外底手持ちの外削り。ロクロ痕弱く平滑。薄手で乾き。	①素地普通。3mm大の片岩やや多い。 ②還元焰。普通。 ③オレンジ2.5GY6/1。底部内外面赤紫色味が強い。
86 杯(須恵)	口 12.0~ 12.5 底 8.0 高 3.3~3.7	1口⇔4区 ⇔8区 口片 底片	右回転ロクロー回転ヘラ切り無調整。内底のみロクロ痕の凹凸強い。歪み強い。	①素地普通。黒色鉱物の混入きわめて多い。 ②やや硬調の還元焰。 ③灰5Y6/1。体部外面に厚く降灰輪がかかる。
87 杯(須恵)	口(13.2) 底 9.0~9.4 高 3.5	■+81cm⇔ 1区⇔4区 口片底片	右回転ロクロー回転ヘラ切り⇔外底全面不明瞭な削り。内面は鋭い磨痕が通っている。	①素地砂質でやや粗い。混入物は少ない。 ②還元焰。普通。③断面灰白7.5Y8/1。器面は焼したように灰7.5Y4/1。
88 杯(須恵)	口(13.2) 底(7.8) 高 3.0	■+74cm 片側体	右回転ロクロー回転ヘラ切り無調整。内底の凹凸多い。	①やや砂質。混入物少ない。気泡まじり。 ②や硬調の還元焰。③灰5Y6/1で断面までほぼ一様。内面に火ダグキ状の黒色部分あり。
89 杯(須恵)	口(14.0) 底(9.4) 高 3.7	片側体	右回転ロクロー外底左回転のヘラ削りか。下平手持ちヘラ削りの可能性あり。内面平滑。	①粒径不揃いでやや粗い。1mm大の石、赤褐色鉱物混入。気泡まじり。②還元焰。普通。 ③灰黄2.5Y6/2。断面赤紫色味をおびる。
90 杯(須恵)	口(13.4) 底 8.4 高 3.8	■底面直上 ⇔8区 口片底片	右回転ロクロー回転ヘラ切り⇔無調整だが外底縁部は平滑。内面体部は平滑。内底中央に焼成後縫刻「×」あり。	①素地やや砂質。黒色鉱物やや多い。②やや硬調の還元焰。③青灰5PB6/1。外面体部は灰黄色の降灰輪が瘤降状にかかっている。



No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
91 杯(須恵)	口 13.3 底 8.6 高 2.7~3.3	■+78cm <sup>2</sup> +81cm <sup>2</sup> 互側体	右回転クロー回転ヘラ切り。内底中央に焼成後線刻「 $\times$ 」あり。歪み強く様、傾きと不安。	①素地普通。微細な黒色鉱物やや多い。 ②還元焰。普通。 ③灰白10Y7/1。内面一部に黄緑色の磨砕粒かかる。
92 杯(土師)	口(11.8)	■底面直上 図示部の互	丸縁の強い外底に比して内底は平坦で高杯の可能性もある。外底の削りは歪み強。	①デックリしている。輝石まじりの細砂少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい赤褐色5YR5/4。明度の低いムラあり。
93 杯(土師)	口(11.0)	4区埋没土 図示部の互	外面の削りはやや細か丁車。内面も平滑に仕上げている。	①素地普通。パミス等のまじる細砂を少量含む。 ②酸化焰。普通。③にぶい橙5YR6/4。ほぼ一様。
94 杯(土師)	口(12.8)	■底面直上 <sup>2</sup> +10 <sup>2</sup> +68 <sup>2</sup> 図示部の互	外底の削りやや弱い。体部下半は無調整。内面は平滑さ欠く。	①ややザラザラした素地。細砂混入する。 ②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい橙5YR6/4。内面やや黄色味をおびる。
95 杯(土師)	口(10.2) 高 2.5	■+10cm <sup>2</sup> 互側体	外面の削りはやや扁平。内面はやや平滑さ欠く。	①素地普通。パミス、輝石まじりの細砂少量含む。 ②酸化焰。普通。③にぶい橙5YR6/4。
96 杯(土師)	口(10.8) 高 3.1	■底面直上 互側体	外面の削りは弱い。無調整部分広い。内面ナゲ丁車で平滑に仕上げている。	①素地普通。赤褐色鉱物、パミス、輝石等を含む。 ②酸化焰。やや軟調。③にぶい橙5YR7/4。ほぼ一様。
97 杯(土師)	口(11.4)	■+34cm <sup>2</sup> 図示部の互	外面の削りやや弱い。内面の仕上げも丁車だが擦痕はつきり残っていない。	①素地普通。粗砂の混入やや多い。②酸化焰。やや軟調。③にぶい橙5YR6/4。ほぼ一様。
98 杯(土師)	口(12.0)	図示部の互	外面の削りは幅太で強い。内面のナゲは丁車。	①素地普通。輝石、パミスまじりの砂粒を含む。 ②酸化焰。普通。③にぶい橙7.5YR6/4。一様。
99 杯(土師)	口(13.0)	■+68cm <sup>2</sup> +4区 図示部の互	外面の削りは底部のみで体部下半は無調整部分が残る。内面は丁車なナゲでやや粗い磨痕が通っている。	①素地普通。輝石、パミスまじりの細砂少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。外面に黒斑広い。
100 杯(土師)	口(10.4)	■底面直上 互側体	外底の削りは鋭い。内面のナゲは幅広の布状工具の擦痕が通っている。口縁部は内側にやや強く屈曲しているが形状は様ではない。	①素地普通。パミス、1~2mm大の礫等を含む。 ②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい橙5YR6/4。内面やや赤色味をおびる。
101 杯(土師)	口(12.8)	4区2片 互側体	外面の削りやや強い。口縁内縁は小さく屈曲しているが形状は一定でない。内面ナゲは布状の幅広の擦痕が残る。	①素地やや軟調。砂粒を少量含んでいる。 ②酸化焰。普通。 ③橙7.5YR7/6。ほぼ一様。
102 杯(土師)	口(12.4)	■+22cm <sup>2</sup> +23cm <sup>2</sup> +4区 図示部の互	外面削りはやや細かい。口縁下半は無調整部分やや広い。内面ナゲは丁車でヘラ状の工具面が残っている。口縁内縁の形状は様ではない。	①素地普通。2mm大の礫を散見する。 ②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい橙5YR6/4。外底は灰色味をおびている。
103 杯(土師)	口 11.8 高 3.8	■+18cm <sup>2</sup> 口 互欠く	外底の削りは規則的で平坦部分を弧状に削った後、残りに一方の削りを加えている。内面のナゲも丁車で布状の幅太の工具面が通っている。	①素地普通。石灰、パミスまじりの砂粒を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい黄橙10YR7/3。外面に赤色味、黒色味をおびるムラあり。
104 杯(土師)	口 12.6 高 3.5	互側体	外面の削りやや強い。中央で一方。無調整部分は狭い。内面丁車なナゲで平滑に仕上げている。	①素地普通。パミス、石英等のまじる砂粒やや多い。 ②やや硬調の酸化焰。 ③橙7.5YR7/6。ほぼ一様。
105 杯(土師)	口 12.0 高 3.5	4区 ほぼ完形	外面の削りは強く丁車で無調整部分を残さない。内面ナゲも強くやや粗い磨痕が通っている。	①素地やや粗い。パミス、石英等の混入物やや多い。 ②酸化焰。普通。③にぶい橙7.5YR7/4。外面灰色味や赤色味をおびるムラあり。
106 杯(土師)	口 12.2~ 12.5 高 3.9	■+20cm <sup>2</sup> 口 互欠く	外底の削りは強く鋭く中央で一方になる。内面のナゲは丁車。平面形に歪みあり。	①素地普通。パミス、1mm大の礫等混入物やや多い。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙7.5YR7/3。外面一部に黒斑あり。
107 杯(土師)	口 13.0 高 4.1	■+18cm <sup>2</sup> 互側体	外面の削りは鋭く息長い。中央で一方になっている。内面のナゲは丁車。口縁に小さな歪みあり。	①素地普通。パミスまじりの砂粒を少量含む。 ②やや硬調の酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR7/4。外面一部赤色味をおびる。
108 手づくね	底(3.6)	埋没土 図示部の互	外面は削りやナゲの痕跡なし。指頭圧痕状の模様がきている。内面は指頭による押圧とナゲ。	①素地普通。微かな赤褐色鉱物、パミスを含む。 ②酸化焰。やや硬調。 ③黒相2.5Y3/1。断面は明度高い。
109 手づくね	高 5.5	埋没土2片 図示部の互	外面は指紋状の微細な凹凸が断面全体に見られる。内面は方向不定の強いナゲの擦痕あり。	①素地やや粗い。パミス、赤褐色鉱物。1~2mm大の礫を含む。 ②酸化焰。普通。 ③灰柄7.5YR4/2。断面は明度高い。
110 手づくね	底(4.4)	3区埋没土 図示部の互	内外面とも指頭圧痕状の窪みがあるが断面は平滑。外底も平坦である。	①素地やや粗い。パミス、赤褐色鉱物。1~2mm大の礫を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい赤相2.5YR5/4。ほぼ一様。

遺物観察表

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
111 杯(土師)	口 15.4 高 3.4	■底面直上 完形	外底の削りは幅太でやや弱い。内面は口縁部に強いナデの痕が通っているが底面は凹凸多い。上端に肥厚しているが形状は様でない。	①素地普通。バミス、輝石、1mm大の礫等を含んでいる。 ②酸化。普通。 ③におい楳7.5YR7/4。口縁外面に小さな黒痕あり。 ④素地普通。バミス、輝石まじりの砂粒を含む。 ⑤酸化。普通。③におい楳7.5YR7/4。外面に黒痕あり。断面一部灰色味をおびている。
112 杯(土師)	口(14.9)	■+32cm 片割体	外面の削りは幅太で息長い。無調整部分を残さない。内面丁寧なナデで底面には布目状の擦痕が残っている。	①素地普通。バミス、輝石まじりの砂粒を含む。 ②酸化。普通。③におい楳7.5YR7/4。外面に黒痕あり。断面一部灰色味をおびている。 ④におい楳7.5YR6/4。外面に明度の高いムラあり。
113 杯(土師)	口 15.6 高 3.9	■+24cm ほぼ完形	外底の削りは息長くやや強い。口縁下半に削り時についた指頭痕が観察できる。内面ナデは口縁部に強い擦痕通る。	①素地普通。赤褐色。石灰、輝石等種多量混入物含む。②酸化。やや軟調。 ③におい楳7.5YR6/4。外面に明度の高いムラあり。
114 杯(土師)	口 15.8~ 16.1 高 3.8	■+12cm ≒4区 口 互欠	外面の削りは息長く丁寧で中央でほぼ一方方向。内面は布状の工具による幅広のナデのあとあり。	①素地普通。バミスまじりの砂粒を含む。 ②酸化。普通。 ③におい楳10YR6/4。外面に黒痕あり。
115 杯(土師)	口 16.2 高 3.9	■ 口 互欠 底 互欠	外底の削りは息長く強い。内面は渾てハゼ多く不明瞭。厚手で重量。内底の中央に焼成後の線刻「メ」。	①素地普通。1~2mm大の礫、輝石等の混入物多い。 ②酸化。普通。 ③におい楳7.5YR6/4。外底に低い黒痕あり。
116 杯(土師)	口 15.2 高 3.8	■+77cm≒ +90cm 口 互欠 互欠	外面の削りは細かく方向性にかけている。内面ナデは丁寧だが内底はあまり平直ではない。	①素地普通。バミス、輝石まじりの砂粒やや多い。 ②酸化。やや軟調。 ③におい楳7.5YR6/3。ほぼ一様。
117 杯(土師)	口(15.6)	■ 図示部の互欠	外面削りはやや弱い。内面も丁寧なナデ。口縁内縁は上方へ小さく肥厚している。	①ややザラザラした素地。輝石、バミスまじりの砂粒含む。②やや硬調の酸化。③におい楳7.5YR7/4。ほぼ一様。
118 杯(土師)	口 15.8 高 4.0	■+26cm ≒4区 片割体	外底削りはやや弱く中央でほぼ一方方向となる。歪みあり甚不安。	①ややザラザラした素地になる。輝石まじりの砂粒含む。②やや硬調の酸化。③におい楳10YR7/4。ほぼ一様。
119 杯(土師)	口(17.0)	■+72cm 図示部の互欠	外面の削りは弱い。内面は丁寧仕上げ。歪みあり。甚不安。	①素地普通。輝石、バミスまじりの砂粒含む。②酸化。普通。③におい楳7.5YR7/4。ほぼ一様。
120 杯(土師)	口(15.0)	4区2片 互割体	外底の削り細かく弱い。内面のナデは丁寧。歪みあり。甚、傾きとも不安。	①素地普通。バミス、チャートまじりの砂粒を含む。②酸化。普通。 ③楳5YR6/6。外面に赤色味の強いムラあり。
121 杯(土師)	口(14.8) 高 3.0	3区2片 互割体	外面削りは息長い。無調整部分を残さない。内面ナデやや粗く器面に細かな凹凸が残っている。	①素地普通。バミスのやや目立つ砂粒を含む。②酸化。普通。 ③におい楳7.5YR7/4。ほぼ一様。
122 杯(土師)	口(15.0) 高 4.1	■+25cm 口 互欠 底 互欠	外底の削りは幅太でやや弱い。縁部一部に無調整部分あり。内面のナデは口縁部に布状の擦痕が通っている。内底は器面に細かな凹凸が多い。	①ザラザラしたやや粗い素地。角四石、バミス等の混入物や多い。②やや硬調の酸化。③楳5YR6/6。外面一部灰色味をおびている。
123 杯(土師)	口 15.7 高 3.8	■+33cm 口 互欠 底 互欠	やや厚手。外底の削りはやや強い。口縁下半に無調整部分が残る。内面は強いナデで細かな布状の擦痕が通る。	①素地普通。チャート、バミス、内角石等のまじり砂粒やや多い。②酸化。普通。 ③におい楳7.5YR7/4。断面やや形度低い。
124 杯(土師)	口 14.4 高 4.3	■+87cm 互割体	外面の削りやや弱い。内面丁寧で強いナデで粗い磨痕が同心円状に走っている。	①素地やや砂質。1mm大の礫まじりの砂粒含む。②酸化。普通。③におい楳7.5YR7/4。外面一部黒色味をおびていて一様でない。
125 杯(土師)	口(14.0)	■底面直上 図示部の互欠	外底削りはやや息長く丁寧。内面のナデも丁寧で平直に仕上げている。	①素地やや軟弱。バミス、チャートまじりの砂粒含む。②やや硬調の酸化。③楳5YR6/6。外底は黄色味をおびている。
126 杯(土師)	口(16.8)	■+10cm 図示部の互欠	外面の削りはやや弱い。内面ナデは丁寧で布目状の幅太の擦痕が同心円状に走っている。	①素地やや弱い。バミスまじりの粗砂やや多い。②酸化。やや軟調。 ③におい楳7.5YR6/4。ほぼ一様。
127 杯(土師)	口(14.6)	■ 図示部の互欠	外底の削りは強い。口縁及び内面のナデも強くやや粗い擦痕が通っている。	①素地普通。バミスまじりの粗砂やや多い。②酸化。普通。③におい楳7.5YR7/3。ほぼ一様。
128 杯(土師)	口(13.4) 高 5.6	■+22cm 口上半 互欠	外底の削りは幅太で強く、息も長い。無調整部分も狭い。内底に小さな凹凸あり。	①素地普通。バミス、チャート、雲母等種多量混入物を含む。②酸化。普通。 ③におい楳7.5YR6/4。一様。
129 杯(土師)	口(18.8)	■ 図示部の互欠	外面削りやや強い。無調整部分をほとんど残さない。内面平直。	①素地普通。1mm大の礫を少量含む。②酸化。普通。③におい楳7.5YR6/4。赤色味をおびるムラあり。
130 杯(土師)	口(16.4)	■+86cm 図示部の互欠	外面削りは弱くやや粗。無調整部分はほとんど残らない。内面ナデはやや粗い擦痕が同心円状に走っている。	①素地普通。細砂以外の混入物少ない。②酸化。普通。 ③におい楳5YR6/4。断面中央は灰色味をおびている。
131 杯(土師)	口 16.0 高 4.8	■ 互割体	外面の削りは息長く中央で一方方向。内面ナデはやや粗い擦痕が通っている。	①素地やや弱い。粗砂の混入やや多い。②酸化。やや硬調。③におい楳7.5YR6/4。ほぼ一様。

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
132 杯(土師)	口(15.2) 高 4.9	外筒体	外底の削りは弱い丁家。内面のナデは強く粗い布目状の磨痕が残っている。	①素地普通。細砂を含む。②酸化焰。普通。③にぶい楕5YR7/4。内面やや赤色味をおびる。
133 杯(土師)	口 16.0	口 瓦 底 瓦	外底の削りは弱く一部で不明瞭。口縁部は無調整部分広いが表面は平滑。内面ナデ丁家。	①素地普通。バミスまじりの砂粒を含む。②酸化焰。普通。③にぶい楕5YR6/4。
134 杯(土師)	口 16.0 高 4.7	■+15cm 瓦筒体	外底の削りはやや鋭い。無調整部分は少ない。内面ナデは丁家で口縁部にやや粗い磨痕が残っている。	①素地普通。バミス、赤褐色鉱物等のまじり砂粒を含む。②酸化焰。普通。③にぶい楕7.5YR7/3。外底に黒斑あり。
135 杯(土師)	口(19.8)	■+41cm 図示部の瓦	外底の削りやや弱い。無調整部分広い内面のナデは丁家。小さな歪みあり。怪不安。	①素地普通。バミス、輝石まじりの砂粒を含む。②酸化焰。やや硬調。③にぶい楕7.5YR7/4。ほぼ一様。
136 杯(土師)	口(18.0) 高 6.3	4区 図示部の瓦	外底の削りは丁家。内面ナデも丁家で口縁部にやや粗い磨痕が残っている。口縁外縁の稜やや鋭い。	①素地やや微密。細砂少量含む以外混入物少ない。②酸化焰。普通。③にぶい楕5YR6/4。
137 杯(土師)	口(12.5)	4区3片 図示部の瓦	表面風化し不明瞭だが外面に削りの痕跡は認められない。内面に丁家な暗文を施している。口縁部斜放射状、内底放射状。現に弧を重ねて渦線状にした意匠が、口縁外縁にも磨きを加える。	①素地普通。混入物をほとんど含まない。②酸化焰。やや軟調。③にぶい楕5YR6/4。赤色味、黄色味をおびる。ムラあり一様でない。
138 杯(土師)	口(11.6) 底(7.8)	口 瓦 底 瓦	外底と口縁下半に幅広い規則的な削り内面はやや強いナデの後口縁部にのみやや複雑な暗文を施す。口縁の歪み著しく、傾き不安。	①素地普通。赤褐色鉱物、バミス等を少量含む。②酸化焰。やや軟調。③明赤焼2.5YR5/6。ほぼ一様。
139 杯(土師)	口(14.2)	4区⇒6区の 計11片 口 瓦 底 瓦	外面は弱いが鋭い息の長い削り。内面は丁家なナデの後、暗文を施す。暗文は内底で細く口縁部は太い。口縁内端の肥厚が残っている。とても丁家作りの土器である。	①素地やや微密。赤褐色鉱物、1mm大の礫等を少量含む。②酸化焰。普通。③にぶい楕5YR6/4。ほぼ一様。
140 杯(土師)	口(12.4) 高 4.9	■+98± 口 若干 底 瓦	外面の削りは幅広くやや丁家。内面もやや丁家なナデの後、暗文を施す。内底に焼成跡と思われる線刻「中」あり。	①素地普通。バミス、角閃石等を少量含む。②酸化焰。普通。③にぶい楕5YR6/4。断面は彩度低い。
141 杯(土師)	口(13.3)	■底面直上 図示部の瓦	外面の削りはやや鈍く鋭い。口縁部のナデは強い。内面はやや幅広い放射状の暗文を施す。	①素地やや粗い。1mm大の礫、赤褐色鉱物等のまじり砂粒や多い。②酸化焰。普通。③明赤焼2.5YR5/7。断面までほぼ一様。
142 杯(土師)	口 14.6	埋没土 図示部の瓦	外面の削りはやや鈍。無調整部分が残っている。内面は強いナデの上にやや丁家な暗文を施している。小破片からの復元で怪不安。	①素地普通。混入物少ない。②酸化焰。普通。③にぶい黄緑10YR7/3。内面は赤色味をおびている。
143 杯(土師)	口(16.0) 底 10.2 高 5.3	4口⇒8区の 計11片 口 瓦 底 ほぼ存在	外底は手持ちヘラ削りだが刺落すすみ不明瞭。口縁部に外面横状、内面弧状のヘラ磨き。内面黒色処理。	①素地普通。赤褐色鉱物、2mm大の礫等を含む。②酸化焰。軟調。③にぶい楕7.5YR7/3。一部に黒斑あり。内面光沢の強い黒色。④内底は摩滅している。
144 杯(土師)	口(13.2) 高(3.8)	埋没土 図示部の瓦	142と同巧。外面の削りはやや強い。小破片からの復元で怪不安。	①素地普通。混入物少ない。②酸化焰。普通。③にぶい楕5YR6/4。ほぼ一様。
145 杯(土師)	口(15.4)	2区2片 図示部の瓦	口縁外面は無調整部分広い。内面の暗文は幅広く弱いのと深く鋭いもの二種類が見られる。どちらも雑である。	①素地普通。バミスまじりの砂粒を少量含んでいる。②酸化焰。普通。③にぶい楕7.5Y6/4。
146 杯(土師)	口(14.2)	3区埋没土 図示部の瓦	外面の削りはやや強く丁家。内面も丁家なナデ。	①素地普通。細砂少量含む。②酸化焰。普通。③にぶい楕7.5YR7/4。外面一部黒斑あり。
147 杯(土師)	口 11.5 高 3.6	■ 完形	外面の削りは丁家で息長い一部に無調整部分が残る。内面のナデも丁家で平滑に仕上げている。	①素地普通。②やや硬調の酸化焰。③にぶい楕5YR6/4。一部で赤色味をおびる。
148 杯(土師)	口 14.4 高 2.9	■+10cm± +28cm	外底の削りは横の反時計回りで残っている。口縁と内面のナデは強くやや粗い磨痕が残っている。	①素地やや粗い。バミス、輝石まじりの粗粒や多。②酸化焰。普通。③にぶい楕7.5YR6/3。ほぼ一様。
149 杯(土師)	口(12.6) 高 4.1	■底面直上 口 瓦 底 瓦	厚手やや重量。表面やや摩滅していて整形痕は不明瞭。外底の削りは幅広く内面はやや平滑に仕上げている。	①ザラザラした素地。バミス、1mm大の礫等の混入やや多い。②酸化焰。普通。③にぶい楕7.5YR7/3。外面は赤色味、黒色味をおびるムラあり。
150 杯(土師)	口(13.6) 高 4.2	4区埋没土 口 瓦 底 瓦	外面の削りやや強い。内面は平滑に仕上げている。外面の刺落やヤササ。	①素地やや粗い。バミス、輝石まじりの砂粒を含む。②酸化焰。やや軟調。③にぶい楕5YR6/4。ほぼ一様。
151 杯(土師)	口(12.6)	図示部の瓦	外底の削りは息長く鋭い。内面丁家なナデ。	①素地やや粗い。バミスまじりの粗砂を含む。②酸化焰。普通。③楕7.5YR7/6。断面は彩度低い。

遺物観察表

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
152 杯(土師)	口(13.5)	■+67cm 図示部の写	外面の削りはやや丁寧。内面も丁寧にナゲている。口縁に小さな歪みあり。	①素地普通。バミスまじりの砂粒を少量含む。 ②酸化焰。普通。③によい貫粒10YR7/4。ほぼ一様。
153 杯(土師)	口(14.0)	写個体	外底の削りやや鋭い。内面のナゲはやや粗い磨面が同心円状に走っている。	①素地普通。バミス、輝石まじりの砂粒含む。 ②酸化焰。普通。③によい粒7.5YR7/4。ほぼ一様。
154 杯(土師)	口(19.0)	4区3片 図示部の写	外底の削りは鋭い。内面のナゲは縁部にのみ鋭い磨面が走っている。	①素地普通。バミスまじりの砂粒を少量含む。 ②酸化焰。やや軟調。③によい粒7.5Y7/4。内面は赤色味。灰色味をおびるムラあり。
155 杯(須恵)	口 12.8 底 9.7	3区⇔4区 写個体	右回転クロー。外底残存部分は方向不定の手持へう削り。体部下端は回転へう削りか。内面の磨面鋭い。	①素地やや砂質。3mm大の礫が見える。砂粒混入。 ②やや硬調の還元焰。 ③灰白5Y8/1。断面までほぼ一様。
156 杯(須恵)	口(14.4) 底 6.7 高 3.8	■⇔4区 口 写 底 宛存	右回転クロー→回転へう切り無調整。クロー痕強い。器面がわめて平滑。	①素地普通。チャート、バミス、3mm大の石を含む。 ②還元焰。普通。 ③灰7.5Y6/1でほぼ一様。
157 杯(須恵)	口(12.2) 底(7.0) 高 4.6	埋没土 図示部の写	右回転クロー→回転へう切り無調整。クロー痕強いが磨面はやや鋭い。歪み強く径、積きとも不安。	①素地緻密。微細な黒色鉱物やや多い。 ②硬調の還元焰で焼き結まる。 ③灰10Y6/1。内面に黄緑色の釉が不均等にかかる。
158 杯(須恵)	口(13.0) 底 7.8 高 3.4	■底面上 ⇔2区 口 写 底 写	右回転クロー→回転糸切り→外底縁部に斜めの回転へう削り。	①素地普通。石灰、黒色鉱物まじりの1mm大の礫混入。②還元焰。普通。 ③灰7.5Y6/1。口縁外縁黒色味をおびる。
159 杯(須恵)	口(10.0) 底(5.7) 高 2.9	4区2片 図示部の写	右回転クロー→回転へう切りか。クロー痕強い。	①素地緻密。黒色鉱物の混入やや多い。 ②硬調の還元焰。 ③灰N6/0。
160 杯(須恵)	口(12.0) 底(7.2) 高 3.2	8区埋没土 写個体	右回転クロー→回転へう切りか→外底周縁と体部下端に不明瞭な削り。また平滑でゴザ状の凹凸がわずかに残る。	①素地やや緻密。粗砂含む。3mm大の石混入。 ②やや硬調の還元焰。 ③灰10Y6/1。断面まで一様。
161 杯(須恵)	口(11.4) 底(6.2) 高 3.1	4区埋没土 写個体	右回転クロー→回転糸切り→外底縁部回転へう削りか。内面クロー痕強い。	①素地やや粗い。1~3mm大のチャート、片岩粒等混入。②やや軟調の還元焰。 ③灰白5Y7/1。断面までほぼ一様。
162 杯(須恵)	口(12.6) 底(8.4) 高 3.2	■+104cm 写個体	右回転クロー→回転へう切りか。外底縁部に回転へう削り。内面でクロー痕強い。内底に直線的なナゲのような磨面あり。	①やや砂質だが緻密。細かな黒色鉱物の混入多い。 ②硬調の還元焰で焼き結まる。 ③内面灰白N7/0。外面は不規則に濃緑色の降灰釉がかかる。
163 杯(須恵)	口(13.2) 底(7.8)	4区3片 口 写 底 写	右回転クロー→外底と体部下端に回転へう削り。	①やや砂質で軽量。チャートまじりの1mm大の石混入。 ②還元焰。普通。③灰白10Y7/1。断面までほぼ一様。
164 杯(須恵)	口 13.1 底 8.0 高 3.1	■+10cm ⇔4区 口 写 底 ほぼ宛存	右回転クロー→回転糸切り→外底縁部手持へう削りは砂粒の動きがきわめて少ない。クロー痕弱。内底は平坦。	①やや砂質。バミスまじりの粗砂の混入多い。 ②還元焰。普通。 ③暗青灰10BG4/1。断面までほぼ一様。
165 杯(須恵)	口(15.2) 底(9.6) 高 3.8	4区8片 口 写 底 写	右回転クロー→回転糸切り→外底縁部と体部下半に回転へう削り。内底は平滑。	①素地砂質。0.5mm大の礫の混入やや多い。 ②還元焰。やや磨き結まる。 ③灰白10Y7/1。濃淡あり一様でない。
166 杯(須恵)	口(13.1) 底(9.2) 高 4.0	■+88cm 口 若干 下半 写	右回転クロー→回転糸切り→底部周縁と体部下半に左回転のへう削り。歪み強く径、積きとも不安。	①素地普通。白色砂粒の混入やや多い。 ②還元焰。普通。 ③灰7.5Y5/1。
167 杯(須恵)	口 14.8 底 8.3 高 4.2	■+18cm⇔1区 ⇔2区⇔4区 ほぼ宛存	右回転クロー→削離し手法不明→外底に緩な回転へう削り。内面平滑。	①素地やや粗い。チャートまじりの2mm大の礫の混入多い。②やや軟調の還元焰。 ③灰白2.5Y7/1。一様でない。④一部に二次焼結。
168 杯(須恵)	口(13.7) 底 8.5 高 3.1	3区 口 写 底 写	右回転クロー→回転糸切り→外底縁部種々な手持へう削り。内面立ち上りに丁寧な磨みが通っている。外面クロー痕強い。	①素地砂質。2~3mm大の片岩粒や多い。 ②還元焰。やや磨き結まる。 ③暗青灰5B4/1。断面一部赤紫色味をおびている。
169 杯(須恵)	口(13.3) 底 7.4 高 3.8	1・2・4・8区 口 写 底 ほぼ宛存	右回転クロー→回転糸切り→外底縁部扁平の手持へう削り。	①素地やや粗い。黒色鉱物、輝石等の混入物やや多 ②還元焰。普通。 ③灰白7.5Y7/1。外底は赤色味をおびている。
170 杯(須恵)	口(14.0) 底 7.8 高 3.8	■+6cm2片 口 写 底 宛存	右回転クロー→回転糸切り→外底縁部と体部下端に斜めの回転へう削り。内面平滑。	①素地やや粗い。白色砂粒の混入多い。 ②還元焰。普通。 ③外面灰10Y4/1。内面断面灰7.5Y6/1。
171 杯(須恵)	口(13.6) 底 7.8 高 3.9	4口⇔8区 口 写 底 写	右回転クロー→回転糸切り無調整。外面に凍てハゼあり。	①素地普通。細砂以外の混入物少ない。 ②やや軟調の還元焰。③灰5Y6/1。体部外面灰10Y4/1。断面黄色味をおびている。

No.・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
172 杯(須恵)	口 12.6 底 7.4 高 3.2	4区10片 口 瓦 底 ほぼ完存	右回転ロクロ→回転糸切り無調整。ロクロ痕弱い。	①素地普通。混入物少ない。 ②還元焰。やや緑まり欠く。 ③灰白10Y8/1。外面に黒色味の強いムラ広い。
173 杯(須恵)	口(12.3) 底 6.3 高 3.1	4口⇒8区 口 瓦 底 完存	右回転ロクロ→回転糸切り無調整。断面の平滑にやや欠ける。	①素地普通。チャート、バミスまじりの石混入。 ②やや酸調の還元焰。 ③灰白7.5Y7/1。外面黒色味の強いムラあり。
174 杯(須恵)	口(13.4) 底 6.9 高 3.8	2区 口 瓦 底 瓦	右回転ロクロ→回転糸切り→外底縁部に不規則な手持ちへつ削り。ロクロ痕弱い。内底平坦。	①素地普通。1~3mm大の片岩粒、礫の混入やや多い。 ②やや酸調の還元焰。 ③灰白5Y7/1。
175 杯(須恵)	口12.2 底 6.8~6.5 高 3.7	2区⇒4区 口 瓦 底 完存	右回転ロクロ→回転糸切り無調整。ロクロ痕弱い。内底平滑。	①素地やや砂質。小粒の黒色鉱物少量含む。 ②還元焰。普通。 ③灰白7.5Y7/1で断面までほぼ一様。
176 杯(須恵)	口(12.0) 底 6.6 高 3.2	■底面直上 口 瓦 底 瓦	右回転ロクロ→回転糸切り無調整。ロクロ痕きわめて弱い。	①素地普通。2mm大の片岩粒やや多い。 ②やや酸調の還元焰。 ③灰5Y6/1。外面下半部灰5R5/1。
177 杯(須恵)	口 11.8~ 12.6 底 6.8 高 3.5~3.8	3区⇒4区 ⇒8区 片割体	右回転ロクロ→回転糸切り無調整。ロクロ痕弱い。やや歪みあり。	①素地普通。黒色鉱物の混入きわめて多い。 ②やや酸調の還元焰。 ③褐色10YR6/1。外面灰黄色の降灰軸多い。
178 杯(須恵)	口(11.9) 底(7.0) 高 2.9	■底面直上 片割体	右回転ロクロ→回転糸切り無調整。ロクロ痕弱く内部平滑。	①素地やや粗い。石英、チャート等1mm大の混入物やや多い。②還元焰。普通。 ③暗青灰5B4/1。断面までほぼ一様。
179 杯(須恵)	口(12.5) 底 7.2 高 3.0~3.3	8区3片 口 瓦 底 瓦	右回転ロクロ→回転糸切り無調整。ロクロ痕やや強いが内底は平滑。	①素地やや砂質。白色砂粒の混入やや多い。 ②還元焰。普通。 ③暗青灰5B4/1。断面までほぼ一様。
180 杯(須恵)	口 12.5 底 6.8 高 3.6	■ 口 瓦欠く	右回転ロクロ→回転糸切り無調整。ロクロ痕弱い。内底も平坦。	①素地普通。黒色鉱物のやや多い砂粒含む。 ②還元焰。普通。 ③灰白5Y7/1。断面までほぼ一様。
181 杯(須恵)	口(13.0) 底 6.6 高 3.7	8区3片 口小片 底 完存	右回転ロクロ→回転糸切り無調整。ロクロ痕やや強い。	①素地普通。2mm大の礫を少量含んでいる。 ②還元焰。普通。 ③灰白2.5Y7/1。器面に明度の低い小さなムラあり。
182 杯(須恵)	口(12.7) 底 7.8 高 4.9	1・2・4区 口 瓦 底 ほぼ完存	右回転ロクロ→回転糸切り無調整。内底でロクロ痕やや強い。	①素地砂質でやや粗い。混入物少ない。 ②還元焰。普通。 ③灰白5Y8/1。外面上半と内面灰5Y5/1。
183 杯(須恵)	口(12.0) 底 7.2 高 4.0	■101cm 口 瓦 底 瓦	右回転ロクロ→回転糸切り無調整。ロクロ痕弱いが内底にやや鋭い稜痕が起っている。	①素地普通。2mm大の礫粒混入している。 ②還元焰。普通。二次焼成の可能性。 ③灰白7.5Y8/1→灰N5/0。一様でない。
184 高台付杯 (須恵)	口(15.2) 高 4.3 台 10.8	■+27cm ⇒4区 口 瓦 底 瓦	右回転ロクロ→回転糸切り無調整。高台取付け丁寧で外面はアケ具使用。内底は同心円状の細かなロクロ痕。	①素地やや緻密。黒色鉱物と白色砂粒混入。 ②還元焰。普通。 ③灰N6/1。断面は赤灰色。
185 杯(須恵)	口(11.4) 底(5.6) 高 4.0	■ 片割体 口縁部若干	右回転ロクロ→回転糸切り無調整。ロクロ痕弱く平滑に仕上げている。	①砂質でやや粗いがほぼつまっている。黒色鉱物の混入やや多い。②酸調の還元焰で良好。 ③内面褐色10YR6/1。一様。外面体部に黄緑色、白色の降灰軸多い。
186 杯(須恵)	口 11.6 底 6.0 高 3.9	■+68cm⇒1区 ⇒2区⇒4区 口 瓦 底 完存	右回転ロクロ→回転糸切り無調整。ロクロ痕弱い。	①素地普通。小粒の黒色鉱物やや多い。 ②還元焰。普通。③灰7.5Y6/1。外底中心に白色の降灰軸が重降灰にかかっている。
187 杯(須恵)	口 12.4 底 5.8 高 4.3	1区 口 瓦 底 完存	右回転ロクロ→回転糸切り無調整。内外面とも立ち上りやや強い。	①素地普通。細砂以外の混入物少ない。 ②還元焰。普通。 ③灰白10Y8/1。断面中央赤色味をおびる。
188 高台付杯 (須恵)	口(9.8) 高 5.1 台 6.0	2・4区 口 瓦 底 完存	右回転ロクロ→回転糸切り。高台取付けは中央をやや外れている。歪みやや不安。	①素地緻密。混入物も少なく良好。 ②還元焰。普通。 ③灰白10Y7/1。外面明度の低いムラあり。
189 杯(須恵)	口(13.0) 底(6.4) 高 3.2	4区⇒8区 口 瓦 底 瓦	右回転ロクロ→回転糸切り無調整。ロクロ痕弱く内底平滑。歪みあり計測値不安。	①素地やや砂質。片岩、バミス、黒色鉱物等相多量混入物含む。②還元焰。普通。 ③青灰5B6/1で断面まで一様。
190 杯(須恵)	口(12.6) 底 2.9 高 6.4	8区3片 器表面の瓦	器表面の割落著しく成形形、切離し痕観察できないがシルエットより右回転ロクロの回転糸切り無調整か。	①素地普通。1mm大の礫混入。 ②還元焰の焼き指ない。二次焼成の可能性。 ③灰白2.5Y7/1。断面中央黒色味が強い。

遺物観察表

№・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①粘土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
191 杯(須恵)	口 13.1 底 7.1 高 3.6~4.0	※底面直上± 1~4・8区 瓦個体	右回転クロー→回転糸切り無調整。ロク口風弱い。小さな窪みあり。口徑不安。	①素地や砂質。2mm大の礫が少量混入している。 ②還元焰。普通。 ③青灰5B5/1。外面に黒色味をおびるムラあり。
192 杯(須恵)	口(12.4) 底 6.4 高 3.5	2区±4区 口 瓦 底 完存	右回転クロー→回転糸切り無調整。内面ロク口風弱い。	①素地普通。黒色鉱物や多い。②還元焰。普通。 ③青灰5PB6/1。外面一部黒色味、断面赤紫色味をおびている。
193 高台付杯 (須恵)	口(13.4) 高 5.0 台 7.9	※+107cm 口 瓦 底 完存	右回転クロー→回転糸切り→丁寧な高台取付け。立ち上りは鋭い。	①素地普通。径5mm前後の礫を散見。 ②還元焰。普通。③灰N6/0。断面黒色味が強い。白色の隣接釉が少量付着している。
194 高台付杯 (須恵)	口(16.0)	※+44cm 口 瓦 底 ほぼ完存	右回転クロー→回転糸切り→高台取付け。器面平滑。高台はきれいに刺落しているが割落痕は確認していない。	①素地普通。チャート、白色砂粒等混入。 ②還元焰。普通。 ③灰白7.5Y7/1。断面一部赤紫色味をおびている。
195 高台付杯 (須恵)	口(16.6) 高 6.6 台 9.6	※+78cm 口 小片 底 完存	右回転クロー→回転糸切り無調整→丁寧な高台取付け。内底は弱い渦巻状のロク口風が残る。	①素地普通。1~3mm大のチャートまじりの礫を含む。②還元焰。普通。 ③赤灰5R5/1~灰10Y7/1。一樣でない。
196 高台付杯 (須恵)	高(4.8) 台 9.4	8区 底 完存	右回転クロー→回転糸切り無調整→丁寧な高台取付け。ロク口風弱い。	①素地や砂質。最大で径5mmの片岩粒混入。 ②軟調の還元焰。 ③外面灰10Y4/1。内面灰白5Y7/1。
197 高台付杯 (須恵)	口 14.4 高 7.8 台(9.8)	※+68cm± +91cm±2区 瓦個体	右回転クロー→回転糸切り無調整→丁寧な高台取付け。内面のみロク口風やや強いが底部は平坦。	①素地や砂質。3mm大の片岩粒の混入やや多い。 ②やや硬調の還元焰。 ③青灰10BG3/1。外面に弱い光沢あり。
198 高台付杯 (須恵)	台 11.7	※底面直上± +10cm 図示部の瓦	右回転クロー→回転糸切り→ロク口利用の丁寧な高台取付け。那厚い高台だが内底の平滑さより杯頸と似た。	①素地や砂質。1mm大の礫散見。②還元焰。普通。 ③青灰5B4/1。内面明度高い。火ダスキ状の黒色のムラあり。④内底やや摩滅して平滑。
199 杯(土師)	口(11.4) 高 3.0	※底面直上± +6cm±+10cm 口 瓦 底 瓦	外面の削りは息長く鋭い。内面のナゲも強く、磨痕が全面に返っている。	①素地普通。1mm大の礫のやや目立つ砂粒を含む。 ②還元焰。やや硬調。 ③にぶい焼5YR6/4
200 杯(土師)	口 12.1 高 3.9	※+41cm 瓦個体	外面の削りきわめて強く削りすぎの補修痕が残っている。内面のナゲ丁寧で鋭い磨痕が返っている。	①素地やや強い。バミスまじりの粗砂の混入やや多。 ②還元焰。普通。 ③にぶい黄緑10YR7/3。灰色味をおびるムラあり。
201 杯(土師)	口 11.8~ 12.2 高 3.4	口 瓦欠く	外底の削りはやや強い。内面のナゲは丁寧。口縁に小さな窪みあり。	①素地普通。バミス、輝石まじりの砂粒を含む。 ②還元焰。やや硬調。 ③にぶい焼5YR7/4。一樣。
202 杯(土師)	口 12.7	※+69cm 瓦個体	外底の削りはやや鋭い。口縁の無調整部分は広い。内面口縁にナゲの粗い磨痕が返っている。	①素地普通。1mm大の礫まじりの砂粒を含む。 ②還元焰。やや硬調。 ③にぶい焼7.5YR6/4。
203 杯(土師)	口 12.5 高 3.7	※+17cm ほぼ完形	外底の削り鋭く中央で一方。体部の無調整部分やや広い。内面ナゲは丁寧で口縁部にやや鋭い磨痕が返る。	①素地普通。赤褐色鉱物目立つ。粗砂を含む。 ②還元焰。やや軟調。 ③にぶい焼7.5YR7/4。
204 杯(土師)	口 12.5~ 12.8 高 3.5	※+26cm 口 瓦欠く	外底の削りは鋭い。内面ナゲは丁寧で器面は平滑に仕上げられる。	①素地普通。砂粒を少量混入している。 ②還元焰。やや軟調。 ③にぶい黄緑10YR7/4。外底に黒黒広い。
205 杯(土師)	口(12.6) 高 3.5	瓦個体	外面の削りは息長く鋭い。内面のナゲは幅の厚い布状工具痕が残っている。	①素地普通。バミスまじりの粗砂を少量含む。 ②還元焰。やや硬調。③にぶい焼7.5YR7/4。ほぼ一樣。
206 杯(土師)	口(12.8) 高 3.5	※+70cm 口 瓦 底 瓦	外底の削りは幅広くやや弱い。口縁下半は無調整。内面のナゲは丁寧でやや平滑に仕上げている。	①素地普通。バミス、角閃石まじりの粗砂少量含む。 ②還元焰。普通。③にぶい褐色7.5YR6/3。黒色味、灰色味をおびるムラあり。④内底にスス状の付着物あり。
207 杯(土師)	口(13.4) 高 3.5	※+78cm 瓦個体	外底には斜放射方向に近い変動的な削り。内面は丁寧なナゲで平滑に仕上げられる。	①素地普通。バミスまじりの粗砂を含む。 ②やや硬調の還元焰。 ③にぶい焼7.5YR6/4。彩度の低いムラあり。
208 杯(土師)	口(11.8)	※+18cm 瓦個体	外底の削りやや強。内面ナゲは丁寧で平滑に仕上げている。	①素地普通。1mm大の礫の混入やや多い。 ②やや硬調の還元焰。 ③にぶい焼7.5YR7/4。内面一部灰色味をおびる。
209 杯(土師)	口(12.6)	4区2片 図示部の瓦	外底中央のみ弱い削りを施し、無調整部分が広く残っている。内面は丁寧なナゲ。	①素地普通。バミスまじりの粗砂を少量含む。 ②還元焰。やや軟調。 ③にぶい焼7.5YR6/3。
210 杯(土師)	口 14.0	4区5片 口 瓦 底 瓦	外底の削り弱い。口縁下半は無調整で面膚状のヒビや多い。内面は器面荒れていて整形痕は不明瞭。	①素地普通。粗砂以外の混入物少ない。 ②還元焰。普通。③にぶい焼7.5YR7/3。外面は黒色味をおびるムラ広い。

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
211 杯(土師)	口(12.0)	埋没土 図示部の片	外底のナデやや強い。内面のナデ丁寧で平滑に仕上げている。	①素地やや緻密。細砂を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい焼5YR6/4。外面は黄色味をおびるムラあり。
212 杯(土師)	口 12.0	4区 片個体	外底の前りは幅広く強い。内面のナデはや丁寧だが表面は平滑さ欠く。歪みあり傾き不安。内底に扇状の不明瞭な付着物あり。	①素地普通。細砂を少量含む外れ入物少ない。 ②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい焼5YR6/4。外底は黒黒っぽい。
213 杯(土師)	口(12.4)	4区2片 図示部の片	外底の削りやや強い。口縁無調整部分広いが平滑。内面のナデやや丁寧。	①素地やや粗い。輝石まじりの砂粒やや多く、気泡含む。②やや硬調の酸化焰。 ③にぶい焼7.5YR7/4。外底灰色味をおびている。
214 杯(土師)	口(13.4)	■底面直上± +24cm±4区 口片 底片	外底の削りは息長い。口縁下半の無調整部分広い。内面ナデは強く粗い磨痕が全体に返っている。	①素地普通。バミス、1mm大の輝石まじりの砂粒やや多い。②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい焼7.5YR6/3。黒色味をおびるムラあり。 ④口縁部内縁の磨痕がすずんでいる。
215 杯(土師)	口(12.0) 高(3.4)	■+22cm 片個体	外底の削りは細かくやや強い。内面のナデも丁寧で平滑に仕上げている。	①素地普通。輝石、石英まじりの砂粒を含む。 ②やや硬調の酸化焰。 ③にぶい焼7.5YR7/4。内面やや黄色味をおびている。
216 杯(土師)	口 11.8 高 3.5	■+36cm 口片欠く	外底の削り鋭いが縁部の半分は無調整で指痕圧痕が残っている。内面丁寧なナデでやや粗い磨痕が返っている。	①素地普通。バミスまじりの砂粒を含む。 ②酸化焰。やや硬調。 ③にぶい焼7.5YR7/3。ほぼ一様。
217 杯(土師)	口(13.3) 高 4.9	■+30cm± +41cm 口片 底片	外面の削りは幅太で強い。口縁部の無調整部分やや広い。内面ナデは口縁部で強い磨痕が返っている。	①素地普通。バミス、輝石まじりの砂粒を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい焼7.5YR7/4。外底に黒黒あり。
218 杯(土師)	口 12.3~ 高 3.2	■+19cm 口片欠く	外底の削り丁寧。内面のナデも丁寧で細かな磨痕が全体に返っている。平面形の歪み大きい。	①素地普通。バミス、輝石混じりの砂粒やや多い。 ②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい焼7.5YR7/4。外底は黒黒っぽい。
219 杯(土師)	口 13.0 高 3.2	埋没土 図示部の片	外底の削りは弱く薄で、無調整部分広い。内面ナデもやや細く表面は平滑さ欠く。	①素地普通。輝石、バミスまじりの砂粒少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい焼5YR6/3。外面一部灰色味をおびている。
220 杯(土師)	口 13.6~ 高 14.0	個体+84cm 片個体	外底削りは丁寧だがやや弱い。口縁下半の無調整部分広い。内面ナデは丁寧でやや粗い磨痕が返っている。	①素地普通。バミスまじりの砂粒を含む。 ②酸化焰。普通。③にぶい焼7.5YR5/3。赤色味、黒色味おびる部分もあり一様でない。
221 杯(土師)	口(11.0)	4区埋没土 図示部の片	外面の削りやや強い。内面のナデは口縁部に鋭い磨痕が返っている。	①素地普通。輝石、バミスまじりの砂粒を含む。 ②酸化焰。やや硬調。③にぶい焼7.5YR7/4。ほぼ一様。
222 杯(土師)	口 12.3 高 3.3	4区7片 口片 底片	外底の削りは息長く鋭い。口縁下半の無調整部分やや広い。内面ナデは口縁部にやや粗い磨痕が返っている。	①素地普通。バミスまじりの砂粒を含む。 ②酸化焰。やや硬調。 ③にぶい焼5YR7/4。
223 杯(土師)	口(12.8) 高 2.5	■+76cm ±4区 口片 底片	外底中央の削りは息長く縁辺では短く強い。内面ナデは細かな磨痕が口縁部に返っている。	①素地やや粗い。バミス、雷母、2mm大の粒粒等を含む。②酸化焰。普通。 ③にぶい焼5YR6/4。外底は赤色味をおびている。
224 杯(土師)	口(12.2)	■+80cm 図示部の片	外底の前りは幅太でやや強い。口縁と内面のナデは強くやや粗い磨痕が返っている。	①素地普通。バミスまじりの砂粒やや多い。 ②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい焼7.5YR6/4。
225 杯(土師)	口(13.6)	4区埋没土 図示部の片	外底の削りやや強い。無調整部分広いが平滑。内面のナデは強く粗い磨痕が返っている。	①素地普通。バミス、チャートまじりの粗砂含む。気泡まじり。②酸化焰。普通。 ③にぶい焼7.5YR7/4。ほぼ一様。
226 杯(土師)	口(11.2) 高 2.3	■+91cm 片個体	外底に幅広く一方の強い削りを施す。内面は粗いナデの磨痕が残るが表面は凹凸大きい。	①素地普通。バミスまじりの砂粒を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい焼5YR6/4。内面は明度低い。
227 杯(土師)	口(13.7)	1区3片 図示部の片	外底の削りはやや不規則。口縁部のナデは無調整部分広い。内面ナデ強く底縁部に鋭い磨痕が沈状状に残る。	①素地普通。バミス、角四石の少量まじり砂粒含む。 ②酸化焰。やや硬調。 ③にぶい焼5YR6/4。ほぼ一様。
228 杯(土師)	口(14.2)	埋没土 図示部の片	外底の削りは強い。口縁部は無調整部分広い。内面丁寧なナデで平滑に仕上げている。	①素地普通。輝石まじりの砂粒を含む。 ②酸化焰。普通。③にぶい焼7.5YR6/4。黒色味強いムラあり一様でない。
229 杯(土師)	口(15.0)	3区2片 図示部の片	外面削りやや強く中央で一方。内面丁寧なナデでやや粗い磨痕が返っている。	①素地やや粗い。バミス、赤褐色顔料等のまじり粗砂含む。②酸化焰。普通。 ③にぶい焼5YR7/4。ほぼ一様。

遺物観察表

No.・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
230 杯(土師)	口(12.7) 高 3.0	■+10cm <sup>2</sup> + 28cm <sup>2</sup> +25cm 4個体	外底の削りはやや弱い。外面口縁部中段に小さな窪みがある。内面端部は僅かに内屈しているが形状は様でない。内面ナデは口縁部に鋭い稜が通る。	①赤地普通。バミス、チャートまじりの砂粒を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい焼7.5YR6/4。ほぼ一様。
231 杯(土師)	口(12.4) 高(3.4)	□ 瓦 瓦 瓦	外底の削りは弱い。口縁無調整部分は広い。口縁部上半のみ強いナデで器面に稜ができる。内面は平滑さやや欠けている。	①赤地普通。バミス、輝石まじりの砂粒を含む。 ②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい焼7.5YR7/4。ほぼ一様。
232 杯(土師)	口(12.6)	8区埋没土 図示部の瓦	外底の削りは強い。口縁外面に鋭く鋭な沈線が走っている。内面は粗く強いナデの磨痕が通っている。	①赤地普通。混入物少ない。 ②酸化焰。やや軟調。 ④にぶい焼7.5YR6/3。断面の低いムラあり。
233 杯(土師)	口(13.0)	■+94cm 瓦個体	外面削りやや強い。内面丁寧なナデだが器面は平滑さ欠く。	①赤地普通。バミス、輝石まじりの砂粒を含む。 ②酸化焰。普通。④にぶい黄緑10YR7/4。ほぼ一様。
234 杯(土師)	口(12.6)	■ 図示部の瓦	外底の削りはやや息長く鋭い。内面のナデは丁寧。	①赤地普通。バミスまじりの粗砂を含む。②酸化焰。普通。③にぶい焼7.5YR6/4。内面彫度低い。
235 杯(土師)	口(12.0)	■+15cm 図示部の瓦	外面削りやや強い。口縁部は無調整部分が多い。内面ナデもやや強い。	①赤地普通。輝石、1mm <sup>2</sup> の礫を含む。②酸化焰。普通。③にぶい焼5YR7/4。一部黒斑あり。
236 杯(土師)	口(13.0)	4区 図示部の瓦	外面削りやや弱く口縁部のナデも薄。内面丁寧に仕上げているが器面平滑さに欠ける。	①赤地普通。細砂を含む。 ②酸化焰。やや軟調。 ③浅黄2.5Y7/3。外面一部黒斑あり。
237 杯(土師)	口12.3~ 12.8	4区4片 図示部の瓦	外底削りやや強い。口縁部の無調整部分広い。内面は細かな凹凸多い。器形に歪み大きい。	①赤地普通。輝石まじりの粗砂やや多い。 ②酸化焰。酸化焰。 ③にぶい焼5YR7/4。黒色味をおびるムラあり。
238 杯(土師)	口(12.4)	■+42cm 図示部の瓦	外底の削りやや弱い。作り雑で器面に凹凸あり。径不安。	①赤地普通。砂粒を少量含む。②酸化焰。普通。 ③にぶい焼7.5YR5/3。断面は赤色味をおびる。
239 杯(土師)	口(13.0)	1区3片 瓦個体	外面の削り弱いが丁寧で無調整部分を残さない。内面はや丁寧なナデの上に放射状で幅太の暗文を施している。	①赤地普通。バミス、輝石等を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい焼5YR6/4。断面は彫度低い。
240 杯(土師)	口13.8	4区2片 図示部の瓦	外面の削りは幅広くやや強い。内面の暗文は斜放射状だが不規則。内底縁部に方向不定の暗文あるが文様を意図したものでなさそう。	①赤地普通。バミス、輝石、赤褐色鉱物等雑多な混入物含む。 ②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい焼5YR6/4。ほぼ一様。
241 杯(土師)	口(13.4)	埋没土 図示部の瓦	外面の削りは幅広く丁寧。口縁のナデも細細かく広く無調整部分はほとんど残らない。内面の暗文は斜放射状で弱く鋭。口縁部は液状に歪んでいる。	①赤地普通。バミス、輝石等の混入やや多い。 ②酸化焰。普通。 ③焼5YR6/6。ほぼ一様。
242 杯(土師)	口14.4	埋没土 図示部の瓦	外面の削りは丁寧で弱い。口縁のナデも丁寧で無調整部分は残っていない。内面の暗文はやや丁寧で弱い。	①赤地普通。雲母細片まじる。混入物少ない。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい焼7.5YR7/4。
243 杯(土師)	口(14.0)	■ 図示部の瓦	外面は幅広く弱く丁寧な削り。無調整部分を残さない。内面は平滑に仕上げた後、細く弱い暗文を施している。	①赤地普通。1~2mm <sup>2</sup> の礫を少量含む。他の混入物少ない。②酸化焰。普通。 ③にぶい焼7.5YR6/4。ほぼ一様。
244 高台付杯 (土師)		平底面直上 底 宛存 口下平と高台 瓦	右回転クローカー切り磨し不明一外底に深い一糸沈線を通うせたもの高台取付け。内面底部中央で一方。他は弧状のヘラ磨き。内面黒色処理。	①赤地普通。バミス、赤褐色鉱物等微細な混入物含む。 ②中性焰気味。普通。 ③にぶい焼7.5YR7/4。内面光沢の弱い黒色。
245 杯(土師)	口(11.6) 高 4.1	■+27cm <sup>2</sup> 2区≠8区の 計10片 □ 瓦 瓦 瓦	右回転クローカー回転糸切り無調整。ロタロ気割く不明。内面は口縁部で弧状。底部で一方のヘラ磨き。内面黒色処理。	①赤地やや砂質。混入物少ない。 ②中性焰気味。軟調で磨り欠く。 ③にぶい黄緑10YR7/4。口縁外端と内面は光沢の弱い黒色。
246 高台付盤 (土師)	口(16.2) 高 4.4 高 4.0	4区3片 図示部の瓦	右回転クローカー。外面は不明瞭な横位ナデの痕が残っている。口縁内面は弧状の丁寧なヘラ磨き。内面黒色処理。	①赤地普通。細砂以外の混入物少ない。 ②中性焰気味。やや軟調。 ③にぶい黄緑10YR7/3。内面光沢の弱い黒色。
247 高台付盤 (土師)	台(13.6)	3区≠4区 図示部の瓦	右回転クローカー。外底に回転ヘラ削りと思われる砂粒の移動が僅かに確認できる。内面はやや緩なヘラ磨き。内面黒色処理。	①赤地普通。赤褐色鉱物まじりの細砂を少量含む。 ②中性焰気味。やや軟調。 ③灰黄焼10YR6/2。内面光沢の弱い黒色。
248 杯(土師)	口(13.8)	8区埋没土 図示部の瓦	外面の削り細かく強い。口縁部ナデの下端は鋭い稜が通る。内面はや丁寧な仕上げた後、弱く強い暗文を施す。	①赤地普通。石英、赤褐色鉱物、1mm <sup>2</sup> の礫を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい赤焼2.5YR5/4。一様。



No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
249 杯(土師)	口(13.0)	埋没土 図示部の写	外面には彫膚状のやや粗いヒビが多数見られる。口縁内側にヘラ状工具による深い窪みがある。甬文は細く鋭い。	①素地普通。赤褐色鉱物、石英、パミス等を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい器5YR5/4。断面は彩度低い。
250 杯(土師)	口(11.0)	図示部の写	外底の削り弱い。口縁は無調整部分広い。内面凹凸多し平滑さ欠く。	①素地普通。細砂少量含む。②酸化焰。普通。 ③にぶい赤褐色5YR5/4。外底黒色味強い。
251 杯(土師)	口(12.3) 高 3.7	埋没土 図示部の写	外底中央は彫膚状を呈している。外面の削りはやや弱い。内面ナゲ強いが器面平滑さにやや欠けている。	①素地やや粗い。石英、赤褐色鉱物、パミス等混入物や多い。②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい器5YR7/4。ほぼ一律。
252 杯(土師)	口(12.2)	8区4片 図示部の写	外底の削りは弱い。口縁部は指頭圧痕が通っている。内面のナゲはや丁寧。歪みあり。傾き不安。	①素地やや粗い。パミス、輝石、チャート等の混入物や多い。②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい赤褐色2.5YR5/4。
253 杯(土師)	口 11.4~ 11.1	8区6片 図示部の写	外底は弱いヘラ削り。内面のナゲ強く粗い彫痕が通っている。歪み強い。	①素地普通。パミス、石英等の混入物あり。 ②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい器7.5YR7/4。ほぼ一律。
254 杯(土師)	口 12.8 高 3.4	※ 写個体	外底中央は彫膚状。内面は粗いナゲ。器面は歪み大い。	①素地やや粗い。赤褐色鉱物、パミス等の混入物や多い。②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい器5YR6/4。外面一部赤色味をおびている。
255 杯(土師)	口 12.8 高 3.2	写個体	外底削りは縁部まで達らない。口縁部下半は指頭圧痕が通っている。口縁と内面のナゲ強く粗い彫痕が通っている。	①素地やや粗い。赤褐色鉱物、パミス、石英等の混入物や多い。②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい器5YR6/4。ほぼ一律。
256 杯(土師)	口 11.6 高 3.3	※ 写個体	外底削りは弱いヘラ削りで一方。内面細かな凹凸多い。口縁端部は内側へ弱く折れるが形状は一定でない。	①素地やや粗い。パミス、1mm大の礫等の混入物や多い。②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい器7.5YR6/4。
257 杯(土師)	口 12.6 高 3.4	8区11片 口写 底写	外底は彫膚状。口縁部下半は指頭圧痕が通っている。内面は細かな凹凸多い口縁波状の歪みあり。	①素地やや粗い。赤褐色鉱物、パミス、1mm大の礫等混入物多し。②酸化焰。やや軟調。 ③器2.5YR6/6。
258 杯(土師)	口(12.2) 高(3.5)	※ 口写 底写	外底は彫膚状。一部弱い削り。内面やや粗いナゲ。	①素地やや粗い。石英、赤褐色鉱物、チャート等の混入物多し。②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい器7.5YR7/4。外面一部赤色味をおびている。
259 杯(土師)	口(13.0) 高 4.7	※ 口写 底写	外底彫膚状。調整を加えていない。口縁部のナゲも僅。内面ナゲは粗い彫痕が通っている。	①素地やや粗い。赤褐色鉱物、パミス、赤褐色粘土等混入。②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい赤褐色2.5YR5/4。外面一部黒底あり。
260 杯(土師)	口(12.7) 高 3.6	8区4片 口写 底写	外部中央は大きく窪んでいる。口縁部は無調整部分広い。内面のナゲは丁寧。	①素地やや粗い。赤褐色鉱物多し。石英、パミス等を含む。②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい赤褐色2.5YR5/4。外底は黄色味をおびている。
261 杯(土師)	口 12.6	埋没土 口写 底 若干	外底に弱い削りを実施しているようだが不明瞭。口縁上半に強いナゲ。下半は無調整。内面も強いナゲだが器面は平滑さ欠く。口縁は波状に歪んでいる。	①素地やや粗い。赤褐色鉱物、チャート、石英等類多量混入物や多い。 ②やや軟調の酸化焰。 ③明赤褐色2.5YR5/6。ほぼ一律。
262 杯(土師)	口(12.3) 底(6.4)	8区3片 図示部の写	外底と体部下端に丁寧な削り。体部中央に指頭圧痕が残っている。口縁部に強いナゲ。	①素地やや粗い。パミス、石英、輝石等類多量混入物含む。②やや軟調の酸化焰。 ③にぶい器5YR6/4。
263 杯(土師)	口(12.8)	埋没土 図示部の写	外底は削りだが不明瞭。口縁部下半に指頭圧痕が通っている。内面やや粗いナゲ。	①素地やや粗い。パミス、赤褐色鉱物、1mm大の礫等混入物や多い。②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい赤褐色5YR5/4。
264 高台付杯 (土師)	台(6.2)	4区埋没土 図示部の写	ロクロ使用の痕跡はない。外面口縁下半のヘラ削りの後高台取付け。内面は底部で一方のち口縁部に弧状のヘラ磨き。内面黒色処理。	①素地やや粗い。パミス、チャート、石英等類多量混入物を含む。②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい器5YR6/4。内面光沢の弱い黒色。断面も黒色部分広い。
265 杯(須恵)	口12.4~12.8 底 6.6 高 3.0~3.2	8区10片 写個体	右回転ロクロ一回転糸切り無調整。器面は平滑さ欠く。	①素地普通。2mm大の礫状。白色細砂や多い。 ②還元焰。普通。 ③青灰10B6/1。断面は赤紫色味が強い。
266 杯(須恵)	口13.2 底 7.1 高 3.2~3.5	※+85cm ±4区 写個体	右回転ロクロ一回転糸切り無調整。内底は整った渦巻状のロクロ痕。軽量。	①素地やや砂質。混入物は少ない。 ②やや軟調の還元焰。③灰白5Y7/1。黒色のムラあり。 ④内底縁部に彫膚状の不明瞭な付着物が残っている。
267 杯(須恵)	口 13.1 底 6.8 高 4.2	4区8片 写個体	右回転ロクロ一回転糸切り無調整。内面のロクロ痕が波状に歪んでいる。内底平直。	①素地やや粗い。パミスまじりの砂粒を少量混入。 ②還元焰。ややしりり欠く。 ③灰白10Y7/1。外面一部黒色味が強い。
268 杯(須恵)	口(13.4) 底 6.3 高 3.8	8区 口写 底写	右回転ロクロ一回転糸切り無調整。ロクロ痕は外面のみやや強く内面平滑。	①素地やや砂質。1~4mm大の片岩粒、チャート等の混入物や多い。②還元焰。普通。 ③灰N6/0。断面まではほぼ一律。

遺物観察表

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
269 杯(須恵)	口(11.8) 底(5.6) 高 3.8	■+98cm 片断体	右回転クロー回転糸切り無調整。ロクロ置きわめて弱く夾雑物の移動はほとんどない。	①黒地やや粗い。最大で厚5mmのチャート、片岩粒がまじる。②やや不十分な還元焰。 ③灰白7.5Y7/1で断面までほぼ一様。
270 杯(須恵)	口(13.0) 底(6.2) 高 3.9	■+14cm ≒4区 図示部の欠	右回転クロー回転糸切り無調整。内外面ともロクロ置きわめて強く器面平滑さ欠く。	①黒地粗く軽量。パミス、片岩粒、赤褐色鉱物等を混入。②軟弱の還元焰。しまり欠く。 ③灰白7.5Y7/1。外面に明度の低いムラあり。
271 杯(須恵)	底 6.6	1区≒2区 ≒4区 下半ほぼ完存	右回転クロー回転糸切り無調整。	①黒地普通。黒色鉱物少量混入。 ②やや軟弱の還元焰。③灰白6Y6/1。断面黄色味をおびる。底部を除く外面に黒斑輪かかると。
272 杯(須恵)	口13.3~13.0 底 5.4 高 3.8~4.2	■ 口欠	右回転クロー回転糸切り無調整。ロクロ痕強い。きわめて薄手で口縁には焼成前に穴の開いた箇所を補修痕がある。	①黒地普通。2mm大の片岩まじりの砂粒を含む。 ②還元焰。普通。 ③灰白10Y7/1。口縁外面一部黒色味をおびている。
273 高台付皿 (須恵)	口(13.3) 高 2.8	■ 高面直上 口欠	右回転クロー回転糸切り丁寧な高台台付け。ロクロ痕弱く、特に内面は平滑。	①黒地やや粗い。黒色鉱物粒、白色砂粒を含む。 ②還元焰。普通。 ③灰7.5Y6/1。一部黒色味をおびている。
274 高台付椀 (須恵)	口(15.2)	3区≒4区 口欠 底 ほぼ完存	右回転クロー回転糸切り。ロクロ痕強い。高台割落後も平底輪として使用しており高台縁が均等に磨滅する。	①黒地普通。不揃いの砂粒やや多い。 ②還元焰。普通。 ③灰白5Y7/1。ほぼ一様。
275 高台付椀 (須恵)	口(15.0) 高 4.7 底 完存	■ 口欠 底 完存	右回転クロー回転糸切り丁寧な高台台付け。ロクロ痕弱く、器面は平滑さ欠く。	①黒地やや粗い。3mm大の片岩の混入目立つ。 ②還元焰。普通。 ③灰白5Y7/1。内外面に黒色味の強いムラあり。
276 高台付椀 (須恵)	口(15.2) 高(4.3)	■+81cm 図示部の欠	右回転クロー回転糸切り高台台付け。外面ロクロ痕やや強いが内面平滑。高台割落後も外底に調整加え使用する。	①黒地やや粗い。2mm大の片岩、チャート少量含む。 ②やや軟弱の還元焰。 ③灰白5Y8/1。外面に黒色味をおびるムラあり。
277 高台付椀 (須恵)	口 14.7 高 5.8 台 7.1	8区4片 片断体	右回転クロー回転糸切り丁寧な高台台付け。ロクロ痕細かくやや強い。	①黒地普通。石灰、パミス等類多量混入物多い。 ②やや軟弱の還元焰。 ③灰白10Y8/1。黒色味をおびるムラ強い。
278 高台付椀 (須恵)	口(14.4) 高 5.3 台 7.0~6.6	■底面直上 口欠 底 完存	右回転クロー回転糸切り丁寧な高台台付け。内底の作りは確て細かき口縁が多数見られる。	①黒地普通。石灰、チャートまじりの砂を含む。 ②還元焰。普通。 ③灰白5Y8/1。内底は褐色味が強い。
279 高台付椀 (須恵)	口(13.8) 高 6.0 台 6.2	8区5片 口欠 底 完存	右回転クロー。高台台付け時のナデで切離し痕が消えている。内面ロクロ痕弱くが器面の平滑さ欠ける。重ね焼き痕が内面に明瞭。	①黒地やや粗くチャート、片岩等1~3mm大の混入物やや多い。 ②還元焰。不十分で締まり欠く。 ③灰7.5Y4/1~浅黄5Y7/3。一様でない。
280 高台付椀 (須恵)	口(13.0) 高(5.4) 台(6.5)	8区埋没土 図示部の欠	ロクロ使用の有無不明。外面体部に鋭い沈積層通っているがロクロ痕は見出せない。内面器表面の割落進んでいる。	①黒地粗く軽量。1~3mm大の礫の混入やや多い。 ②還元焰。軟弱。 ③灰白10Y7/1。黒色味の強い部分も広く一様でない。
281 高台付椀 (須恵)	口(14.2) 高 5.4 台 7.4	1区≒8区 口欠 底 完存	右回転クロー回転糸切り→回転利用高台台付け。内面平滑。歪み強く径、傾きとも不安。軽量。	①黒地やや粗い。3mm大の礫が少量混入。 ②やや不十分な還元焰。 ③灰白5Y7/1~灰5Y4/1。一様でない。
282 高台付椀 (須恵)	口14.6 高 5.7 台 8.2~7.8	■底面直上 ≒8区 欠欠	左回転クロー回転糸切り。内面黒色焼痕だが灰炭量は少ない。	①黒地やや粗い。パミス、赤褐色鉱物まじりの砂粒多い。 ②酸化焰か。普通。 ③にぶい焼7.5YR6/3。内面光沢のない黒色。
283 高台付椀 (須恵)	口 15.3~ 14.9	■底面直上 ほぼ完形	右回転クロー回転糸切り。口縁内側の縁は全周してない。高台割落後も底ぎ込んで使用を続ける。外面にへら記号あり。	①黒地やや粗い。3mm大のチャートや片岩がまじる。 ②酸化焰の還元焰。 ③灰白10Y7/1。灰色、黒色部分も広く一様でない。
284 高台付椀 (須恵)	台 6.8	1区≒2区 図示部の欠	右回転クロー切離し不明一様な高台台付け。ロクロ痕はきわめて弱い。外底に2ヶ所に深く大きな窪みあり。	①黒地普通。最大8mmの扁平な片岩混入。黒色鉱物少量含む。②還元焰。普通。 ③灰白10Y7/1。
285 杯(土師)	4区埋没土 口 小片		外底の削り内面のナデともやや強い。歪みある小片からの復元で傾き不安。口縁内面に焼成後のやや鋭い線刻の一部がかかっている。	①黒地普通。パミス、角閃石等を少量含む。 ②酸化焰。やや軟弱。 ③にぶい焼7.5YR7/3。断面は彩度低い。
286 杯(土師)	埋没土 口 小片		外底の削りは弱い。口縁上平のナデは強い。下半は無調整だが器面はやや平滑。内面のナデは強い。口縁下半に焼成後のやや強い線刻がかかっている。	①黒地普通。混入物少ない。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい焼5YR6/4。内面明度低い。
287 杯(土師)	口(11.4)	口欠 底欠	外底の削りは方向不定で弱い。内底のナデはやや粗い。内底縁部に焼成後のやや強い線刻「X」。	①ややセララした黒地。パミス、輝石等の混入やや多い。②酸化焰。普通。 ③にぶい焼7.5YR7/4。

No・形態	計測値 (cm)	出土・現状状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①粘土・材質 ②胎成 ③色調 ④その他
288 杯(土師)	口(11.0)	4区埋没土 図示部の瓦	外底の削りは緩で弱い。内面のナデはやや丁寧。内底縁部に焼成後の線刻「×」。	①素地普通。雲母鱗片、1〜2mm大の礫を含む。 ②酸化胎。普通。 ③にぶい黄緑10YR7/3。内面やや赤色味をおびる。
289 杯(土師)		4区埋没土 底 瓦	厚手のやや大型の杯。外底の削り内底のナデともやや雑。内底に焼成後の線刻「×」あり。	①ザラザラしたやや粗い素地。パミス、角閃石まじりの砂粒や多い。②酸化胎。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。断面中央は彩度低い。
290 杯(土師)		4区埋没土 底 瓦	外底の削りは弱い。内底は平滑きやや欠ける。内底中央をやや外れた位置に焼成後のやや深い線刻「×」。	①素地やや粗い。1mm大のパミスや多い。赤褐色鉱物、輝石を含む。②酸化胎。やや硬調。 ③外面灰緑5YR4/2。内面にぶい橙7.5YR7/4。
291 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	中央を少し外れた底部破片。内面は平滑きやや欠ける。内面に二重に引かれた焼成後の細い線刻「×」あり。	①素地普通。パミス、角閃石等の混入やや多い。 ②酸化胎。普通。 ③外面にぶい橙5YR6/4。内面にぶい橙7.5YR7/3。
292 杯(土師)	口(11.0)	6区2片 図示部の瓦	外底の削りは粗くやや強い。内面のナデ丁寧。歪みあり径、傾きとも不安。内面に焼成後の直徑不明の細い線刻有。	①素地やや硬調。パミス、角閃石等を含む。 ②硬調の酸化胎で焼き締まる。 ③にぶい橙5YR7/4。断面は灰色。
293 杯(土師)	口(12.2)	埋没土 図示部の瓦	外底の削りは丁寧でやや強く無調整部分を残さない。内面のナデも丁寧。内面口縁に焼成後の強い線刻「 」あり。	①素地普通。パミス、角閃石等の混入やや多い。 ②酸化胎。普通。 ③にぶい橙5YR7/4。外面はムラ多い。
294 杯(土師)		3区埋没土 底 小片	小破片で底部のどの位置か不明。内底に細く弱い焼成後の線刻「×」かかる。	①素地普通。雲母鱗片等微細な混入物を含む。 ②酸化胎。普通。③にぶい橙5YR6/4。ほぼ一律。
295 杯(土師)		4区下層 底 小片	底縁部から口縁立ち上りにかけての小片。内面は丁寧で強いナデ。内面に焼成前の太い線刻「×」あり。	①素地普通。混入物少ない。 ②酸化胎。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。ほぼ一律。
296 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	底部中央付近の小破片。内外とも平滑きに欠ける。内面に焼成後の線刻「×」がかかっている。	①粒子の細かい素地。雲母鱗片を含む。 ②酸化胎。普通。 ③にぶい橙5YR7/3。ほぼ一律。
297 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	外底の削りは細いがやや雑。内面のナデはやや強いが平滑き欠く。内底に焼成後の線刻「×」あり。	①素地普通。パミス、輝石等を少量含む。 ②酸化胎。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。内面やや明度高い。
298 杯(土師)		2区埋没土 底 小片	やや丸底気味の大形の杯と思われる。外底の削りはやや弱い。内底は平滑で縁部に強いナデの痕が残っている。内底縁部に線刻がかかっている。	①素地普通。チャートまじりの細砂を少量含む。 ②やや硬調の酸化胎。 ③にぶい橙5YR7/4。
299 杯(土師)		4区埋没土 底 瓦	外底の削りはやや雑。内面ナデは口縁部にやや粗い規則的な櫛痕が残る。内底縁部に焼成後のやや強い線刻「×」。	①やや緻密な素地。パミスまじりの砂粒を少量含む。 ②酸化胎。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。
300 杯(土師)		埋没土 底 瓦	外底の削りはやや弱い。内面のナデは口縁部と同心状の弱い櫛痕が走る。内底の中央を少し外れた位置に焼成後の線刻あり。「×」。	①素地普通。角閃石、赤褐色鉱物等を少量含む。 ②酸化胎。普通。 ③にぶい橙7.5YR6/3。
301 杯(土師)		4区埋没土 底 ほぼ完存	外底の削りは細かくやや強い。内底は平滑き欠く。内底中央に細字で大きな焼成後の線刻「×」。	①素地普通。パミス、輝石等を少量含む。 ②酸化胎。やや硬調。 ③橙2.5YR6/6。内面は彩度低い。
302 杯(土師)		4区埋没土 底 瓦	外底の削りは細かくやや強い。内面のナデも強いが縁面は平滑き欠く。内底のほぼ中央に焼成後の強い線刻「×」。	①やや緻密な素地。角閃石、パミス等を含む。 ②酸化胎。やや硬調。 ③橙2.5YR6/6。断面は彩度低い。
303 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	丸底気味のやや大型の杯と思われる。外底の削りやや粗い。内面は平滑に仕上げている。内底の中央を少し外れた位置に焼成後のやや強い線刻「 」。	①やや粗い素地。パミス、石英、角閃石等の混入やや多い。 ②酸化胎。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。内面やや明度高い。
304 杯(土師)		4区埋没土 底 瓦	小型の杯と思われる。外底の削りはやや弱い。内底は平滑。内底中央に焼成後の細い線刻「×」。	①素地普通。角閃石、赤褐色鉱物等微細な混入物を含む。 ②酸化胎。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。ほぼ一律。
305 杯(土師)		埋没土 底 小片	丸底気味のやや大型の杯である。外底の削りやや強く器面は凹凸。内面のナデもやや粗く強い。内底の中央を少し外れた位置に焼成後の線刻「×」。	①素地普通。赤褐色鉱物、パミス等1mm大の混入物多い。 ②やや硬調の酸化胎。 ③橙5YR6/4。断面やや明度高い。
306 杯(土師)		埋没土 底 完存	外底の削り内底のナデともやや強い。内底中央に焼成後のやや細い線刻あり。	①素地普通。パミス、角閃石等の混入やや多い。 ②酸化胎。普通。 ③橙5YR6/6。内面やや彩度低い。

遺物観察表

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
307 (須恵)	胴 10.4 頸下 4.2	2区⇔4区 胴一割 頸 底 完存	内底には左回転の強いロクロ痕が残るが、他は比較的平滑。外底摩滅が進み胎文は不明瞭だが頸部に細かく弱い波状文。頸部はやや太目のカキ目。胴部に縦歯状の列点文が盛く。外底は平滑。	①ややボソボソの素地。白色砂粒、1~3mm大の礫を含む。 ②還元焰。硬調。 ③灰5Y6/1~10Y4/1。
308 托か (須恵)		4区2片 図示部の写	ロクロ回転方向不明。内面は全面に方向不定の細かな手持ちへら削り。薄手。托または蓋と想われる。	①素地やや軟質。細砂以外の混入物少ない。 ②還元焰。硬調。 ③灰N4/0。外面に黄白色の隆降状の胎がかかる。
309 挽瓶 (須恵)	高 20.9	6区⇔8区の 計22片 写全体	外面体部全面にカキ目が通っている。内面のロクロ痕は整っている。	①素地普通。1mm大の白色礫を含む。 ②やや硬調の還元焰。③灰10Y5/1。濃淡の差大きい。上面に黄白色の隆降状の胎がかかる。
310 挽瓶 (須恵)		埋没土 把手破片	内面は細かく規則的なロクロ痕が通っている。小さな把手だが丁寧に取付けてある。	①素地やや砂質。混入物少ない。 ②還元焰。硬調。③灰N6/0。断面は黄色味をおびる。外面は濃い黄緑色の胎が厚くかかっている。
311 兵須查 (須恵)	頸下 5.4	※底面直上 図示部ほぼ完存	右回転ロクロ。内面下半ではへら状の工具で削っており頸部では圧痕状のへら痕が残っている。外面の二条の沈線は丁寧に差されている。	①素地普通。白色砂粒の混入やや多い。 ②やや硬調の還元焰。 ③灰白7.5Y7/1。外面一部明度低い。
312 長須查 (須恵)	口 12.0 頸 6.0	※⇔2・8区 口端 完 胴 写	右回転ロクロ。内面頸部下端に不明瞭な接合痕が残っている。胴部外面のロクロ痕はきわめて弱い。	①素地やや粗い。2mm大の片岩、チャートなどのまじりる粗砂を含む。②還元焰。普通。 ③暗青灰5B4/1。断面は赤灰色。
313 長須查 (須恵)	口 15.6	※底面直上 ⇔4区 図示部の写	右回転ロクロ。断面は平滑さ欠ける。	①素地普通。1mm大の礫の混入やや多い。 ②還元焰。普通。③暗青灰5B3/1。内面は黄色色の隆降状の胎が薄降状にかかっている。
314 挽瓶 (須恵)	口(7.4) 頸(3.7)	3区⇔4区 図示部の写	胴部内面のロクロ痕より提振。右回転ロクロ。	①素地普通。白色鉱物の混入やや多い。 ②還元焰。普通。③灰7.5Y6/1。ほぼ一様。内面一部に灰緑色の隆降胎がかかっている。
315 平瓶 (須恵)	胴(17.0)	1区⇔3区 ⇔4区 図示部の写	右回転ロクロ。内面でロクロ痕強い。外面下半は回転へら削りを指す。提振の可能性もある。	①やや粗い素地。1~3mm大のチャートまじりの礫を含む。②還元焰。やや軟調。 ③灰7.5Y6/1。断面は黄色味をおびる。
316 兵須查 (須恵)	頸下(6.6)	※底面直上⇔ +8cm⇔+24 cm⇔+77cm 図示部の写	右回転ロクロか。胴部の接合痕は不明。外面頸部はカキ目状。接合はできなかったが同一個体と思われる胴部の小破片が多数出土している。	①素地普通。白色砂粒の混入やや多い。 ②やや硬調の還元焰。 ③暗青灰5B4/1。胴部に黄白色の胎が厚くかかる。
317 平瓶 (須恵)		4区⇔8区	左回転ロクロか。ロクロ痕弱いが矯正。底部周辺のへら削りも丁寧。	①断面は灰色と灰黄色の粘土が隣接を呈している。1mm大の礫を含む。②還元焰。普通。 ③灰白N7/0。上面は黄緑色と灰白色の胎厚くかかる。
318 壺(須恵)	口(17.0)	4区2片 図示部の写	右回転ロクロ。ロクロ痕内外面ともやや強く外面は工具痕が残っている。	①素地やや砂質。白色砂粒以外の混入物少ない。 ②還元焰。普通。 ③外面灰白10Y7/1。内面灰10Y5/1。 ④口縁上端摩滅している。
319 壺(須恵)	口(19.0) 頸(15.0)	※+41cm⇔ 4区 口 写 肩 写	右回転ロクロ。大型品としては内面平滑。外面は摩滅が深く一部でカキ目状になっている。	①素地普通。黒色鉱物、白色砂粒を少量含む。 ②還元焰。普通。③灰7.5Y5/1。断面明度高い。外面わずかに黄白色の隆降胎がかかっている。
320 壺(須恵)	口(14.6) 頸(11.0) 胴(19.2)	4区 口 写 胴上半 写	右回転ロクロで外面は工具利用の整形を施しやや粗い摩滅が残る。胴部の一部に叩き目あり。	①素地普通。砂粒の混入やや多い。 ②還元焰。普通。 ③灰白2.5Y7/0。断面は褐色を呈す部分が多い。
321 壺(須恵)	口(23.1) 頸(14.0)	※+30cm⇔ 2区⇔3区 ⇔4区 図示部の写	外面口縁部はやや幅太の沈線を規則的に施文しているようだが叩きとの区別弱い。頸部は叩きの上に残りナデ。縦線状の三条の沈線が見られる。内面はナデでアテの痕を消している。	①ややガザガザした素地。1~2mm大の礫まじりの砂粒を含む。 ②還元焰。普通。 ③灰白5Y8/1。断面までほぼ一様。
322 壺(須恵)	口(20.4)	4区5片 口 写	右回転ロクロか。内面一部に背歯状のナテ具痕が残っている。	①素地粗い。チャート目立つ。粗砂をやや多く含む。 ②還元焰。普通。③灰N6/0。一部で黒色味をおびる。
323 壺(須恵)	頸 12.6	※底面直上⇔ +30cm⇔4区 図示部の写	外面は縦位の弱い平行叩き。内面は角の尖った鋭いナテ具痕が残っている。断面に小豆粒の剥落痕のような空割が2ヶ所見られる。	①やや粗い素地。白色鉱物、石英等を含む。 ②還元焰。普通。 ③灰5Y6/1。内面は明度高い。

No・種類	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
324 瓶(須恵)	胴(23.2)	※底面直上± +15cm±4区 肩 瓦 胴 瓦	接合痕より頸部直下以下の破片と思われる。外面は僅かに木目の残る難な平行削りの上に肩部にきわめて粗いキナ目を意図した沈線が通る。内面は粗い背筒状の右ノ貝痕あり器面は不整。	①砂質でキメの粗い素地。滲入物は少ない。 ②還元焰。普通。 ③灰白2.5Y7/3。断面中心に黒底広い。 ④下半部中心に外面は摩滅している。
325 羽釜 (須恵)	口(21.4) ツバ(22.4)	※+83cm± +100cm 図示部の瓦	右回転ロクロカ。内面に規則的なクロコ痕残るが外面は不明瞭。軽量。二次被焼。	①素地普通。2mm大のバミスの多い砂粒を含む。 ②軟調還元焰でまじり欠く。 ③灰白2.5Y7/3。内面中心に黒底広い。
326 壺(土師)	口(21.0) 頸(17.8)	※+10cm± 4区 図示部の瓦	外面の削りはやや雑で鋭い。内面の仕上げも雑で頸部には深い接合痕が残っている。	①素地やや粗い。1mm大の礫の混入多い。赤褐色藍物、輝石等を含む。②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい焼5YR6/4。断面は明度高い。
327 壺(土師)	口(21.0) 頸(17.2)	埋没土 口 瓦 肩 瓦	外面の削りは丁寧で細かく不明瞭。内面も編込の工具によるナデで丁寧に仕上げている。	①素地普通。赤褐色藍物、バミスマじりの砂粒を含む。 ②酸化焰。やや軟調。 ③外面にぶい焼5YR6/4。内面彩度低い。
328 壺(土師)	口(18.0) 頸(14.4)	埋没土 図示部の瓦	外面の削りはやや雑で弱い。内面は頸部以下で器面の剥落が著しく整形痕は不明。	①ボソボソした粗い素地。バミス、輝石、1mm大の礫等の混入物多い。②酸化焰。普通。 ③にぶい焼7.5YR5/3。断面は黒色味強い。
329 壺(土師)	口(18.0) 頸(15.0)	※底面直上± +26cm 図示部の瓦	外面に強く鋭い削りの上に不規則な横位のナデに近い削りを加える。内面のナデは雑。内面下半の器面は荒れている。口縁に小さな波状の凹みあり。	①素地やや粗い。バミス、角閃石等の混入物多い。②酸化焰。軟調。 ③にぶい焼7.5YR4/3。外面に黒色味の強いムラ広い。
330 小型壺 (土師)	口(13.6)	※+18cm 図示部の瓦	外面の削りはやや丁寧で鋭い。口縁部のナデも丁寧だが接合痕が一条明瞭に残っている。内面のナデも丁寧。	①素地普通。バミス、輝石等微細な混入物やや多い。②酸化焰。普通。 ③にぶい焼5YR6/4。ほぼ一様。
331 壺(土師)	口(22.0) 頸(19.4)	※+48cm 図示部の瓦	327にほぼ同ク。外面の削りは幅広く明瞭である。	①②③とも327に類似している。混入物はやや大粒で多い。焼成はやや軟調。
332 小型壺 (土師)	口(9.6)	埋没土 口 瓦 肩 瓦	外面の削りは幅広く丁寧。口縁と内面のナデも丁寧に平滑に仕上げている。	①素地普通。バミスマじりの砂粒を少量含む。 ②酸化焰。やや硬調。 ③にぶい焼5YR6/4。断面は彩度低い。
333 台付壺 (土師)	台下 11.6	※+14cm 図示部ほぼ充	外面の削りは粗く強い。内面は台部で強い指痕正産、胴部で弱いナデの痕が残っている。台部は厚手で重量。	①やや粗くボソボソした素地。バミス、石英等のまじる粗砂の混入多い。②酸化焰。やや硬調。 ③にぶい焼7.5YR6/4。一様でない。
334 羽口	高 9.4 径( 8.2) 孔( 2.6)	埋没土 5個体	残存部分は使用時の上面になる。丁寧な作り。限界近くまで使い込んだ製品である。重量。	①素地砂質。チャートまじりの1mm大の礫を含む。羽口としては良好。②硬調。 ③灰黄2.5Y7/2。
335 羽口	径( 7.6) 孔( 2.3)	8区2片 図示部の瓦	使用時の側面破片である。割れ口の剥落がすずむ。軽量。	①スサ状の積物。2～4mm大の礫が目立つ。粗悪。②硬調。③にぶい黄褐色10YR7/3。
336 杯(土師)	口(12.8) 高 4.2	埋没土 口 瓦 底 瓦	外底は雑でやや弱い削り。口縁は上端のみナデで下半は無調整。内面のナデもやや雑。外底は強い押圧で指影が大きく深む。粘土を貼り付けた痕も見え。内底には葉刺状の圧痕が残る。	①やや粗い素地。バミス、角閃石等を少量含む。②酸化焰。普通。 ③灰黄褐10YR6/2。内面やや彩度高い。
337 杯(土師)	口 不明 底7.5cm程か	2区埋没土 底部片	外底は方向不定のやや丁寧な削り。比較的平坦である。内底に葉刺状の弱い圧痕が観察できる。凹凸は少ない。	①素地普通。バミス、角閃石等のまじる砂粒を含む。②酸化焰。やや硬調。 ③にぶい焼7.5YR6/4。ほぼ一様。
338 杯(土師)	4区埋没土 底 瓦	4区埋没土 底 瓦	外底中央に窪みがあり内に指紋が正産となっており。内底中央はややふくらみ葉刺状の不明瞭な圧痕が見える。	①素地普通。角閃石、バミス、1mm大の礫等を含む。②酸化焰。やや硬調。 ③にぶい焼5YR6/3。内面は彩度高い。
339 杯(土師)	埋没土 底 瓦	埋没土 底 瓦	底部は凹凸が大きい。内底に葉刺状の不明瞭な圧痕あり。外底には指紋と思われる圧痕が残っている。	①素地砂質。雲母細片、角閃石等微細な混入物含む。②やや軟調の酸化焰。 ③にぶい焼7.5YR5/3。断面は明度高い。
340 杯(土師)	3区埋没土 底 瓦	3区埋没土 底 瓦	器面は凹凸多い。内外面ともに葉刺状のやや不明瞭な圧痕が残っている。	①素地普通。輝石まじりの粗砂やや多い。②酸化焰。普通。③にぶい焼5YR6/4。断面明度高い。
341 杯(土師)	口 不明 13cm前後か	4区埋没土 小片	やや丸底となる杯の破片。内面に補修のための粘土のツギと思われる接合痕と不明瞭な押圧痕、外面に豆粒大の圧痕が残っている。	①素地普通。バミス、角閃石等を含む。②酸化焰。普通。 ③にぶい焼5YR6/3。ほぼ一様。

遺物観察表

No.・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
342 杯(土師)	底 8.6	4区4片 底 欠	やや深い杯になると思われる。外底中央に長軸3.9mm短軸3.3mmの楕円形の窪みあり。窪みの中央を残し周囲にへう削りを加える。	①素地普通。赤褐色顔料の混入目立ちバミス、角四石等を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい赤褐色。SYR5/4。ほぼ一様。
343 横瓶 (須恵)	口 16.3~ 16.8	※底面直上± 4区の計25片 図示部の欠	口縁外面にやや不明瞭な一乗波線が走る。外面の平行印き。内面の青歯波状のアテ具痕とも不規則。薄手。	①素地やや粗い。チャート、片岩粒等や大粒の混入物を含む。②還元焰。普通。 ③灰10Y6/1。断面は赤褐色味が強い。
344 横瓶 (須恵)	口 16.7	※底面直上± +7cm±+22cm 図示部はほぼ完	口縁上端は内側に鋭く折れている。胴部は外面にやや規則的な平行印き。内面は別れた青歯波状のアテ具痕残る。	①素地普通。黒色顔料のやや目立つ細砂多い。 ②還元焰。普通。 ③灰10Y6/1。上面光沢あり。白色の降灰軸あり。
345 横瓶 (須恵)	長 46.4 径(28.0) 頸(11.6)	※ 図示部の欠	外面は幅広いの平行印き。内面のアテ具痕は両端できわめて強い。	①素地やや砂質。混入物少ない。 ②やや硬調の還元焰。 ③灰白10Y7/1。濃淡あり一様でない。
346 壺(須恵)	口(22.0) 頸(17.8)	※+102cm± 2区±4区± 8区の計10片	外面に胴部で横位胴部で斜位の弱い平行印き。内面は弱いアテ具痕状の窪みがある。	①素地やや砂質。大壺品としては混入物少ない。 ②還元焰。普通。③青灰5BG5/1。内面は明度低い。胴部に白色の降灰軸がかかる。
347 壺(須恵)	底 14.4	※+7cm±+21cm 胴下平 欠 底 ほぼ完存	外面は細かな平行印き。内面はナゲの下に無文のアテ具痕状の窪みが残っている。外底に焼成後の線刻あり。	①素地やや砂質。白色砂粒、白色針状物を少量含む。 ②還元焰。普通。 ③灰N5/0。内面は明度高い。
348 大壺 (須恵)	口 27.4 頸(21.4)	※底面直上± +17cm±+39cm 口 欠 肩 欠	口縁部は右回転クロロ上の整形か。外面に平行で一帯正格子の印き。内面やや不規則な青歯波状のアテ具痕。	①やや粗い素地。2mm大の黒色顔料やや多い。 ②還元焰。普通。 ③灰白10Y7/1。内面は黄色味をおびている。
349 大壺 (須恵)	口 24.2 頸 18.0 胴(42.2)	※底面直上± +20cm±+31cm 口→胴部 欠 胴 若干	口縁部に右回転クロロ利用の整形。外面胴部は平行印きの上には上半は帯状にナゲ削し部分を加えている。内面は強いアテ具痕が残っている。	①素地普通。黒色顔料のまじる砂粒を含んでいる。 ②やや軟調の還元焰。 ③灰10Y6/1。断面は黄色味が強い。
350 磁石	長 25.3 幅8.4~14.7 厚3.8~4.5 重	底面直上 完形	平面形赤香き状の大型磁石。6面全面使用でハツリ痕等は見られない。断面は表裏裏面やや窪んでいるが両側面は中央がややふくらんでいる。	①磁石。 ④表面に漆でハセ状の剥落が多少見られる。
351 土師 土師	長 5.3 厚 1.3~2.0 孔 0.5~0.7	埋設土 完形	下半に指頭強い押圧痕あり。孔も歪んでいる。器面には細かな凹凸が多く平滑さに欠ける。	①素地普通。輝石のやや目立つ砂粒を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい黄褐色10YR7/2。黒色味をおびるムラあり。
352 土師	厚 2.2 孔 0.3	4区 図示部の欠	孔は小さく中心をややずれている。指頭押痕は強いが器面はやや平滑。狭い層板あり。	①素地普通。白色砂粒、1mm大の織を含む。 ②酸化焰。やや硬調。 ③灰10YR11/7。断面まで一様。

窪地出土の墨書土器 (本文73頁～ P L-27～) ※は平面図に遺物ドットあり。+は底面からの高さ。

No.・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
1 杯(須恵)	口 13.2 底 6.9 高 3.8	※+70cm 口 欠 底 完存	右回転クロロ→外底全面に回転へう削り。クロロ痕は弱い。内底に墨痕のきわめて明瞭な墨書「芳穂」。	①やや粗くボソボソした素地。黒色顔料、チャート等のまじる砂粒を含む。②還元焰。普通。 ③灰白10Y7/1。口縁部内外面とも黒色。
2 杯(須恵)	口 13.5 底 7.4 高 3.7	※+89cm± 4区埋設土 口 欠 底 完存	クロロ痕弱く不明瞭だが右回転クロロか。外底は回転利用であれば弱い左回転のへう削り。口縁内外に規則的な深い窪みが回り廻りは厚薄している。内底にやや墨痕の不明瞭な墨書「芳穂」。	①やや粗くボソボソした素地。黒色顔料、1mm大の織を少量含む。 ②還元焰。普通。 ③灰白5Y7/0。口縁外端は黒色味をおびる。
3 杯(須恵)	底 6.4	4区2片 図示部の欠	右回転クロロ→外底全面と口縁下端に左回転利用のへう削り。クロロ痕はきわめて弱い。内底に墨書「芳穂」。	①やや粗くボソボソした素地。黒色顔料、1mm大の織を少量含む。②還元焰。普通。 ③灰白7.5Y7/1。
4 杯(土師)	4区埋設土 底 小片		外面は方向不定の細かな削り。内面のナゲはやや粗。外底に墨痕の不鮮明な墨書あり。「芳」か。	①素地普通。バミス、輝石等微細な混入物を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR5/4。内面明度高い。
5 杯(土師)	2区埋設土 底 小片		薄手ややや小さい杯と思われる。外底は丁草で弱い削り。内面は割面凹凸。外底に墨痕のやや不鮮明な墨書あり。穴け口にかかると「芳」の可能性もある。	①素地普通。赤褐色顔料、輝石等微細な混入物を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR5/4。断面は明度高い。

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
6 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	平底気味の杯と思われる。外面はヘラ削り。内面ナデはやや弱く器面は平滑さ欠く。内底中央に墨書あり。「芳」の可能性もある。	①素地普通。バミス、チャート等の混入物やや多い。 ②酸化焰。普通。 ③灰白N7/0。断面面低い。
7 杯(土師)		3区埋没土 底 小片	平底気味の杯の底部中央付近の破片と思われる。外底に墨痕のやや明瞭な墨書の一部がかかる。釈文不明。「芳」の可能性もある。	①素地普通。角閃石、バミス等を含む。 ②酸化焰。普通。 ③灰白N7/0。断面面低い。
8 蓋(須恵)	口 17.5 高 3.2 蓋 5.1	※ $\approx 1 \cdot 2 \cdot 4$ 区計9片 写割体	左回転クロー外側に回転ヘラ削り丁寧な高台取り付け。内面に渦巻状のロクロ痕が残っている。外面に太い字体のやや不鮮明な墨書「藤」。	①素地普通。黒色鉱物まじりの砂粒を少量含む。 ②還元焰。やや硬調。 ③灰白N7/0。ほぼ一様。
9 蓋(須恵)	口 20.6	※ $\approx 13$ cm $\approx 1 \cdot 4$ 区計8片 口縁部の写と紐欠	右回転クロー外側は広範囲に回転ヘラ削りリング状のつまみ取り付け。内面には渦巻状のロクロ痕が残っている。外面にやや薄い墨書「藤」。	①素地やや砂質。1mm大の礫を少量含む。 ②還元焰。普通。 ③灰白7.5Y7/1。断面までほぼ一様。
10 蓋(須恵)	口(15.0)	4区3片 図示部の写	右回転クロー外側天井部に回転ヘラ削り。ロクロ痕弱い。内面に墨痕のやや薄い墨書「藤」。	①素地普通。石英、1mm大の礫等を含む。 ②還元焰。やや軟調。 ③灰白5Y7/1。口縁内縁は黒色味が強い。
11 蓋(須恵)	口(17.8)	4区4片 図示部の写	右回転クロー天井部回転ヘラ削り。ロクロ痕はやや弱い。カエリ部の内側基部に鋭い沈線状の痕み通る。外面に墨書「藤」か。	①素地普通。チャート、白色砂粒等を含む。 ②還元焰。普通。 ③灰白7.5Y7/1。内外面に火ダグキ状の黒色部あり。
12 蓋(須恵)	蓋 4.4	2区埋没土 図示部は写存	右回転クロー天井部中央に弱い回転ヘラ削り丁寧な細取り付け。外面に幅広い沈線が通っている。内面はラセン状のロクロ痕が残っている。外面に墨書「藤」か。	①素地やや砂質。黒色鉱物散見の砂粒を含む。 ②還元焰。普通。 ③灰白5Y8/1。断面までほぼ一様。
13 杯(須恵)	口 14.2 底 8.7 高 3.4	※ $\approx 73$ cm $\approx +87$ cm ほぼ写影	右回転クロー外底全面丁寧な回転ヘラ削り。ロクロ痕弱い。内底外底とも平滑。口縁内面墨痕の鮮明な墨書「藤」。	①素地普通。1~2mm大のバミス、礫を少量含む。 ②還元焰。普通。 ③灰白5Y7/1。ほぼ一様。
14 杯(須恵)	口 14.0 底 8.8 高 4.0	※ $\approx 77$ cm 口 写 底 写存	右回転クロー回転利用であれば外底全面と口縁下部に左回転のヘラ削り。内面でロクロ痕弱く平滑。内底鮮明な墨書「藤」。	①素地やや砂質。1~3mm大の礫を少量含む。 ②還元焰。普通。 ③灰白5Y7/1。ほぼ一様。
15 杯(須恵)	底 8.5	※ $\approx 86$ cm 下半のみ	器地一73に同巧。内底に墨痕の不鮮明な墨書「藤」。	①②③器地一73にはほぼ同じ。
16 杯(須恵)	底 9.5	※ $\approx 86$ cm 下半のみ	右回転クロー回転ヘラ切りか→外底全面と口縁下部に左回転利用のヘラ削り。ロクロ痕弱く内面平滑。内底に墨痕のやや明瞭な墨書「藤」。	①素地普通。1~3mm大のチャート、礫等大粒の混入物多い。 ②還元焰。普通。 ③灰白5Y7/1。外面に明度の低いムラあり。
17 杯(須恵)	口 14.8 底 9.2	※ $\approx 80$ cm 図示部の写	右回転クロー回転ヘラ削り無調整。ロクロ痕やや弱い。口縁外面に墨痕のやや薄い墨書「藤」。	①素地やや砂質。バミス、黒色鉱物等を少量含む。 ②還元焰。やや硬調。 ③灰7.5Y8/1。ほぼ一様。
18 杯(須恵)	口(13.3) 底 8.8 高 3.7	※ $\approx 76$ cm $\approx 4$ 区埋没土 口 写 底 写存	右回転クロー外底全面と口縁部下下に左回転利用のヘラ削り。内底縁部にやや鋭い痕み通っている。ロクロ痕やや強い。底部が厚く重量である。口縁外面に墨痕のやや明瞭な墨書「藤」。	①素地普通。1mm大の礫のまじる砂粒を含む。 ②還元焰。普通。 ③やや硬調の還元焰。 ④5Y8/1。外面に火ダグキ状の黒色部分あり。
19 杯(須恵)	口(13.2) 底 8.8 高 4.2	※2片 口 写 底 写	右回転クロー回転ヘラ切りか→外底の縁部の大部分と口縁下部に左回転利用のヘラ削り。削りは底部で強く口縁部でごく弱い。ロクロ痕弱く内面は平滑。外底の明るい色調の部分に墨痕のやや明瞭な墨書「藤」。	①素地普通。1mm大の礫、石英等を含む。 ②還元焰。普通。 ③灰白7.5Y7/1。外面は底部の一部を残して黒色味の強い部分が多い。
20 杯(須恵)	口(14.2) 底 9.0 高 3.1	4区2片 $\approx$ 器内2片 口 写 底 写	右回転クロー回転ヘラ削り無調整。ロクロ痕は内底のみやや強い。外底は比較的平滑。外底に墨痕のやや不鮮明な墨書「藤」か。	①素地やや砂質。混入物は少ない。 ②還元焰。普通。 ③灰5Y6/1。口縁外面は明度低く断面は明度高い。

遺物観察表

No.・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と胎形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
21 杯(須眉)	底 9.0	1区埋没土 底 瓦	右回転ロクロ・回転糸切り・外底縁部に左回転利用のへら削り。内底に墨痕の不鮮明な墨書「郷」。	①赤地普通。1mm大のチャート、石英等を含む。 ②還元焰。普通。 ③灰白10Y7/1。断面までほぼ一様。
22 杯(須眉)	口(13.0)	3区埋没土 <sup>※</sup> 4区埋没土 口 瓦	右回転ロクロ。外面でロクロ痕やや強く内面では擦痕が強い。外周口縁に墨痕のやや鮮明な墨書「郷」。	①やや砂質の赤地。混入物は少ない。 ②還元焰。普通。 ③灰7.5Y6/1。外面一部明度低い。
23 杯(須眉)	口(14.0)	※+7cm 口 瓦	右回転ロクロ。口縁下端に回転利用のへら削りを施すと思われる。ロクロ痕弱い。口縁下面に墨書「郷」。	①ややボンボンした重い赤地。 ②還元焰。普通。 ③灰白10Y8/1。器面は一部明度強い。
24 杯(須眉)	口 14cm程か	4区埋没土 口 小片	右回転ロクロ。内面のロクロ痕弱い。外面に墨痕の鮮明な墨書「郷」か。	①赤地やや砂質。混入物少ない。 ②還元焰。普通。③灰白7.5Y7/1。
25 杯(土師)	口 13.0 高 4.2	1区・3区の埋没土計8片 口 瓦 底ほぼ完	外面口縁端部は強いナデ。中位は無調整で一部磨状のヒビが残っている。外底と口縁下手に弱い削り。内面は強いナデ。内底は細かな凹凸残る。内底に墨痕の明瞭な墨書「郷」。	①赤地普通。バミス、角閃石、1mm大の礫等を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい焼7.5YR7/4。外面一部やや明度低い。
26 杯(土師)	口(13.6) 高(2.8)	※+14cm 口 瓦	外底の削りは細かくやや弱い。内面のナデもやや弱い。内底に墨痕のやや不明瞭な墨書「郷」。	①赤地普通。バミスやや多く1mm大の礫、角閃石を含む。②酸化焰。普通。 ③にぶい焼5YR7/4。ほぼ一様。
27 杯(土師)	口(12.4) 高 2.8	※+34cm 図示部の瓦	外底は弱い削り。外面に磨状のヒビが残る。内面は丁寧で強いナデ。内底に墨痕のやや不明瞭な墨書あり。「郷」か。	①赤地普通。1mm大の礫を少量含む以外、混入物少ない。②酸化焰。やや硬調。 ③にぶい焼5YR7/4。ほぼ一様。
28 杯(土師)	埋没土 底 小片	埋没土 底 小片	外底の削り、内底のナデともやや丁寧。内底に墨痕のやや不明瞭な墨書「郷」。	①赤地普通。バミス、1~2mm大の赤褐色鉱物等を含む。②酸化焰。普通。 ③にぶい焼5YR6/4。内面やや彩度低い。
29 杯(土師)	4区埋没土 底 小片	4区埋没土 底 小片	外底の削りはやや丁寧。内底のナデも丁寧で平滑。内底に墨痕のやや不明瞭な墨書「郷」。	①赤地普通。バミスマじりの砂粒を少量含む。②酸化焰。普通。 ③にぶい焼7.5YR7/4。断面は彩度低い。
30 杯(土師)	4区埋没土 底 瓦	4区埋没土 底 瓦	外底の削り細かくやや弱い。一部ヘラミガキ状にナデつてある。内面は平滑。内底に墨痕のやや不明瞭な墨書「郷」。	①赤地普通。赤褐色鉱物、バミス等の混入やや多い。②酸化焰。普通。 ③焼5YR6/6。内面やや彩度低い。
31 杯(土師)	4区埋没土 底 瓦	4区埋没土 底 瓦	丸底気味の杯である。外底の削り内底のナデともに強い。内底に墨書「郷」。	①赤地普通。バミス、輝石等の混入やや多い。②酸化焰。やや硬調。 ③にぶい焼5YR6/4。外面一部に強い墨痕あり。
32 杯(土師)	4区埋没土 底 小片	4区埋没土 底 小片	外底の削りは弱いが丁寧。内面は平滑さにはやや欠ける。内底中央に「郷」。	①赤地普通。雲母細片が目立つが他の混入物少ない。②酸化焰。普通。③にぶい赤焼5YR5/4。ほぼ一様。
33 杯(土師)	4区埋没土 底 小片	4区埋没土 底 小片	外底の削り内面のナデともやや丁寧。内底に墨痕やや薄い墨書あり。欠け口にかかるが「郷」か。	①赤地普通。バミス、輝石等を含む。②酸化焰。普通。 ③にぶい焼5YR6/3。断面は明度高い。
34 杯(土師)	4区埋没土 底 小片	4区埋没土 底 小片	外底の削りはやや弱い。内面のナデは丁寧。内底に墨書あり。欠け口にかかるが釈文は「郷」。	①赤地普通。少量のバミス以外混入物少ない。②酸化焰。普通。 ③にぶい焼7.5YR6/3。内面やや明度高い。
35 杯(土師)	4区埋没土 底 瓦	4区埋没土 底 瓦	外底削りは弱いが丁寧。内面ナデも丁寧で同心円状の規則的な磨痕が広がる。内底に墨痕のやや薄い墨書あり「郷」か。	①赤地普通。雲母細片やや多い。赤褐色鉱物等を含む。②酸化焰。普通。 ③焼2.5YR6/6。内面は黄色味をおびる。
36 杯(土師)	※+71cm 底 瓦	※+71cm 底 瓦	外底はやや幅広いへら削り。内面は細かな凹凸が残る。内底中央左寄りに墨痕のやや不明瞭な墨書「郷」。	①赤地普通。角閃石、バミス等を含む。②硬調の酸化焰。 ③にぶい焼7.5YR7/3。内面5YR7/4。
37 杯(土師)	4区埋没土 底 小片	4区埋没土 底 小片	外底の削りやや弱い。内底はやや平滑さ欠く。内底に墨痕の薄い墨書「郷」。	①赤地普通。バミス、赤褐色鉱物、雲母細片等を含む。②酸化焰。普通。③焼5YR6/6。内面やや明度低い。
38 杯(土師)	口(12.6) 高 2.8	1区埋没土 口 瓦 底 瓦	外底の削りはやや硬。口縁下手は無調整の返みあり。底、傾きとも不安。内面のナデは強い。内底に墨痕のやや薄い墨書「郷」。	①赤地普通。雲母細片やや多い。角閃石、バミス等を含む。②酸化焰。やや硬調。 ③焼5YR6/6。外面やや彩度低い。
39 杯(土師)	口 12cm程か	4区埋没土 図示部の瓦	外底の削りはやや強い。口縁下手に無調整部分が残る。内面は強いナデだが器面は平滑さに欠ける。内面に墨痕のやや不明瞭な墨書あり。「郷」か。	①赤地普通。雲母細片やや目立つ。1mm大の礫混入。②酸化焰。普通。 ③焼5YR6/6。ほぼ一様。
40 杯(土師)	4区埋没土 底 瓦	4区埋没土 底 瓦	外底の削りは弱いが丁寧。内底のナデも丁寧で平滑に仕上げている。内底に墨痕のやや薄い墨書「郷」。	①赤地普通。雲母細片、バミス等を少量含む。②酸化焰。普通。 ③にぶい焼7.5YR6/3。内面やや赤色味をおびる。



No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
41 杯(土師)		4区埋没土 底 瓦	外底の削りは丁寧で細かい。内底のナゲも丁寧。内底に墨痕のやや明瞭な墨書「郷」。	①素地普通。罌母細片、角閃石等。微細な混入物を含む。②酸化焼。普通。 ③にぶい焼5YR6/4。内面やや黄色味をおびる。
42 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	外底の削りはやや丁寧。内面も丁寧なナゲだが器面はやや平滑さ欠く。内底に墨書「郷」。	①素地普通。パミス、角閃石等を少量含む。 ②酸化焼。普通。 ③にぶい焼5YR6/4。外面黒色。
43 杯(土師)		4区埋没土 底 瓦	外底の削りは鋭い。内底は細かな凹凸がある。内底中央に墨痕のきわめて薄い墨書あり。「郷」の可能性あり。	①素地普通。パミス、角閃石等の混入物やや多い。 ②酸化焼。普通。 ③にぶい焼5YR6/4。断面は明度高い。
44 杯(土師)		4区埋没土 底 瓦	外底の削りは丁寧でやや削い。内面のナゲも丁寧。内底中央は墨痕の明瞭な墨書がかかる。「郷」の可能性ある。	①やや緻密な素地。混入物も少なく良好。 ②酸化焼。普通。 ③にぶい焼5YR6/4。断面までほぼ一様。
45 杯(土師)		4区埋没土 底 瓦	丸底気味の杯である。外底の削り内底のナゲとも丁寧。内底の中央は墨痕の明瞭な墨書「郷」の一部がかかる。	①素地普通。輝石、パミス等を少量含む。 ②酸化焼。普通。 ③にぶい焼5YR7/3。内底やや彩度高い。
46 杯(土師)		1区埋没土 底 瓦	丸底気味のやや大型の杯と思われる。外底の削りはやや雑。内底は細かな凹凸あり。内底は墨痕のやや薄い墨書あり。「郷」の可能性あり。	①素地普通。パミス、角閃石等を少量含む。 ②酸化焼。やや硬調。 ③にぶい焼5YR6/4。
47 杯(土師)		4区埋没土 底 瓦	外底の削り内底のナゲともやや削い。内底縁部に墨痕のやや薄い墨書がかかっている。釈文不明だが「郷」の可能性もある。	①やや緻密な素地。罌母細片、赤褐色鉱物等を含む。 ②酸化焼。普通。 ③焼5YR6/6。ほぼ一様。
48 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	底部中央付近の破片。外底の削りやや粗い。内底に墨痕のやや明瞭な墨書の一部がかかる。釈文不明だが「郷」の可能性もある。	①素地普通。赤褐色鉱物、角閃石等の混入物やや多い。 ②酸化焼。普通。 ③にぶい焼5YR6/4。ほぼ一様。
49 杯(土師)		4区埋没土 底 瓦	外底の削り内底のナゲとも丁寧。外底縁部に墨痕の明瞭な墨書「郷」。	①素地やや緻密。混入物も少ない。②酸化焼。普通。 ③にぶい赤焼5YR5/4。断面は明度高い。
50 杯(土師)		4区埋没土 底 瓦	外底の削りはやや雑で削い。内面のナゲは丁寧。外底に墨痕のやや薄い墨書「郷」あり。	①素地普通。角閃石、パミス等の混入物やや多い。 ②酸化焼。普通。 ③にぶい焼7.5YR6/3。ほぼ一様。
51 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	平底気味の杯。外底の削り内底のナゲともやや丁寧。外底に墨痕の薄い墨書の一部がかかる。「郷」か。	①素地普通。パミス、角閃石等を少量含む。 ②酸化焼。普通。 ③にぶい焼5YR6/4。ほぼ一様。
52 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	外底の削りは丁寧でやや削い。内底も平滑。外底中央に墨痕のやや明瞭な墨書の一部がかかる。「郷」の可能性あり。	①素地普通。混入物も少なく良好。 ②酸化焼。普通。 ③にぶい焼5YR6/4。断面は彩度低い。
53 杯(土師)		1区3片 底 瓦	やや丸味のある底破片。外底は丁寧な削り。内面のナゲも丁寧。外底に墨痕の明瞭な墨書「郷」か。	①素地普通。パミス、角閃石等が少量まじる砂粒を含む。②酸化焼。やや硬調。 ③にぶい焼5YR7/4。内面彩度低い。
54 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	厚手の杯である。外底の削りは強く削い。内底のナゲはやや丁寧。外底に墨痕のやや明瞭な墨書の一部がかかる。「郷」の可能性あり。	①素地普通。石英、パミス1mm大の礫等を含む。 ②酸化焼。やや硬調。 ③にぶい焼7.5YR7/3。内面は彩度低い。
55 杯(土師)		■+71cm 底 瓦	やや丸底気味の杯である。外底の削りは鋭い。内底のナゲは丁寧でやや平滑に仕上げている。外底中央に墨痕の濃淡まちまちな墨書あり。「郷」か。	①素地普通。石英1mm大の礫等を少量含む。 ②酸化焼。普通。 ③にぶい焼5YR7/3。内面やや彩度低い。
56 杯(土師)		4区2片 底 瓦	外底の削りはやや雑で削い。内底のナゲは丁寧。外底中央に墨痕の明瞭な墨書の一部がかかる。「郷」の可能性あり。	①素地普通。パミス、角閃石等を少量含む。 ②酸化焼。普通。 ③灰黄褐10YR6/2。内面は赤色味をおびる。
57 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	やや大型の杯になると思われる。外底の削りは息長い。内面ナゲや丁寧。外底に墨痕やや不鮮明な墨書「郷」。	①素地普通。角閃石、パミス等を少量含む。 ②酸化焼。普通。 ③にぶい焼7.5YR6/3。外面一部やや赤色味をおびる。
58 杯(須恵)	□(14.4) 底 8.2 高 4.0	■+9cm3片 口 瓦 底 完存	右回転クローラ→外底全面と口縁下端に回転ヘラ削り。クローラは内底でやや密く渦巻状。口縁端ではやや強い。外底に墨書「郷」。内面にも墨痕あるが破片によって残存状態が著しく異なる。	①素地やや削い。1~4mm大の礫、パミスの混入目立つ。石英が少量まじっている。 ②還元焼。普通。 ③灰白5Y7/1。ほぼ一様。

遺物観察表

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
59 杯(須恵)	口(14.8) 底 8.0 高 3.8	4区3片 口 瓦 底 瓦	右回転ロクロ→回転糸切り→外底縁部に幅広い回転ヘラ削り。ロクロ痕弱い内底は平坦。外底中央に墨書「田人」か。	①素地やや粗い。1mm大の礫の混入やや多い。 ②還元焼。普通。 ③灰白7.5Y7/1。ほぼ一様。
60 脚付盤 (須恵)	径(11.0)	■ 脚 瓦 底 瓦	右回転ロクロで同置成形の脚部を杯部と接合。内底にはかき目状の弱い墨痕が規則的に走る。ロクロ痕は弱い。脚内部に墨痕のやや弱い墨書「十」か。	①素地普通。黒色鉱物まじりの砂粒やや多い。 ②還元焼。やや硬質。 ③灰白7.5Y7/1。内底に灰白色の階状陥凹・階段状に少量を含む。
61 高台付杯 (須恵)	台 9.2	■→70cm 底 完存	右回転ロクロ→回転ヘラ切り→外底全面回転ヘラ削り→丁寧な高台取付け。ロクロ痕弱い。外底に墨痕のやや弱い墨書「十」。	①素地普通。1～2mm大の礫、白色砂粒等を含む。 ②還元焼。やや硬質。 ③灰白10Y8/1。外面一部明度低い。
62 杯(須恵)	底 8.6	■→81cm 口下半 瓦 底 完存	右回転ロクロ→回転糸切り→中央を除く外底と口縁下部に左回転利用のヘラ削り。外面のロクロ痕は強く細かい。厚手で重量。外底に墨痕の強い墨書あり。「十」か。	①やや砂質。1～3mm大の礫、石英等を含む。 ②還元焼。普通。 ③灰白7.5Y7/1。断面までほぼ一様。
63 杯(須恵)	口(12.2) 底 7.0 高 3.6	■→8cm± 4区埋没土 口 瓦 底 瓦	右回転ロクロ→回転糸切り→外底縁部回転ヘラ削り。ロクロ痕弱い。外底に墨痕のやや明瞭な墨書「中」。	①素地普通。1～3mm大の片岩、黒色鉱物等を含む。 ②還元焼。普通。 ③灰白7.5Y7/1。断面まで一様。
64 杯(須恵)	底 5.6～6.9	3区2片± 4区埋没土 底 瓦	右回転ロクロ→回転糸切り→外底縁部回転ヘラ削り。ロクロ痕弱い。外底に墨書「中」。	①素地普通。バミス、黒色鉱物やや目立つ。 ②還元焼。普通。 ③灰7.5Y6/1。内面に火ダスキ状の黒痕あり。
65 杯(須恵)		2区埋没土 底 小片	右回転ロクロ→回転糸切り。手持ちヘラ削りを加えたと思われる痕跡が残る外底に墨痕の不鮮明な墨書「中」。	①素地普通。1～2mm大の長石まじりの砂粒を含む。 ②還元焼。普通。 ③灰白7.5Y7/1。断面までほぼ一様。
66 杯(須恵)	底 8cm程か	2区埋没土 底 瓦	右回転ロクロ→回転糸切り→外底縁部回転ヘラ削り。外底に墨痕のやや不鮮明な墨書「中」。	①素地普通。輝石、1mm大の礫を少量含む。 ②還元焼。普通。 ③灰白7.5Y7/1。断面までほぼ一様。
67 杯(須恵)	底 6.6～7.0	■ 底 完存	右回転ロクロ→回転糸切り無調整。内底では渦巻状のロクロ痕残っている。外底に墨痕やや不鮮明な墨書「中」。	①素地普通。片岩まじりの砂粒を含む。 ②還元焼。普通。 ③灰10Y4/1。外面口縁の一部は明度高い。
68 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	底部中央付近の破片か。外底はやや丁寧な削り。内底にはラセン状の暗文がわずかに観察できる。外底に墨痕のやや不明瞭な墨書あり。「中」か。	①素地普通。輝石、バミス等の微細な混入物やや多い。 ②酸化焼。普通。 ③にぶい焼7.5YR6/4。内面はやや明度高い。
69 杯(土師)	口11.4～11.7 高 3.2	■→92cmの計 12片 口 瓦 底 完存	外底と口縁下半は規則的で丁寧な削り内面は強いナデ。口縁内縁は一部で小さく肥厚している。内面はやや幅広い粗い暗文を施す。外底に墨痕のやや明瞭な墨書「中」。	①素地普通。バミス、輝石まじりの砂粒を含む。 ②酸化焼。普通。 ③にぶい焼7.5YR7/4。ほぼ一様。
70 杯(土師)	底 10cm程か	4区埋没土 底 瓦	大皿で厚手の杯となろう。外底から口縁下部にやや弱いヘラ削り。内底は平坦。底部内外面に墨痕のやや不鮮明な墨書「中」。	①素地普通。1mm大の礫、バミス、輝石等を少量含む。 ②酸化焼。普通。 ③にぶい焼7.5YR7/4。ほぼ一様。
71 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	外底の削りはやや粗い。内面は丁寧なナデで平滑に仕上げている。内底中央に「中」と思われる墨痕強い墨書あり。	①素地普通。雲母細片、1mm大の礫を少量含む。 ②酸化焼。普通。 ③焼5YR/6。ほぼ一様。
72 杯(土師)		埋没土 底 小片	外底の削り内底のナデともやや粗い。内底中央付近に墨痕のやや薄い墨書の一部かかる。釈文不明だが「中」の可能性もある。	①粒子の細かい素地。雲母細片、赤褐色鉱物等含む。 ②酸化焼。ややしまり欠く。 ③にぶい焼5YR/6。内面は影度低い。
73 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	平底気味の薄手の杯。外底中央に墨痕のやや明瞭な墨書「中」。	①素地普通。バミス、角閃石等を少量含む。 ②酸化焼。普通。 ③にぶい焼5YR5/4。内面やや明度高い。
74 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	底部中央付近の破片と思われる。外面にはやや鋭い削り内面は丁寧なナデが見られる。外底に墨書あり「中」か。	①素地普通。角閃石、バミス等がまじる。 ②酸化焼。 ③にぶい焼7.5YR7/4。
75 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	平底気味の薄手の杯である。外底の削り内底のナデともやや丁寧。外底に墨痕のやや薄い天地不明の二文字以上の墨書あり。釈文一字は「中」他不明。	①素地普通。バミス、輝石等微細な混入物やや多い。 ②酸化焼。普通。 ③にぶい焼7.5YR/4。断面は明度高い。

No.・器種	計器径(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
76 杯(土師)		2区埋没土 底 片	薄手のやや平底気味の杯である。外底の削りは丁寧。内底はやや平滑で欠く。外底に墨痕のやや薄い墨書「中」。	①素地普通。角閃石、細片のやや目立つ砂粒を含む。 ②酸化焰。普通。 ③におい橙7.5YR7/3。断面まで一様。
77 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	外底の削りは鋭いが丁寧。内底のナデも丁寧で平滑に仕上げている。外底の中央に墨痕の明瞭な墨書「中」。	①やや緻密な素地。雲母細片まじりの砂粒少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③におい橙5YR6/4。外面一部灰色味をおびる。
78 杯(土師)		4区埋没土 底 片	平底気味の小型の杯と思われる。外底の削りはやや方向不定。内底はやや平滑に仕上げている。外底に墨痕の不鮮明な墨書あり。釈文は「中」の可能性あり。	①素地やや緻密。パミス、角閃石を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③におい橙7.5YR7/3。内面やや彩度高い。
79 杯(土師)		4区埋没土 底 片	外底の削りは丁寧でやや鋭い。内底のナデもやや丁寧。外縁縁部に墨痕のやや薄い墨書あり。「中」か。	①素地普通。角閃石、パミス、石英等多量な混入物を含む。 ②酸化焰。やや硬調。 ③におい橙7.5YR6/4。断面明度高い。
80 杯(土師)		埋没土 底部ほぼ完存	外底はやや丁寧な削り。内底のナデも丁寧。内外底に「大」の墨書あり。外底は墨痕薄く内底は縁部ギリギリに記している。	①素地普通。角閃石、1mm大のパミス、鐵等を含む。 ②酸化焰。普通。 ③におい橙7.5YR7/4。外面一部彩度低い。
81 杯(土師)	口 12cm強か 高 3.5	4区2片 口 若干	外面の削り内面のナデともやや粗く器面は平滑で欠く。芯みあり傾き強くと不安。内外面に墨書「大」、外底中央は墨痕薄い。内底縁部は欠け口にかかっている。	①素地普通。パミス、輝石等を混入する。 ②酸化焰。普通。 ③におい橙5YR6/4。内面やや黄色味をおびる。
82 杯(土師)	口(11.8) 高 3.3	■断面直上 口 片 底 片	外面口縁下半に無調整部分残る。外底の削りは丁寧で鋭い。内面ナデも丁寧内底に墨痕のやや明瞭な墨書「大」。	①素地普通。小粒のパミス、角閃石等を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③におい橙7.5YR7/4。ほぼ一様。
83 杯(土師)		4区2片 底 片	外底の削りは緩で削り残し部分あり。内底も平坦さは欠く。内底中央に墨痕の明瞭な墨書「大」。	①素地普通。パミス、角閃石、赤褐色鉱物等を含む。 ②酸化焰。普通。 ③におい橙5YR6/4。内面一部赤色味をおびる。
84 杯(土師)		4区埋没土 底 片	外底は息の長いやや粗い削り。内底は器面の平滑さにやや欠けている。内底中央に墨痕のやや薄い墨書あり。欠け口にかかっているが「大」か。	①素地普通。パミス、角閃石、1mm大の鐵等を含む。 ②酸化焰。普通。 ③におい橙7.5YR7/3。ほぼ一様。
85 杯(土師)	口(12.0)	4区埋没土 図示部の片	外底の削りはやや細かい。口縁下半は無調整だが器面はやや平滑。内面は強いナデ。内底縁部に墨痕のやや明瞭な墨書「大」。	①素地普通。パミス、輝石等を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③におい橙7.5YR7/4。ほぼ一様。
86 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	やや平底気味の土器。外面削り内面ナデともやや丁寧。内底の墨書は「大」で墨痕は薄い。外底に墨書と判定しきれない墨痕の薄い色ムラあり。	①素地やや緻密。輝石、雲母細片等を含む。 ②酸化焰。普通。 ③におい橙5YR6/4。ほぼ一様。
87 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	平底気味の杯である。外底の削りはやや鋭。内底は器面の平坦さ欠く。内底中央に墨痕のやや明瞭な墨書「大」。	①素地普通。パミス、雲母細片等を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③におい橙6YR7/4。内面やや彩度低い。
88 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	外底の削りはやや鋭い。内面は平滑さにやや欠ける。内底中央に墨痕の一部薄い墨書「大」。	①素地普通。1mm大の礫まじりの砂粒を含む。 ②酸化焰。普通。 ③におい橙7.5YR6/4。内面は明度高い。
89 杯(土師)		8区埋没土 底 片	外底は丁寧でやや鋭い削り。内底も丁寧なナデ。内底中央に墨痕のやや明瞭な墨書「大」。	①やや緻密な素地。角閃石、1mm大の鐵等を少量含む。 ②酸化焰。やや硬調。 ③におい橙7.5YR7/4。断面は明度高い。
90 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	外底の削りは緩。内底も凹凸多い。内底縁部に墨痕のやや薄い墨書「大」。	①素地普通。パミス、輝石等を少量含む。②酸化焰普通。③におい橙5YR7/4。内面やや彩度低い。
91 杯(土師)		4区埋没土 底 片	平底気味のやや厚手の杯である。外底の削りは鋭い。内底のナデも丁寧。内底のほぼ中央に墨痕の一部で不明瞭な墨書あり。「大」か。	①素地普通。角閃石、パミス等を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③におい橙7.5YR7/4。断面はやや明度高い。
92 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	外底の削りやや鋭い。内底にはやや粗い布状の痕跡が残っている。内底に墨痕の薄い墨書「大」。	①素地普通。パミス、赤褐色鉱物の混入やや多い。 ②酸化焰。普通。 ③におい橙5YR7/4。内面灰色味が強い。
93 杯(土師)		2区埋没土 底 小片	外底の削りはやや強い。内面の整形痕は不明瞭だが器面はやや平滑。内底は墨痕一部で薄い墨書にかかっている。釈文不明。	①素地普通。パミス等混入物少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③におい橙5YR6/4。断面は明度高い。

遺物観察表

№・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
94 杯(土師)		6区埋没土 底 瓦	平底気味の杯。外底の削りは丁寧。内底のナデはあまり丁寧でないが放射状の不明瞭な痕を追加している。外底中央に墨痕の不明瞭な墨書「大」。	①素地普通。赤褐色鉱物、1mm大の礫等のまじる砂粒を含む。 ②酸化焰。普通。 ③焼5YR6/6。内面は彩度低い。
95 杯(土師)		3区⇒8区 底 瓦	外底の削りは弱く型腐状のヒビが残っている。内面はきわめて丁寧なナデで器面は著しく平滑。外底中央に墨痕のやや不明瞭な墨書「大」。	①やや緻密な素地。角閃石等の混入物を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい焼5YR7/4。ほぼ一様。
96 杯(土師)		埋没土 底 小片	外底は一方の削り。内底は細かな凹凸多い。外底に墨書あり。欠け口にかかり不明瞭でないが「大」か。	①素地普通。角閃石、2mm大のバミス等を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい焼7.5YR6/4。内面やや明度高い。
97 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	外底は丁寧な削り。内底のナデも丁寧。外底縁部に墨痕の薄い墨書「大」。	①素地普通。雲母細片まじりの細砂の混入やや多い。 ②酸化焰。普通。③にぶい焼7.5YR7/3。ほぼ一様。
98 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	外底の削りは不明瞭。内面は平滑に仕上げている。外底に墨痕の不鮮明な墨書あり。欠け口にかかり不明瞭だが「大」の可能性もある。	①素地普通。バミス、角閃石等の混入物が多い。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい黄焼10YR7/3。ほぼ一様。
99 杯(土師)		3区埋没土 底 瓦	外底削り内底ナデともに丁寧。外底中央に墨痕のやや不鮮明な墨書「大」。	①素地やや粗い。やや大粒の輝石、バミス等少量含む。 ②酸化焰。普通。③にぶい焼5YR7/4。ほぼ一様。
100 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	やや平底気味の土器。外底の削り内面のナデともやや雑で器面平滑さ欠く。外底中央に墨痕のやや不鮮明な墨書あり釈文「大」か。	①素地普通。角閃石、バミス等を混入する。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい焼7.5YR7/3。ほぼ一様。
101 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	やや丸底気味になると思われる。外面の削りやや鋭く内面のナデはやや雑。外底に墨書あり。欠け口にかかり不明瞭だが「大」の可能性あり。	①素地普通。角閃石、バミス等を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい焼7.5YR7/3。ほぼ一様。
102 杯(須恵)	口(12.6) 底(6.0) 高3.9	■ 口 瓦 底 瓦	右回転クロコロー回転赤切り無調整。クロコ炭調いがやや粗い膠気が通る。内面口縁下半部墨痕の鮮明な墨書「舟」か。	①素地普通。片岩、黒色鉱物等まじる。白色針状物のごく僅かに含む。②還元焰。普通。 ③灰5Y6/1。断面まで一様。
103 高台付皿 (須恵)	口(13.0) 高(2.7) 台(5.6)	埋没土2片 口 瓦 台 瓦	右回転クロコ。クロコ炭、濃炭にも弱く不明瞭。内面に墨痕がやや不明瞭な墨書「舟」。	①軽量でボンソツした素地。2mm大の礫を少量含む。 ②中性焰気味。普通。 ③内面灰7.5Y6/1。外面灰白7.5Y8/1。
104 杯(須恵)	口 12.4 底 5.8 高 4.2	■底面直上の 3片 口上半 瓦 底 完存	右回転クロコロー回転赤切り無調整。クロコ炭は外面で強い。内面は凹凸少ないが平滑さ欠く。口縁外面に黒炭部分をさけて墨痕のやや薄い墨書「舟」。	①素地やや粗い。石英、チャート等を少量含む。 ②還元焰。やや軟調。 ③灰白7.5Y8/1。下半は内外面とも断面まで黒色。
105 杯(須恵)		埋没土 底(7.0)	右回転クロコロー回転赤切り無調整。高台の割がれたような痕跡あり。口縁外面に墨痕のやや不鮮明な墨書「舟」か。	①素地普通。1mm大の礫が少量まじる。 ②還元焰。普通。 ③灰7.5Y6/1。底面はやや明度低い。
106 杯(土師)	口(12.2) 高(3.2)	8区その他の 計5片 口 瓦 底 瓦	外底中央の小さな窪みの中に型腐状の小さなヒビあり。外底はごく弱い削り口縁上半はナデ下半は無調整だが平滑内面は強いナデ。内底と口縁外面に墨書のきわめて不鮮明な墨書あり。口縁部は「舟」か。内底は釈文不明。「舟人」の可能性あり。	①素地普通。赤褐色鉱物、バミス、石英等種多な混入物含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい焼5YR6/4。ほぼ一様。
107 杯(土師)	口12.4~12.7 高3.7	■底面直上⇒ 8区の7片 写個体	口縁外面は端部のみナデで他は型腐状のヒビ。外底中央の窪みの中も顕著な型腐が見られる。内面丁寧な強いナデ内底に墨痕の不明瞭な墨書あり。「舟人」か。	①素地普通。石英、赤褐色鉱物、バミス等を含む。 ②還元焰。やや軟調。 ③にぶい赤焼2.5YR6/4。ほぼ一様。
108 杯(土師)	口 12cm程か	8区埋没土の5片 口 若干 底 瓦	外底中央に弱い押痕のような窪みあり。外底の削りは方向不定で細かい。口縁下半は無調整。口縁内面に墨痕の薄い墨書「舟」がかかる。	①素地やや粗い。赤褐色鉱物、石英等種多な混入物やや多い。 ②還元焰。普通。 ③焼2.5YR6/6。内面は彩度低い。
109 杯(土師)	口(12.0) 高(3.8)	■ 口 瓦 底 ほぼ完存	外面は口縁上端のみ雑なナデ。外底には型腐状の細かいヒビあり。内面強いナデ。口縁の形状は一定でない。内底に墨痕のやや不明瞭な墨書「舟」。	①素地普通。角閃石、バミス等を含む。 ②還元焰。普通。 ③にぶい黄焼10YR7/3。ほぼ一様。

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
110 杯(土師)	口 12cm程 高 3.7	4区2片 口 若干 底 Ⅴ	外底中央は壺嘴状の細かなヒビで周辺は手持ちへつ削り。口縁下半無調整。内面は丁寧で強いナデ。内底に墨痕のやや明瞭な墨書「舟」か。内底に墨痕の「舟」の可能性が高い。	①素地やや粗い。パミス、赤褐色鉱物、石英等混入。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい赤褐色5YR5/4。外面一部赤色味をおびる。
111 杯(土師)	口 12.6	8区3片 口 Ⅴ	外面口縁上半は強いナデで小さな稜ができていて、下半は無調整で指頭圧痕がある。内面は強く強いナデ。口縁の歪み強く深。傾きとも不安。外面口縁から底部にかけて墨痕のやや明瞭な墨書「舟」か。	①素地やや粗い。石英、パミス、赤褐色鉱物1~2mm大の礫等を含む。 ②酸化焰。やや軟調。 ③橙2.5YR6/6。ほぼ一様。
112 杯(土師)		4区2片 口 Ⅴ	外面口縁上半は強いナデ下半無調整。内面は強いナデで粗い指痕が走る。口縁内面に墨痕のやや明瞭な墨書「舟」。	①素地やや粗い。赤褐色鉱物、角閃石、パミス等を含む。②酸化焰。普通。 ③明赤褐色2.5YR5/6。内面やや明度高い。
113 杯(土師)		埋没土 口 小片	外面口縁上半にやや強いナデ下半は無調整か。内面は強いナデで布状の粗い指痕がある。内面に墨書あり。「舟」か。	①素地普通。赤褐色鉱物、チャート等混入やや多い。 ②酸化焰。普通。 ③橙2.5YR6/6。ほぼ一様。
114 杯(土師)		4区埋没土 口 小片	外面は口縁端部のみ強いナデ。下半は無調整で指頭圧痕状の歪みがある。外面に墨痕の不明瞭な墨書「舟」あり。	①素地やや粗い。石英、角閃石、赤褐色鉱物等の混入やや多い。②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/3。ほぼ一様。
115 杯(土師)		埋没土 口 小片	歪み強く傾き不安。口縁部のナデ強く強い。外面墨痕のやや薄い墨書の一部がかかる。釈文は「舟」の可能性あり	①素地普通。赤褐色鉱物の混入多い。パミス、石英等を含む。②酸化焰。普通。 ③にぶい赤褐色2.5YR5/4。ほぼ一様。
116 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	外底は壺嘴状の細かなヒビ。内面は強いナデで器面は凹凸あり。内底に墨痕のやや明瞭な墨書あり。「舟」か。	①素地やや粗い。赤褐色鉱物、1mm大の礫、パミス等を含む。②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい赤褐色2.5YR5/4。断面やや明度高い。
117 杯(土師)		2区埋没土 底 小片	外底はやや丁寧な削り。内底は強いナデで器面はやや凹凸あり。内底に墨痕のやや薄い墨書あり。「舟」か。	①素地普通。赤褐色鉱物、石英、輝石等種多量混入物を含む。②酸化焰。普通。 ③にぶい赤褐色2.5YR5/4。断面までほぼ一様。
118 杯(土師)		4区2片 底 Ⅴ	外底中央がやや窪み、中が壺嘴状のヒビ割れになっている。外底の削りは弱く内底のナデはやや強い。内底に墨痕のやや明瞭な墨書がかかる。「舟」の可能性あり。	①やや粗い素地。石英、赤褐色鉱物等種多量混入物を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい赤褐色2.5YR5/4。内面は黄色味をおびる。
119 杯(土師)		3区埋没土 底 小片	平底。外底は強い削り。内面のナデはやや窪み。内底中央に墨痕のやや明瞭な墨書あり。欠け口にかなり釈文不明だが「舟」の可能性あり。	①やや粗い素地。赤褐色鉱物、パミス、石英等を含む。 ②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい赤褐色2.5YR5/4。断面やや明度高い。
120 杯(土師)		埋没土2片 器示部のⅤ	外底は弱い削り。口縁下半は無調整。内面はやや強いナデ。内底に墨痕のやや薄い墨書あり。「舟」か。	①素地やや粗い。赤褐色鉱物、角閃石等、種多量混入物を含む。②酸化焰。普通。 ③明赤褐色2.5YR5/6。ほぼ一様。
121 杯(土師)		4区2片 底 Ⅴ	外底中央はやや窪み、壺嘴状のヒビが若干見られる。内底は細かな凹凸が多い。内底に墨痕のやや薄い墨書あり。「舟」以外まだ文字があるようだ。	①素地やや粗い。赤褐色鉱物、角閃石等を含む。 ②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい橙2.5YR6/4。断面は明度高い。
122 杯(須恵)	口(13.8) 底(9.0) 高 4.0	Ⅴ+91cm 口 Ⅴ 底 Ⅴ	右回転ロクロ→回転ベッチり無調整。口縁部内側幅広い整った稜みがある。ロクロ痕弱い。内底に複数文字の墨書あり。1字は「子」。	①素地普通。パミス、角閃石、1mm大の礫を含む。 ②還元焰。普通。 ③灰7.5Y7/1。口縁外面は明度低い。
123 杯(須恵)	口 13.3 底 6.7 高 4.8	Ⅴ+19cm± 75cm±+80cm 口 Ⅴ 底 宍存	右回転ロクロ→回転ベッチり無調整。ロクロ痕は弱く特に内面は平滑。外底に墨書あり。「大塚」の可能性あり。	①素地普通。チャートまじりの砂粒を少量含む。 ②還元焰。やや硬調。 ③灰7.5Y6/1。外面には細かなムラ有。一様でない。
124 杯(須恵)	口 13.0 底 7.0~7.7 高 3.0	Ⅴ+90cm 口 Ⅴ 底 宍存	右回転ロクロ→回転ベッチり→外底縁部に弱い手持ちへつ削り。ロクロ痕弱い。外面口縁に墨痕のやや不明瞭な墨書があるが欠先部にかかり釈文不明。	①やや砂質でザラザラしている。片割、黒色鉱物を含む。 ②還元焰。普通。 ③灰白7.5Y7/1。口縁外面一部明度低い。
125 杯(須恵)	口(11.8) 底 7.2 高 3.0	4区4片± 埋没土(3片) 口 Ⅴ 底 Ⅴ	右回転ロクロ→回転ベッチり→外底縁部に強い回転ベッチり。内面に渦巻状のロクロ痕が残っている。外底に不明瞭な墨書「十」?	①素地普通。2~3mm大の長石まじりの磁石を含んでいる。②還元焰。やや軟調。 ③灰7.5Y6/1。口縁外端のみ明度低い。

遺物観察表

No.・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
126 蓋(須恵)	□ 17cm程か	4区埋没土 □ 小片	右回転クロロ。外面に黒色のやや鮮明な墨書あり。欠け口にかなり釈文は不明だが、「郷」の可能性あり。	①赤地普通。2mm大の雜がまじる。 ②やや軟調の黒還元。 ③灰濁7.5YR6/2。外面と内面は黒色味強い。
127 杯(須恵)	底7.5cm程か	4区埋没土 底 小片	右回転クロロ→回転へ切無調整か。内外面に墨書あり。外面はやや不鮮明。	①ややボソボソした赤地。1mm大の雜を少量含む。 ②還元。③灰白7.5Y8/1。ほぼ一様。
128 杯(須恵)	底 (8.5)	4区3片 図示部の写	墨一14とはほぼ同寸。内底墨書。釈文不明。	③灰白10Y8/1。ほぼ同寸。
129 高台付碗 (須恵)	□ 14.6 高 6.4 台 5.1	■ □ 写 底 完存	右回転クロロ→回転赤切り→やや雑な高台取付け。クロロ底は細かい。口縁はゆるやかに波状に歪んでいる。外面に不明瞭な墨書あり。「中」か。	①赤地やや弱い。黒色鉱物1mm大の雜等を含む。 ②還元。やや硬調。 ③灰白10Y8/1。底部内外面N7/0。
130 杯(須恵)	□(16.0)	■+90cm □ 写	右回転クロロ。内面はクロロ底弱い。口縁外面に黒色のやや明瞭な墨書があるが釈文は不明。	①赤地普通。1mm大の雜まじりの砂粒を含む。 ②還元。やや硬調。③灰白10Y7/1。外面一部と断面は赤灰色味をおびる。
131 杯(須恵)	□ 13cm程か	4区埋没土 □ 小片	右回転クロロ。クロロ底やや強い。内面に黒色の不鮮明な墨書あり。釈文不明。	①赤地やや軟弱。白色鉱物まじりの砂粒を少量含む。 ②還元。やや硬調。 ③灰10Y6/1。外面やや青色味をおびる。
132 杯(須恵)	□ 13cm程か	埋没土 □ 小片	右回転クロロ。クロロ底は外面でやや強い。内面には深い溝痕が流れている。外面墨痕明瞭な墨書の一部がかかる。	①赤地普通。粗砂を少量含んでいる。 ②還元。普通。 ③灰5Y6/1。
133 杯(須恵)	4区埋没土 □ 小片	右回転クロロ。口縁内面がやや摩滅している。口縁外面に墨書あり。釈文不明。	①赤地やや強い。パミスまじりの砂粒を含む。 ②還元。普通。③灰白10Y8/1。ほぼ一様。	
134 碗(須恵)	4区埋没土 □ 小片	右回転クロロ。クロロ底やや強い。口縁外面に黒色のやや薄い墨書の一部あり。釈文不明。	①赤地普通。混入物少ない。 ②還元。普通。 ③灰白7.5Y7/1。ほぼ一様。	
135 杯(須恵)	底 7cm程か	4区埋没土 底 写	右回転クロロ→残存部分では全面手持ちへつり。内底でややクロロ底強い。	①やや砂質の赤地。1mm大の白色鉱物を含む。 ②還元。普通。③灰白5Y7/1。断面まで一様。
136 杯(須恵)	底 9cm程か	4区埋没土 底 小片	右回転クロロ→外底縁部に回転へつり。口縁内面黒色の薄い墨書あり。釈文不明。	①赤地普通。1mm大の雜を少量含む。 ②還元。普通。 ③灰白2.5Y7/1。外面一部黒色味強い。
137 杯(須恵)	4区埋没土 口縁下半小片	右回転クロロ。クロロ底やや弱い。外面に墨痕と思われるきわめて不明瞭な部分あり。	①赤地普通。微細な黒色鉱物がまじる。 ②還元。普通。 ③灰白7.5Y7/1。ほぼ一様。	
138 杯(須恵)	4区埋没土 口縁下半小片	右回転クロロ。クロロ底弱い。外面に黒色の明瞭な墨書あり。欠け口にかかるが釈文「得万」。	①赤地やや砂質。混入物少ない。 ②還元。普通。 ③灰7.5Y6/1。	
139 杯(須恵)	4区埋没土 口縁下半小片	右回転クロロ。クロロ底やや強い。外面に黒色のやや不鮮明な墨書あり。欠け口にかなり釈文不明。	①赤地やや砂質。1mm大の雜まじりの砂粒を含む。 ②還元。普通。 ③灰白2.5Y7/1。	
140 杯(須恵)	底 8cm程か	4区埋没土 底 写	右回転クロロ→回転へ切り無調整か外面に黒色のやや不鮮明な墨書があるが欠け口にかなり釈文不明。	①赤地普通。チャートまじりの1~3mm大の雜を少量含む。②還元。普通。 ③灰濁5YR5/2。内面は形成弱い。
141 杯(須恵)	底 7.0	2区埋没土 底 写	右回転クロロ→回転赤切り無調整。内面はすべて剥落している。外底に黒色の明瞭な墨書の一部がかかる。	①赤地普通。黒色鉱物少量含む。 ②還元。普通。 ③灰白5Y6/1。断面は赤色味が強い。
142 杯(須恵)	底 6.7	■ 図示部完存	右回転クロロ→回転赤切り→やや雑な高台取付け内底の凹凸大きい。口縁の内外面の同じ方向に墨書あり。特に内面は墨痕不鮮明。釈文不明。	①赤地普通。2~3mm大のチャート、片岩、雷母類片まじりの粗砂の混入多い。 ②不十分な還元。 ③灰白5Y7/2。内外面に黒痕あり。
143 杯(須恵)	底 5.6	■+86cm± 8区埋没土 図示部ほぼ完存	右回転クロロ→回転赤切り無調整。クロロ底弱い。口縁外面に黒色のきわめて薄い墨書あり。欠け口にかなり釈文不明。	①赤地普通。1~2mm大の雜を少量含む。 ②還元。普通。 ③灰白10Y8/1。外面に黒痕あり。
144 杯(土師)	□13.3~13.7 底 8.9~9.6 高 3.4	■+86cm± 4区6片 写個体	外底は幅広く深い長い縦い溝。口縁部下半は無調整部分が広い。内面はやや粗い擦痕の残る強いナデで平滑に仕上げたのち暗文を施す。暗文は底部と口縁部で太さが著しく異なる。内底に墨書があった可能性あり。	①赤地や軟弱。パミス、角閃石、赤褐色鉱物等を少量含む。 ②酸化。普通。 ③濁2.5YR6/6。断面は黄色味が強い。

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
145 杯(土師)	口(12.2)	■+83cm 図示部の瓦	外底の削りはやや粗い。口縁上半は強いナデ下半は無調整内面も強いナデ。内底に墨痕の薄い墨書の一部がかかる。釈文不明。	①素地普通。パミスや多い。角閃石、石英を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙7.5YR7/3。内外面灰色味おびるムラあり。
146 杯(土師)	口(13.0)	4区2片 図示部の瓦	外底は幅広い削り。口縁部上半にナデ下半は無調整だが平滑。内面ナデ強いが器面に凹凸多い。内底に墨書があるが欠け口に欠け口釈文不明。	①素地普通。パミス、角閃石まじりの砂粒を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙7.5YR7/4。断面は明度高い。
147 杯(土師)	口(11.4)	4区埋没土 図示部の瓦	外底はやや幅広い削り。口縁下半は無調整部分広い。内面やや強いナデ。口縁は小さな波状の歪みあり。内底縁部は墨痕の明瞭な墨書の一部かかる。「郷」の可能性あり。	①素地普通。パミスまじりの砂粒を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい黄橙10YR7/3。断面一部灰色味が強い。
148 杯(土師)	口12cm程か	1区埋没土 図示部の瓦	外底は丁寧な削り。口縁下半は無調整内面は丁寧で強いナデ。内底は墨痕の明瞭な墨書の一部にかかる。釈文不明。	①素地普通。混入物やや少ない。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/3。内面はやや彩度高い。
149 杯(土師)	■底面直上±7cm± 4区2片 底部ほぼ完存		外底の削りは雑でやや強い。内面のナデは丁寧だが平滑さやや欠ける。やや大型の杯か。内底中央に墨痕の不明瞭な墨書あり。赤外線写真による釈文。「郷」と判明。	①素地普通。雲母細片、赤褐色鉱物等を含む。 ②酸化焰。やや硬調。 ③橙2.5YR6/6。内面やや黄色味をおびている。
150 杯(土師)	口(12.4)	埋没土(6片) 瓦個体	口縁外面は上半でナデ下半は屈曲状のヒビの上に弱い指頭圧痕。外底は方向不定の弱いへら削り。内面は強いナデだが器面に凹凸残る。口縁内縁は小さく肥厚。内底に墨書あり。墨痕明瞭だが欠け口に欠け口釈文不明。	①素地普通。角閃石、1~2mm大の礫等を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。断面までほぼ一様。
151 杯(土師)	埋没土 底 瓦		外底の削りは丁寧。口縁下半は無調整内面が強くナデ。内底中央に墨痕の明瞭な墨書あり。「山」か。	①素地普通。パミス、角閃石、1mm大の礫等の混入やや多い。②酸化焰。普通。 ③橙5YR6/6。内面にはムラあり一様でない。
152 杯(土師)	口(12.0) 高 3.5	■ 口 瓦 底 瓦	墨-109にはほぼ同ク。内底の隅に墨書と思われるきわめて不明瞭な墨痕あり。釈文不明。	①②③墨-109に同じ。
153 杯(土師)	口(13.0)	8区埋没土 図示部の瓦	外底の削りは方向不定で弱い。口縁上半に強いナデ下半は無調整で屈曲状のヒビが残る。内面のナデは丁寧。内底に墨痕の不鮮明な墨書あり。釈文不明。	①素地普通。赤褐色鉱物、パミス、石英等、種多な混入物を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい赤橙2.5YR5/4。
154 杯(土師)	口(14.0)	4区埋没土 口 瓦	外底の削りは弱く不明瞭。内底のナデは丁寧。口縁部の残り少く径不安。外底に墨痕のやや不鮮明な墨書あり。釈文不明。	①素地普通。パミスやや多く角閃石が少量まじる。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい黄橙10YR7/3。ほぼ一様。
155 杯(土師)	口(13.0) 高 3.5	埋没土9片 口 瓦 底 瓦	口縁外面のナデの幅が広い。外底は方向不定のやや弱い削り。内面強いナデ。外底に墨書があるが墨痕きわめて弱く釈文不明。	①②墨-107にほぼ同じ。 ③橙5YR6/6。ほぼ一様。
156 杯(土師)	2区埋没土± 4区埋没土 底 小片		外底に輪郭線のような粘土板をあてた痕があり内底に筆痕状の圧痕がある。歪み強い。内底は墨痕の明瞭な墨書の一部にかかる。釈文不明。	①素地普通。パミスやや多く角閃石を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。断面は明度高い。
157 杯(土師)	4区埋没土 底 小片		底部の厚さの差は大きい。内外面に墨痕のやや不明瞭な墨書がかかっている。どちらも釈文不明。	①素地普通。パミス、角閃石等を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。内面やや彩度低い。
158 杯(土師)	1区埋没土 底 瓦		平底気味の杯底部。内底のナデは雑で器面は平滑さ欠く。内底に墨痕のきわめて薄い墨書がかかる。複数文字あるあるようだが釈文不明。外面にも墨書の可能性のあるかすかな色ムラあり。	①素地普通。パミス、角閃石等を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙7.5YR7/4。内面やや彩度低い。
159 杯(土師)	埋没土 底 小片		外底の削りは息長い。内底のナデはやや強いが器面は平滑さ欠く。内外面とも墨痕の薄い墨書がかかる。釈文不明。	①素地やや粗い。赤褐色鉱物、礫石等の混入物やや多い。②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。ほぼ一様。

遺物観察表

No.・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
160 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	平底気味の底部縁辺小片である。内面やや平書きに欠けている。内面に墨痕のきわめて明瞭な外面はやや薄い墨書の一部がかかっている。釈文不明。	①素地普通。パミス、角閃石等を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい燈5YR6/4。断面は明度高い。
161 杯(土師)		埋没土 底 小片	外底の削りやや雑。底部中央付近の内外面にいずれも墨痕のやや薄い墨書がかかっている。両面釈文不明。本遺跡の出土品には例のない文字になりそうである。	①素地やや粗い。赤褐色鉱物、パミス等、やや大粒の混入物を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい燈2.5YR5/4。ほぼ一様。
162 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	縁線部が内側へやや強く肥厚している外底中央付近に墨痕の薄い墨書がかかっている。釈文不明。内底中央にも墨書の可能性のある墨痕風の不明瞭な変色部分あり。	①素地普通。パミス、角閃石、1mm大の礫等を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい燈5YR6/4。
163 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	平底気味の杯の底部縁辺の小破片である。内面は凹凸あり。内面に墨痕の明瞭な外面は薄い墨書の一部がかかる。釈文不明。	①素地普通。角閃石、パミス等の混入やや多い。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい燈7.5YR6/4。断面は明度高い。
164 杯(土師)		埋没土 底 小片	底部縁辺の小破片。外底の削り内底のナゲともやや強い。内外面に墨痕の薄い墨書の一部がかかっている。どちらも釈文不明。	①素地普通。赤褐色鉱物、石英、角閃石等の混入物を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい燈2.5YR6/4。ほぼ一様。
165 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	底部縁辺付近の破片である。外底の削りはやや弱い。内底のナゲは強い。内外面に墨痕の不明瞭な墨書がかかっている。どちらも釈文不明。	①粒子の細かい素地。混入物少ない。 ②酸化焰。普通。 ③灰青緑10YR6/2。ほぼ一様。
166 杯(土師)		4区埋没土 底 瓦	丸底気味の土器である。外底は一方向のやや粗い削り。内面は強いナゲが器面は平書き欠く。内底縁部に墨痕のやや薄い墨書あり。釈文不明。	①素地普通。パミス、1mm大の礫等を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい燈7.5YR5/4。内面やや明度高い。
167 杯(土師)		埋没土2片 底 瓦	内底には木葉痕状の圧痕。外底には丁寧なへつ削りの上に指面圧痕状の窪みが点在している。薄手の杯だが内底の凹凸が大きい。内底中央に墨痕の明瞭な墨書がかかる。釈文不明。	①素地普通。パミス、角閃石等を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい赤褐5YR5/4。内面は明度高い。
168 杯(土師)		3区礫層内 底 小片	外底やや強い削り。内底は細かな凹凸が著しい。内底は墨痕の不明瞭な墨書にかかる。釈文不明。	①素地普通。輝石、パミス等を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい燈7.5YR7/4。断面は明度高い。
169 杯(土師)		3区埋没土 底 小片	やや丸底気味の杯と思われる。外底の削りは丁寧。内底のナゲはやや強い。内底に墨痕のやや薄い墨書の一部がかかる。釈文不明。	①やや緻密な素地。角閃石、パミス、1mm大の礫等を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい燈7.5YR6/4。ほぼ一様。
170 杯(土師)		2区埋没土 底 小片	底部中央付近破片。外底の削り内底のナゲとも丁寧。外底に太い字で墨痕のやや明瞭な墨書の一部がかかる。釈文不明。	①素地普通。混入物少ない。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい燈5YR6/4。ほぼ一様。
171 杯(土師)		埋没土 底 小片	外底の削り内面のナゲともやや丁寧。内底に墨書の一部がかかる。釈文不明。	①素地普通。パミス、1mm大の礫等を少量含む。 ②酸化焰。普通。③にぶい燈5YR6/4。
172 杯(土師)		8区 底 小片	外底の削りやや強い。内面は平書き欠く。内底は墨書の一部がかかる。釈文不明。	①素地普通。パミス、輝石等を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい燈7.5YR6/4。断面やや明度高い。
173 杯(土師)		埋没土 底 小片	外面の削り内面のナゲともやや丁寧だが器面に凹凸あり。内底中央は墨痕のやや薄い墨書がかかる。釈文不明。	①角閃石、パミスまじりの砂粒やや多い。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい燈7.5YR7/3。ほぼ一様。
174 杯(土師)		8区埋没土 底 小片	外底には彫痕状の細かいヒビが残る。縁辺に雑な削り。内面ナゲ粗い。内底中央に墨痕明瞭な墨書あり。釈文不明。	①素地やや粗い。赤褐色鉱物、角閃石、チャート等の混入やや多い。②酸化焰。やや軟弱。 ③燈2.5YR6/6。断面は彩度低い。
175 杯(土師)		2区埋没土 底 小片	薄手の杯である。外面の削り内面のナゲとも丁寧。内底中央は墨痕のやや不明瞭な墨書にかかる。釈文不明。	①素地普通。パミス等微細な混入物を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい燈5YR6/4。内面やや明度高い。
176 杯(土師)		埋没土 底 小片	厚さの差が大きい平底の杯である。外底の削りはやや雑。内底縁部のナゲが強い。内底中央付近に墨書の一部がかかっている。釈文不明。	①素地普通。パミス、角閃石等を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい燈7.5YR7/3。外底は黒斑部分にあたる。



No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
177 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	底部中央付近の破片と思われる。外底に扇筒状のヒビが残っている。内底に墨痕のやや明瞭な細子の墨書の一部がかかっている。釈文不明。	①胎土普通。赤褐色鉱物、角閃石等を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい赤褐色2.5YR5/4。ほぼ一様。
178 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	外底の削り内底のナデともに丁寧。平底気味の杯である。内底は墨痕やや不明瞭な墨書の一部にかかる。釈文不明。	①素地普通。雲母細片等微細な混入物を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。ほぼ一様。
179 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	内外底ともやや丁寧な作りようだ。内底は墨痕の明瞭な墨書の一部がかかる。釈文不明。	①素地普通。混入物少ない。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。断面は明度高い。
180 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	底部中央付近の破片である。外底の削りやや鋭い。内底は平滑さやや欠ける。内底に墨痕のやや明瞭な墨書の一部がかかっている。釈文不明。	①素地普通。気泡が目立つ。バミス、角閃石等を含む ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。ほぼ一様。
181 杯(土師)		2区2片 底 小片	外底の削りは粗くやや強い。内底は細かな凹凸多い。内底と墨痕の一部できわめて薄い墨書あり。釈文不明。	①ややボンボンした素地。赤褐色鉱物、角閃石、1mm大の礫等を含む。②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。内面は明度高い。
182 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	やや厚手で丸底気味の杯。外底の削り内底のナデともに丁寧で平滑。内底中央付近に墨痕のやや不明瞭な墨書の一部がかかる。文字になるか不明。	①素地普通。角閃石、バミス等を少量含む。 ②酸化焰。やや硬調。 ③にぶい赤褐色5YR5/4。外面に灰色味をおびるムラ有
183 杯(土師)		3区埋没土 底 小片	やや丸底気味の杯か。外底の削り内底のナデともやや鋭い。内底は墨痕の薄い墨書の一部にかかる。釈文不明。	①素地普通。バミス、雲母細片等を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/3。ほぼ一様。
184 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	外底の削りは固く不明瞭。内底は丁寧なナデ。内底は墨痕のやや薄い墨書の一部がかかる。釈文不明。	①素地普通。混入物少ない。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙7.5YR7/3。ほぼ一様。
185 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	外底の削りやや強い。内底は丁寧なナデ。内底縁部に墨痕の明瞭な墨書の一部がかかる。釈文不明。	①素地普通。バミス、石英、1mm大の礫等を少量含む ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙7.5YR7/4。断面まで一様。
186 杯(土師)		埋没土 底 瓦	平底気味の杯である。外底の削りは丁寧。内面のナデは強く平滑さ欠く。内底は墨痕の明瞭な墨書の一部がかかる釈文不明。	①素地普通。バミス、角閃石等の混入やや多い。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。内面やや彩度低い。
187 杯(土師)		3区埋没土 底 小片	やや平底気味の薄手の杯。外底の削りはやや鋭い。内底にへら状の圧痕が残る。内底中央付近に墨痕のやや薄い墨書の一部がかかっている。釈文不明。	①素地普通。輝石、バミス等微細な混入物を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/3。断面はやや明度高い。
188 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	外底に扇筒状の細かく深いヒビが広く残り、部分的に鋭い不規則な削りを加える。内底中央付近に墨痕の不明瞭な墨書の一部がかかる。釈文不明。	①やや粗い素地。赤褐色鉱物、輝石、バミス等の混入物やや多い。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙2.5YR6/4。内面やや明度低い。
189 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	外底の削りはやや弱い。内底はやや平滑。内底中央付近に墨痕のきわめて薄い墨書がかかっている。釈文不明。	①素地普通。角閃石、バミス等を少量含む。 ②酸化焰。やや硬調。 ③外面灰黄褐色10YR4/2。内面にぶい橙7.5YR6/3。
190 杯(土師)		埋没土 底 小片	外面中央の窪みに扇筒状のヒビが残っている。内底中央付近に墨痕の不明瞭な墨書の一部がかかっている。釈文不明。	①素地普通。赤褐色鉱物、石英、バミス等細多な混入物を含む。②酸化焰。普通。 ③明赤褐色2.5YR5/6。内面やや彩度低い。
191 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	底部中央付近の破片である。外底の削りやや強い。内底はやや平滑。内底に墨痕の一部がかかっている。釈文不明。	①素地普通。バミス、角閃石等を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/3。ほぼ一様。
192 杯(土師)		襷層内 底 小片	平底薄手の杯である。外底の削りは細かいが断面は凹凸残り口縁下半は無調整。内面ナデはやや強い。内底左端に墨痕のやや薄い墨書「大」。	①素地普通。輝石等微細な混入物を含む。 ②酸化焰。普通。 ③橙5YR6/6。内面やや彩度低い。
193 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	外底の削り内面のナデはやや丁寧。内底墨痕のやや薄い墨書の一部かかる。	①素地普通。赤褐色鉱物、輝石等を含む。②酸化焰。普通。③にぶい橙5YR6/4。内面やや彩度低い。
194 杯(土師)		1区襷層内 底 小片	薄手でやや丸底気味の底部破片。内面やや平滑さ欠く。内底中央付近にきわめて不明瞭な墨書の可能性のある墨痕状の色ムラあり。	①素地普通。混入物少ない。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。ほぼ一様。

遺物観察表

No.・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と胎形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
195 杯(土師)		3区埋没土 底 小片	底部中央付近の破片と思われる。外底の削り内底のナゲともやや丁寧。内底に墨痕の薄い墨書の一部がかかる。釈文不明。	①素地普通。パミス、輝石等微細な混入物を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい焼5YR6/4。ほぼ一様。
196 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	外底の削り内底のナゲとともに鋭い。内底中央付近に墨痕のやや明瞭な墨書のごく一部がかかっている。釈文不明。	①やや粗かな素地。角閃石、赤褐色鉱物等を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい焼5YR6/4。ほぼ一様。
197 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	外底の削りやや細かい。内底のナゲは強いが平滑さやや欠ける。内底の中央付近に墨書のごく一部がかかっている。釈文不明。	①素地普通。パミス、輝石、1~2mm大の礫等を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい焼5YR6/4。断面は明度高い。
198 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	外底の削りやや弱い。内底やや平滑さ欠く。内底に墨痕のやや薄い墨書の一部かかる。欠失部が大半で釈文不明。	①素地普通。混入物少ない。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい焼5YR6/3。ほぼ一様。
199 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	平底の杯の底部中央付近の破片である内底のナゲは丁寧。内底に墨痕のきわめて薄い墨書あり。釈文不明だが「大」の可能性がある。	①素地普通。1mm大のパミスを含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい焼5YR6/4。
200 杯(土師)		埋没土3片 底 小片	歪みのある破片で底部のどの部位か不明瞭。内底に墨痕のやや薄い墨書の一部がかかっている。釈文不明。	①素地普通。パミスやや多い。角閃石等を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい焼7.5YR7/4。断面は影度低い。
201 杯(土師)		埋没土 底 小片	底部縁辺の小破片。外底の削り内底のナゲともやや丁寧。内底中央付近に墨痕の薄い墨書の一部がかかっている。釈文不明。	①素地やや粗い。赤褐色鉱物、角閃石等混入やや多い。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい焼5YR6/4。ほぼ一様。
202 杯(土師)		埋没土 底 小片	外底の削りは緩で弱い。中央に虫膚状のヒビが若干残っている。内底のナゲは強い。内底中央に墨痕のきわめて薄い墨書がかかっている。釈文不明。	①素地やや粗い。赤褐色鉱物、石英、チャート等を含む。 ②酸化焰。普通。 ③明赤焼2.5YR5/6。断面までほぼ一様。
203 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	底部中央付近の破片である。外底に型腐削の細かなヒビが残る。内底のナゲ強いが平滑さ欠ける。内底墨痕のやや明瞭な墨書の一部かかる。釈文不明。	①素地普通。外面の1mm大の石英やや目立つ。赤褐色鉱物、角閃石等を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい焼2.5YR6/4。断面までほぼ一様。
204 杯(土師)		8区埋没土 底 小片	外面の削りは細かい。内面のナゲ強く器厚の差が大きい。内底に墨書の可能性ある虫膚状のやや不明瞭な色ムラあり。	①素地やや粗い。パミス、角閃石、1~3mm大の礫等混入物多い。②酸化焰。やや軟調。 ③明赤焼2.5YR5/6。断面までほぼ一様。
205 杯(土師)	□ 13cm程か	4区埋没土 □ ㍻	外底の削りは細かい。口縁上半は丁寧なナゲ下半は無調整だが平滑。内面丁寧なナゲ。外底に墨痕のやや明瞭な墨書の一部がかかっている。	①素地普通。パミス、角閃石等を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい黄焼10YR7/3。一様。
206 杯(土師)	□ 13cm以上か	4区埋没土 □ ㍻	外底やや強い削り。口縁上端のみナゲで下半は無調整だが平滑。内面のナゲもやや粗。外底は墨痕の明瞭な墨書の一部にかかる。釈文不明。	①素地普通。緻密なパミス、輝石等を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい焼7.5YR7/3。ほぼ一様。
207 杯(土師)		埋没土 □ 小片	歪みのある小片で怪。傾きとも不安。口縁下半は無調整か。外面墨痕の不明瞭な墨書あり。欠口にかかり釈文不明。	①素地普通。赤褐色鉱物、石英、パミス等幾多な混入物を含む。 ②酸化焰。やや軟調。③にぶい焼5YR6/4。一様。
208 杯(土師)	□ 13cm程か	4区埋没土 □ ㍻	外底の削り弱い。口縁下半は無調整。内面のナゲは丁寧。外底に墨痕の不鮮明な墨書の一部がかかる。釈文不明。	①素地普通。パミス、輝石等微細な混入物を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい焼5YR6/4。
209 杯(土師)	□ 12cm程か	4区埋没土 □ ㍻	外底の削りは丁寧。口縁下半は無調整だが平滑。内面のナゲも丁寧。外底に墨痕のやや不鮮明な墨書の一部あり。釈文不明。	①素地普通。パミス、雲母細片、角閃石等の混入やや多い。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい焼7.5YR7/4。断面は明度高い。
210 杯(土師)	□ 12cm程か	4区埋没土 □ 小片	外底は弱い削り。口縁上端は丁寧なナゲで下半は無調整。内面は強いナゲ外底に墨痕の不明瞭な墨書あり。欠口にもかかり釈文不明。	①素地普通。雲母細片等微細な混入物を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい焼5YR6/4。
211 杯(土師)		埋没土 □ 小片	内面と口縁外面のナゲははやや粗。外面口縁下半は方向不定でわずかにナゲた部痕が残る。外面は墨痕のきわめて不明瞭な墨書の一部がかかる。釈文不明。	①素地普通。赤褐色鉱物、石英、パミス等幾多な混入物多い。 ②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい赤焼2.5YR5/4。ほぼ一様。

No.・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
212 杯(土師)		埋没土 口縁下縁小片	外面は無調整で器面は平滑さ欠く。内面は強いナデ。外面は黒底の明瞭な黒書の一部にかかる。釈文不明。	①赤褐色鉱物目立ち石英等がまじる。 ②酸化焰。やや軟調。 ③明赤焼7.5YR5/4。ほぼ一様。
213 杯(土師)		4区埋没土 口小片	外面口縁上半は強いナデだが下半は無調整で器面不整。内面は強いナデ外底縁部から口縁下縁にかけて黒底のやや不明瞭な黒書の一部かかる。釈文不明。	①黒地普通。角閃石、バミス等微細な混入物を含む。 ②酸化焰。普通。 ③によい橙7.5YR7/3。断面は明度高い。
214 杯(土師)		4区埋没土 底瓦	外面やや摩滅し整形痕は不明瞭。内面のナデは丁寧。外底に黒底のやや不明瞭な黒書の一部かかる。釈文不明。	①ボソボソしたやや粗い素地。角閃石、石英等含む。 ②酸化焰。普通。 ③によい橙5YR7/4。外面にはムラあり。
215 杯(土師)		2区埋没土 底小片	平底気味になると思われる。外面の削りやや強い。内面のナデは丁寧。外底縁部に黒底の明瞭な黒書あり。欠け口にかかり不明瞭だが「金」か。	①素地普通。小粒のバミス、石英、輝石等を含む。 ②酸化焰。普通。 ③明赤焼5YR5/6。内面やや明度高い。
216 杯(土師)		4区埋没土 底小片	外面の削り内面のナデとも丁寧である外面は黒底のきわめて明瞭な黒書の一部にかかる。釈文不明。	①素地普通。バミス、角閃石等を含む。 ②酸化焰。普通。 ③によい橙7.5YR6/3。断面は明度高い。
217 杯(土師)		4区埋没土 底小片	平底の小型の杯と思われる。外底の削り弱く内面のナデは丁寧。外底は黒底不鮮明な黒書の一部かかる。釈文不明。	①素地普通。角閃石、チャート、バミス等種多量な混入物を含む。 ②酸化焰。普通。 ③によい橙5YR6/4。断面は明度高い。
218 杯(土師)		4区埋没土 底小片	やや丸底気味の大型の杯と思われる。外底の削りは幅大内底のナデは丁寧。外底の縁部に黒底の明瞭な黒書の一部かかる。釈文不明。	①素地普通。バミス、輝石等を少量含む。 ②酸化焰。やや硬調。 ③によい橙7.5YR7/4。ほぼ一様。
219 杯(土師)		3区埋没土 底小片	外底は凹凸内面はやや平滑。外面黒書と思われる鮮明な黒色部分があるが他の付着物との区別難しい。	①素地普通。バミス、角閃石等まじる。 ②酸化焰。普通。 ③によい橙5YR6/4。
220 杯(土師)		4区埋没土 底小片	外底の削りは細かい。内面は平滑に仕上げてある。外底に黒底のやや不明瞭な黒書あり。欠け口にかかり釈文不明。	①素地普通。バミス、雲母細片等微細な混入物含む。 ②酸化焰。普通。 ③によい黄緑10YR7/3。内面やや赤色味をおびる。
221 杯(土師)		2区埋没土 底小片	平底気味の杯である。外底はやや平坦だが内底は細かな凹凸多い。外底は黒底のやや不明瞭な黒書にかかっている。釈文不明。	①素地普通。角閃石、バミス、石英等種多量な混入物を含む。 ②酸化焰。普通。 ③によい橙7.5YR7/3。ほぼ一様。
222 杯(土師)		4区埋没土 底小片	底面中央が薄い。外底削り内底ナデともやや丁寧。外底中央に黒底明瞭な太字の黒書の一部がかかる。釈文不明。	①素地普通。バミス、角閃石等を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③によい橙5YR6/3。断面明度高い。
223 杯(土師)		埋没土 底小片	やや丸底気味の器形と思われる。外面削り内面ナデとも丁寧。外底に黒底のきわめて不鮮明な黒書あり。欠失部分も広く釈文不明。複数文字の可能性あり。	①素地普通。バミス、角閃石まじりの砂粒を含む。 ②酸化焰。普通。 ③によい橙7.5YR7/4。ほぼ一様。
224 杯(土師)		1区埋没土 底小片	平底気味の小型杯と思われる。内面のナデは丁寧。外底は黒底のやや不明瞭な黒書の一部かかる。釈文不明。	①素地普通。角閃石等微細な混入物を含む。 ②酸化焰。普通。 ③によい橙7.5YR7/4。ほぼ一様。
225 杯(土師)		4区埋没土 底小片	薄手で平底気味のやや大型の杯と思われる。外底に黒底のやや薄い細字の黒書の一部がかかる。釈文不明。	①やや緻密な素地。バミス、輝石等を少量含む。 ②酸化焰。やや硬調。 ③によい赤褐5YR5/3。ほぼ一様。
226 杯(土師)		2区埋没土 底小片	平底の杯。外底は息長い丁寧な削り内面強いナデ。外底に黒底のやや不明瞭な黒書。欠け口にかかり釈文不明。	①素地普通。バミス、角閃石等を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③によい橙7.5YR7/4。一様。
227 杯(土師)		4区埋没土 底小片	外底の削りはやや弱い。内底のナデは丁寧で強い。外底縁部は黒底の明瞭な黒書の一部がかかる。釈文は不明だが口縁部から読める可能性あり。	①素地やや軟成。赤褐色鉱物、雲母細片等微細な混入物を含む。 ②酸化焰。普通。 ③によい橙7.5YR6/3。ほぼ一様。
228 杯(土師)		4区埋没土 底小片	丸底気味のやや大型の杯と思われる。内面のナデ丁寧。外底に黒底のやや不明瞭な黒書の一部がかかる。釈文不明。	①素地普通。赤褐色鉱物、輝石等を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③によい橙5YR6/4。断面は明度高い。
229 杯(土師)		4区埋没土 底瓦	平底のやや大型の杯と思われる。外底の削り内面のナデともやや丁寧。外底は黒底のきわめて不明瞭な黒書の一部かかる。釈文「郷」の可能性もある。	①素地普通。バミス、角閃石等の混入物や多い。 ②酸化焰。普通。 ③によい橙7.5YR7/4。ほぼ一様。

遺物観察表

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
230 杯(土師)		4区継ぎ内 底 小片	外底の削り内面のナデとも丁事。外底に墨痕のやや不鮮明な墨書の一部あり釈文不明。	①素地普通。混入物少ない。 ②酸化剤。普通。 ③にぶい焼5YR6/4。断面は明度高い。
231 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	外面にやや鋭い削り内面にやや丁事なナデ。墨痕のやや不明瞭な墨書の一部にかからず。墨痕が黒色の強い土ムラが区別できない部分もある。釈文不明。	①素地やや緻密。バミス、角閃石等を少量含む。 ②酸化剤。普通。 ③にぶい焼5YR6/4。断面は明度高い。
232 杯(土師)		8区埋没土 底 小片	やや丸底気味の杯の底部中央付近の破片。内面やや平滑。外底に墨痕の不明瞭な墨書の一部がかかる。釈文不明。	①素地普通。輝石、バミス等を少量含む。 ②酸化剤。普通。 ③焼5YR5/6。内面やや彩度低い。
233 杯(土師)		4区埋没土 底 瓦	厚手でやや丸底気味の土器。外底は細かく丁事な削り。内面ナデも丁事で平滑に仕上る。外底中央に墨痕のやや不明瞭な墨書。欠け口にかかり釈文不明。	①素地普通。バミス、角閃石まじりの細砂を含む。 ②酸化剤。普通。 ③にぶい焼5YR6/4。断面は明度高い。
234 杯(土師)		1区埋没土 底 小片	外底のナデは丁事だが器面は細かな凹凸あり。外底の中央は墨痕のきわめて薄い墨書の一部がかかる。釈文不明。	①素地普通。バミス、雲母細片等を少量含む。 ②酸化剤。普通。 ③にぶい焼7.5YR7/4。断面は彩度低い。
235 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	やや丸底気味の小型の杯。外底は一方の強い削り。内面やや丁事なナデ。外底に墨痕不明瞭な墨書。釈文不明。	①素地普通。輝石、バミス、赤褐色鉱物等を含む。 ②酸化剤。普通。 ③にぶい赤焼2.5YR5/4。断面は明度高い。
236 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	器面やや摩滅し整形痕は不明瞭。外底中央付近に墨痕のきわめて薄い墨書があるが釈文不明。	①ややザラツタ素地。角閃石、バミス等微細な混入物あり。②酸化剤。やや硬調。 ③にぶい焼7.5YR6/4。ほぼ一様。
237 杯(土師)	口(12.6) 高(2.9)	埋没土 口 瓦 底 瓦	外底の削りは息長く丁事。内底のナデは強いが中央に凹凸あり。底縁部に明瞭な墨痕があるが、文字にはならない。	①素地普通。バミス、1mm次の鏝等を少量含む。 ②酸化剤。やや硬調。 ③にぶい焼7.5YR7/3。外周一部に黒斑あり。

1号溝出土遺物(本文88頁～ P.L-34～) ※は平面図に遺物ドットあり。+は断面からの高さ

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
1 蓋(須恵)	口 13.4 高 2.2 総 4.9	■断面直上 瓦個体	右回転クロー→天井部中央回転へ削り→丁事な鋸取付け。クロー痕はやや強い。	①素地やや緻密。黒色鉱物少量含む。他の混入物少。 ②やや硬調の還元剤。③灰白N7/0。ほぼ一様。外周一部に黄白色の還元釉が薄降状にかかっている。
2 蓋(須恵)	口 15.0 高 2.6 総 4.2	■断面直上 ほぼ先形	右回転クロー→天井部削い回転へ削り。→やや丁事な鋸取付け。クロー痕弱い。	①素地普通。石灰、バミス等のまじり細砂を少量混入。 ②還元剤。やや軟調。 ③灰5Y6/1。内面縁部と外面は黒色味が強い。
3 蓋(須恵)	口 14.8 高 3.7 総 4.2	■断面直上 ほぼ先形	右回転クロー→天井部回転へ削り→鋸取付け。厚手で重量である。内面天井部は平滑。	①素地砂質。混入物少ない。 ②還元剤。普通。 ③灰白7.5Y7/1。断面まで一様。
4 蓋(須恵)	口(19.0) 高 3.8 総(7.6)	埋没土 図示部の瓦	右回転クロー→天井部回転へ削り→丁事な鋸取付け。内面は方向不定の布状のナデ痕が残っている。	①素地普通。2mm次の鏝等混入物やや多い。 ②還元剤。普通。 ③青灰5B5/1。口 縁部は明度低い。
5 蓋(須恵)	口(17.6) 高 3.1 総(6.2)	埋没土 紐 瓦 天 瓦	右回転クロー→天井部広範囲の回転へ削り→丁事なつまみ取付け。クロー痕弱い。内面中央付近はやや摩滅しており墨痕と思われる付着物あり。	①素地普通。混入物少ない。 ②還元剤。普通。 ③灰N6/0。断面までほぼ一様。
6 杯(須恵)	台(10.4)	埋没土 図示部の瓦	右回転クロー→外底全面の回転へ削り→高台の削り出し。内底に一方の指面のナデ痕が残っている。	①素地普通。黒色鉱物目立つが他の混入物は少ない。 ②やや硬調の還元剤。 ③灰10Y4/1。断面は明度高い。
7 高台付杯 (須恵)	口(17.2) 高 4.6 台 13.4	■断面直上+ 口 瓦 底 瓦	右回転クロー→外底全面丁事な回転へ削り→高台取付け。内底きわめて平滑。厚手で重量。	①素地普通。鉄灰、黒色鉱物等を含む。 ②還元剤。普通。 ③灰白7.5Y7/1。断面は黄色味をおびている。
8 高台付杯 (須恵)	口(17.6) 高(12.6) 台 4.4	■断面直上 瓦個体	右回転クロー→外底全面回転へ削り→丁事な高台取付け。内面は凹凸多い。	①素地普通。細砂以外の混入物少ない。 ②還元剤。普通。 ③灰白10Y7/1。口 縁外周は黒色味をおびている。
9 杯 (須恵)	口(14.6) 高 4.3	■断面直上 口 瓦 底 瓦	右回転クロー。外底は全面に細かな手持ちへ削り→高台取付け。縁部も丸く仕上げている。内底でクロー痕強い。	①素地普通。細砂以外の混入物少ない。 ②還元剤。普通。③灰白7.5YR/1。断面まで一様。 ④外面は器面の剥落すずんでいる。

№・器種	計測値 (cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
10 高台付杯 (須恵)	口(13.3) 高 4.4 台 10.0	埋没土 口 瓦 底 瓦	右回転ロクロ→外底全面回転へつ削り→高台取付け。高台内側の縁鋭い。ロクロ痕弱く器面平滑。二次加熱の可能性あり。	①素地粗い。粗砂を少量含んでいる。 ②軟調還元焰。締まりに欠く。 ③灰白2.5Y/8/L。外面に明度の低いムラあり。
11 杯(須恵)	口(10.4) 高 7.8 底 3.8	■底面直上 瓦割体	右回転ロクロ→回転へつ削り→外底縁部と口縁下端に弱い手持りへつ削り。内面のロクロ痕強い。	①素地普通。チャートまじりの砂粒を含む。 ②やや硬調の還元焰。 ③灰白5Y7/L。明度の低いムラあり。
12 杯(須恵)	口 11.6~ 12.0 底 6.8 高 3.3~3.6	■+17cm 完形	右回転ロクロ→回転糸切り→外底縁部と体部下縁に左回転でのへつ削り。やや厚手で重量。	①素地普通。バミス、黒色鉱物等の混入物を含む。 ②やや硬調の還元焰。 ③内面灰10Y6/L。外面に黒色味をおびるムラあり。
13 杯(須恵)	口 13.4 底 8.1 高 4.8	■+18cm ほぼ完形	右回転ロクロ→回転へつ削り→外底全面と口縁下半に左回転のへつ削り。内面立ち上りにアテ具痕が沈線状に通っている。	①素地やや砂質。1mm大の礫、石英等を含む。 ②還元焰。普通。 ③内外面灰白10Y8/L。断面までほぼ一様。
14 脚付盤 (須恵)	台上 6.6	埋没土 図示部 瓦	右回転ロクロ。杯部と台部の接合部に同心円状の深い溝を流らせている。内底平坦。	①素地粗い。粗砂まじる。 ②やや軟調の還元焰。 ③灰白2.5Y7/L。断面は明度低い。
15 脚付盤 (須恵)	台 12.3	■底面直上 図示部ほぼ完形	右回転ロクロ→杯部と台部接合。内底には一方方向の指痕によるナゲ。台部内面はやや粗い擦痕が通っている。	①素地普通。チャート、白色砂粒等の混入物や多い。 ②還元焰。普通。 ③胎青灰10BG4/L。断面までほぼ一様。
16 杯(須恵)	口 14.0~ 13.4 底 8.0 高 3.8~3.5	■底面直上 ほぼ完形	右回転ロクロ→回転糸切り→外底縁部と口縁下端に弱い回転へつ削り。厚手でやや重量。内面ロクロ痕やや弱い。口縁の歪み強い。	①素地普通。白色砂粒の目立つ細砂を含んでいる。 ②やや硬調の還元焰。 ③灰10Y6/L。外面に明度の低いムラあり。
17 杯(須恵)	口 12.3~ 12.6 底 6.6 高 3.8~3.5	■底面直上 ほぼ完形	右回転ロクロ→回転糸切り→外底縁部手持りへつ削り。ロクロ痕弱く内底は平坦。	①素地やや粗い。白色砂粒、赤褐色鉱物の混入物や多い。 ②還元焰。普通。 ③胎青灰5B3/L。断面は赤色味が強い。
18 杯(須恵)	口 12.3 底 6.6 高 3.8	■底面直上 ほぼ完形	右回転ロクロ→回転糸切り無調整。ロクロ痕強い。内底平坦。	①素地やや砂質。片岩粒、黒色鉱物、バミス等の混入物や多い。②やや軟調の還元焰。 ③灰白5Y7/L口縁外端黒色味をおびている。 ④内底中央と口縁内端の摩滅がすすんでいる。
19 高台付杯 (須恵)	口(17.2) 高 7.1 台 12.0	■底面直上 瓦割体	右回転ロクロ→外底全面に回転へつ削り→丁寧な高台取付け。ロクロ痕弱い。口縁外面の沈線は順正。	①やや粗くザラザラしている。砂粒を含んでいる。 ②軟調の還元焰。 ③灰白5Y8/L。内面下半は黒色味をおびている。
20 杯(須恵)	口 14.1~ 13.6 底 9.5 高 3.8	■底面直上+ +15cm ほぼ完形	右回転ロクロ→回転糸切り→外底縁部と口縁下半に回転へつ削り。ロクロ痕強いが内底は平坦。厚手で重量。外底に不明瞭な磨痕「磨」。	①素地やや砂質。3mm大の礫混入。白色砂が少量まじる。 ②還元焰。普通。 ③灰白5Y7/L。断面までほぼ一様。
21 高台付杯 (須恵)	口 12.4 高 4.3 台 8.5	口縁上半瓦欠く	右回転ロクロ→回転糸切り→丁寧な高台取付け。ロクロ痕弱いが内面に強い擦痕が通っている。内底中央に一方方向の指痕のナゲ。口縁外面に墨書「磨」。	①素地やや砂質。バミスマじりの砂粒を含む。 ②やや硬調の還元焰。 ③オーパー灰2.5GY6/L。外面黒色味の強いムラ強い。
22 円面碗 (須恵)		埋没土上半 瓦	脚は6で外面に線割が入っている。透かしは刀子状の鋭い工具で削り取っている。碗の部分に墨痕が残っているが研磨は少ない。	①素地やや砂質。白色砂粒以外の混入物少ない。 ②還元焰。やや硬調。 ③青灰5BG6/L。ほぼ一様。
23 杯(土師)	口 14.4 高 5.3	完形	外面の削りは強く丁寧。底部付近では一方方向となる。内面のナゲも丁寧。おじれのような歪みあり。	①素地普通。バミス、輝石まじりの砂粒を含む。 ②硬調の酸化焰で焼き締まる。 ③にぶい橙7.5YR7/4。断面は灰色味をおびている。
24 杯(土師)	口 12.7~ 13.0 高 4.3	完形	外面の削りは丁寧で強く無調整部分を残さない。内面のナゲも丁寧。口縁部は小さく波状に歪んでいる。	①素地普通。バミス、輝石、赤褐色鉱物等を少量含んでいる砂粒を含む。②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。赤色味をおびるムラあり。
25 杯(土師)	口(16.0) 高 5.7	■底面直上 瓦割体	外面の削りは短くやや重。無調整部分が広く残っている。内面のナゲは丁寧で一部に強い擦痕が通っている。口縁内側の屈曲の形状は一様でない。	①素地普通。バミス、輝石、赤褐色鉱物等を少量含んでいる。②酸化焰。やや硬調。 ③にぶい橙7.5YR6/4。ほぼ一様。 ④外面にやや不鮮明な墨書あり。釈文不明

遺物観察表

No・図種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と図形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
26 手づくね	口(6.0) 高 2.3	図示部の写	指環状底状の凹凸の上に不規則で弱い指環のナダの痕跡が残っている。	①素地普通。パミス、角閃石等が少量まじる砂粒を含む。②酸化焰。普通。 ③にぶい黄褐色10YR7/3。断面は黒色味が強い。
27 手づくね	高(2.7)	図示部の写	内面は指環状底状の凹凸が大きいが外面は平滑に仕上げている。	①素地やや粗い。赤褐色鉱物、石英、パミス等を少量含む。②酸化焰。やや軟調。 ③黒褐色7.5YR3/1。断面はやや赤色味をおびている。
28 手づくね (土師)	底 5.6	図示部の写	外底は平滑だが指環状底状の細かな凹凸が多い。	①27に似た胎土である。気泡がまじる。 ②酸化焰。やや硬調。 ③にぶい赤褐色5YR5/4。一樣でない。
29 杯(土師)	口(9.0) 底 3.0	■+9cm 口 写 底 写	外面は強く細かい削りで無調整部分を残さない。内面は強いナダで底部では方向不定となっている。	①素地普通。砂粒を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい赤褐色5YR5/4。ほぼ一樣。
30 杯(土師)	口(10.0)	埋没土 写個体	外面の削りは弱く不明確。内面は平滑。底部の厚さに比べ端部は尖っている。	①素地普通。1mm程度のまじる砂粒やや多い。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい赤褐色5YR5/3。断面は明度高い。
31 杯(土師)	口(10.3) 高 3.6	埋没土 口 写 底 写	外面の削りは細かくやや丁寧。内面ナダも丁寧に本目状の磨痕が残る。内面する口縁部形状は一樣でない。	①素地普通。パミスのやや多い砂粒を含んでいる。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい褐色7.5YR6/4。
32 杯(土師)	口 9.8	埋没土 口 写 底 写	外面の削りは幅広く強い。内面のナダ丁寧で、口縁部には明瞭な磨痕が通っている。	①素地普通。混入物少ない ②やや軟調の酸化焰。 ③にぶい赤褐色5YR5/4。外底は黒色。
33 杯(土師)	口(11.9) 高 3.3	■底面直上 図示部の写	外面の削りは幅広く息長い。無調整部分を残さない。口縁部に小さな重みあり、傾き不安。	①素地普通。泥粒の混入やや多く赤褐色鉱物等を含んでいる。 ②酸化焰。普通。 ③褐色5YR6/6。断面は彩度低い。
34 杯(土師)	口(11.4) 高 3.2	埋没土 口 写 底 写	外面の削りは弱いが丁寧で無調整部分を残さない。内面ナダも丁寧だが強面は平滑に仕上げている。	①素地普通。パミスまじりの砂粒を少量含む。 ②やや軟調の酸化焰。 ③褐色5YR6/6。内面やや明度低い。
35 杯(土師)	口(11.6) 高 3.3	埋没土 口 写 底 写	外面の削りは幅広くやや粗い。底部中央には外面に粘土接合の段。内面は強い指環痕があり補修痕と思われる。	①素地普通。パミス、輝石まじりの砂粒を含む。 ②やや軟調の酸化焰。 ③にぶい褐色7.5YR5/4。ほぼ一樣。
36 杯(土師)	口 11.6 高 3.1	■底面直上 写個体	外底の削りは弱く幅広く、内面ナダは丁寧で底部中央には方向不定の指環痕が残っている。	①素地普通。パミス、輝石まじりの砂粒やや多い。 ②やや軟調の酸化焰。 ③にぶい赤褐色5YR5/4。
37 杯(土師)	口(10.6) 高 3.0	■底面直上 写個体	外底の削りはやや強い。口縁部のナダは上半だけで無調整部分が残っているが比較的平滑。内面丁寧なナダで口縁部にやや粗い磨痕が通っている。	①素地普通。パミス、輝石等のまじる砂粒を含む。 ②やや硬調の酸化焰。 ③外底褐色5YR6/6。内面にぶい褐色5YR7/4。 ④内底やや摩滅している。
38 杯(土師)	口 10.7 高 3.6	■底面直上 写個体	外面の削りは強い。口縁下半は無調整内面のナダも丁寧で表面は平滑に仕上げている。	①素地普通。7mm程度の磨を抜かず製している。 ②やや硬調の酸化焰。 ③褐色5YR6/6。灰褐色のムラ広い。
39 杯(土師)	口(12.4) 高 3.6	■+35cm 口 写 底 写	外面の削りは幅広く強い。内面のナダは丁寧で表面は平滑。	①素地やや砂粒でガラガラしている。パミス、輝石等を含む。②やや硬調の酸化焰。 ③にぶい褐色7.5YR7/4。断面はほぼ一樣。
40 杯(土師)	口 12.2 高 3.8	■底面直上 ほぼ完形	外面の削りは強く息長い。中央では一方。無調整部分やや広い。内面ナダは目の細かな磨痕が通っている。	①素地普通。パミスの目立つ砂粒やや多い。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい褐色7.5YR6/4。ほぼ一樣。
41 杯(土師)	口(11.8) 高 3.8	口 写 底 写	器面摩滅して整形手法は不明確。外底の削りは強い。	①胎子のきわめて細かな素地。赤褐色鉱物等を少量含む。 ②酸化焰。普通。③褐色7.5YR7/6。
42 杯(土師)	口(13.8) 高 3.6	■+14cm 口 写 底 写	外面の削りやや強い。口縁下半に指環状の窪みが残っている。内面平滑。ヘラ掻き状の焼成後のキズが内底縁部から口縁下半にかけて多く見られる。	①素地普通。輝石、パミス等のまじる砂粒やや多い。 ②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい褐色7.5YR7/4。ほぼ一樣。
43 杯(土師)	口 12.0~ 12.6 高 3.7	■底面直上 完形	外底の削り強く息長い。薄手に薄手に仕上げているが削りすぎの補修箇所が確認できる。口縁部の無調整部分は広い。内底はやや凹凸が多い。	①素地普通。パミス、輝石、2mm程度の磨を含む。 ②硬調の酸化焰で焼き締まる。 ③褐色2.5YR6/6。ほぼ一樣。
44 杯(土師)	口(10.6)	埋没土 図示部の写	外面の削りは強いがやや雑。内面のナダは丁寧で全体に磨痕が通っている。	①素地普通。パミス、輝石まじりの砂粒やや多い。 ②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい褐色5YR7/4。断面は彩度低い。

No.・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
45 杯(土師)	口 13.6 高 3.5	■底面直上 ほぼ完成	外面の削りは幅広く息も長い。内面ナデは口縁部に布目状の摩痕が残っている。器面の平滑さにやや欠けている。	①素地普通。パミスや多く輝石のまじる砂粒を含む。 ②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい楕7.5YR6/4。断面は形状低い。
46 杯(土師)	口 12.4 高 3.3	×個体	外底の削りはやや粗。内面も平滑さにやや欠けている。口縁端部は内傾へ小さく折れるが形状は一律でない。内底に焼成前のへく掻き「×」。	①素地普通。パミス、輝石まじりの砂粒やや多い。 ②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい楕5YR6/4。赤色味、黒色味をおびるムラあり様でない。
47 杯(土師)	口(12.6)	■底面直上 ×個体	外面の削りは強いがやや粗。内面のナデは丁寧。舞手で経量。底部中央は補修時の指痕が残っている。	①素地普通。パミス、石英等まじる砂粒やや多い。 ②酸化焰。やや軟調。 ③楕5YR6/6。内面はやや彩度低い。
48 杯(土師)	口(12.8) 高 3.4	×個体	外面の削りは幅広く強い。内面のナデは丁寧。内底中央付近に接合痕状のヒビが明確に残っている。	①素地普通。混入物は少ない。 ②硬調の酸化焰。③にぶい楕7.5YR5/3。口縁外面やや赤色味をおびている。
49 杯(須恵)	底(9.6)	■底面直上 図示部の×	外底の削りの痕跡から右回転クロク使用の可能性あり。内外面にへく掻きを施すが外面の深み(クロク痕?)上は抜けている。内面黒色処理。	①素地普通。赤褐色鉱物まじりの粗砂含んでいる。 ②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい黄楕10YR7/3。内面光沢のやや弱い黒色。
50 貝類煮 (須恵)	口 9.8	■底面直上 口完成	右回転クロク。外面のクロクロ板はカキ目状でやや雑な2本の沈線が通っている。内面のクロクロ板は弱い。	①素地普通。泥粒がまる。黒色鉱物まじりの砂粒を少量含む。②還元焰。やや硬調。③灰白10Y7/1。外面一部で黒色味をおび白色の降降状がかかる。
51 貝類煮 (須恵)	底下 5.6	■底面直上 図示部 完成	頸部は正置して右下りのクロクロ板が残っている。砂粒の移動はきわめて少ない。	①素地やや粗い。チャートの目立つ砂粒やや多い。 ②還元焰。普通。 ③灰10Y6/1。断面までほぼ一様。
52 甕(須恵)	口(26.0) 頸(16.8)	■底面直上 図示部の×	右回転クロクか。口縁部内面は平滑。口縁上の摩痕と割傷が混んでいる。	①素地砂質。白色砂粒等の混入物を少量含む。 ②還元焰。やや軟調。 ③灰白7.5Y7/1。断面までほぼ一様。
53 短頸煮 (須恵)	口(11.0)	図示部の×	右回転クロク。口縁部端正な作り。外面の摩痕は粗く、カキ目に近い。	①素地普通。混入物少ない。 ②還元焰。普通。 ③灰白10Y7/1。外面一部明度低い。
54 甕(須恵)	胴(19.2)	■底面直上 図示部の×	右回転クロクか。外面上半のクロクロ板は工具痕である。内面に接合痕が残っている。	①素地やや砂質。黒色鉱物を少量含んでいる。 ②やや硬調の還元焰。③灰白10Y7/1でほぼ一様。外面上半に薄く霜降状の輪がかかっている。
55 短頸煮	肩(19.6)	埋没土 図示部の×	肩縁部の外側に輪状に輪がかかっている。有蓋の短頸甕と思われる。右回転クロク。	①素地やや粗い。チャートの目立つ砂粒やや多い。 ②還元焰。普通。 ③灰7.5Y6/1で一様。降降状は灰黄色。
56 甕(須恵)	口(26.0)	■底面直上 図示部の×	肩部外面は叩きの上に幅広く弱い同心円状のへく削り。内面にアナ具痕が残っている。口縁部のクロクロ痕やや強い。	①素地普通。2mm次の片岩の混入やや多い。 ②還元焰。普通。 ③灰白N7/0。断面は明度高い。
57 甕台 (土師)	口 8.8 高(5.6)	■底面直上 図示部の×	台部の3孔は上側に穿たれている。杯部内面は細部で弧状。中央で斜放射状の磨き。台部内側は粗いハケ目状の整形痕が残っている。	①素地やや粗い。パミス、石英、1mm次の磁等類多量混入物やや多い。②酸化焰。普通。 ③にぶい楕7.5YR7/3。赤色味、灰色味の強い部分あり様でない。
58 甕(土師)	口(10.2) 胴(12.0)	埋没土 図示部の×	外面の削りは弱い。口縁部は丁寧なナデ。胴部内面のナデは指痕状の痕みが残っている。	①素地やや雑。輝石、石英まじりの砂粒を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい楕5YR6/4。断面は灰色味が強い。
59 甕(土師)	口(20.0)	埋没土 図示部の×	外面の削り強い。内面平滑さ欠ける。小破片からの復元で怪、傾きとも不安。	①素地やや粗くボソボソしている。赤褐色鉱物等の混入多い。②中性焰気味。やや軟調。 ③にぶい黄楕10YR7/2。赤色味をおびるムラあり。
60 甕(土師)	口(24.5)	■底面直上 図示部の×	口縁外面にヒビ状の接合痕が残る。器面の摩痕すずみ。整形痕は不明瞭。	①素地やや粗くボソボソしている。パミス、赤褐色鉱物まじりの粗砂の混入多い。 ②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい黄楕10YR5/3。
61 甕(土師)	口(16.0) 頸(14.4)	■底面直上 図示部の×	外面の削りは幅広く。口縁部に丁寧なナデを施している。小破片からの復元で怪き不安。	①素地やや砂質。赤褐色鉱物、石英等の混入物やや多い。②中性焰気味。やや硬調。 ③にぶい黄楕10YR7/2。外面は赤色味の強い部分あり。
62 甕(土師)	口(26.0)	埋没土 図示部の×	外面は削り、ナデとも粗く器面に凹凸が多い。口縁部の形状も一定でない。内面は丁寧なナデで平滑に仕上げている。	①素地やや粗くボソボソしている。パミス、輝石等が混入している。②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい黄楕10YR7/3。外面一部に黒色味、赤色味をおびるムラあり。

遺物観察表

No.・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
63 壺(土師)	口(19.8) 高 7.5	※底面直上 図示部の写	外面の削りは鋭い。内面のナデは丁寧。口縁から頸部にかけて厚手。	①素地や砂質。バミス、1mm大の鐵、赤褐色鉱物等、種多量な混入物含む。②酸化焰。普通。 ③にぶい黄褐10YR6/3。
64 壺(土師)	口(19.6) 頸(16.8)	埋没土 図示部の写	頸部内面に接合痕が残っている。外面の削りは幅広く強い。口縁部下端にはナデに使用した工具痕が小さな段を作って通っている。	①素地普通。1～2mm大の片岩、チャート等の混入多い。 ②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい橙7.5YR7/3。口縁内側は黒色味が強い。
65 壺(土師)	口(19.6)	図示部の写	外面の削り強く内面のナデは丁寧。口縁部は外面で深い沈線が両側部は上方へ肥厚している等、特徴的である。	①素地普通。チャートまじりの1mm大の礫が混入している。 ②酸化焰。やや硬調。 ③にぶい橙5YR7/4。内面一部灰色味をおびている。
66 壺(土師)	口(20.8) 頸(18.4)	埋没土 図示部の写	外面の削りは丁寧で細かい。内面のナデも丁寧。口縁外面に接合痕が明瞭に残っている。	①素地やや砂質。砂粒以外の混入物少ない。 ②やや軟調の酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR7/4。内面は彩度低い。
67 壺(土師)	口 13.1 頸 11.7	※底面直上 口 ほぼ完存 写	二次焼熱により器壁割れ落ちている。内面にヘラ状工具による痕ができています。	①素地やや粗い。赤褐色鉱物、バミスまじりの砂粒を含む。②酸化焰。軟調。 ③にぶい橙7.5YR7/4。外面黒灰状のムラあり。
68 壺(土師)	口(22.4)	※+50cm 図示部の写	外面の削りの下に指頭痕の確認できる所がある。内面のナデは丁寧。口縁端部は小さく外方へ肥厚しているが形状は一定でない。	①素地普通。1mm大の礫まじりの砂粒や多い。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙7.5YR7/4。断面は灰色味をおびている。
69 甌 (須恵)	底(12.2)	沈線跡重畳部 図示部の写	器形は不明瞭。内面の仕上げの粗なことから図示部をツバのつく瓶の下半と想定した。この場合クロコ回転は左となる。端部の割落がすすんでいる。	①素地やや砂質。赤褐色鉱物の混入目立つ。 ②中性焰。普通。 ③にぶい黄褐10YR6/3。断面は赤色味が強い。
70 壺(須恵)	口(40.0)	※底面直上 図示部の写	頸部に叩きの痕跡が残っている。沈線、磨き波状とともに丁寧。内面は深い2条の焼成前のヘラ掻きが深く刻まれている。	①素地やや砂質。白色砂粒の混入やや多い。 ②還元焰。普通。 ③青灰5B5/1。断面中央は明度低い。
71 置き甌	※ 図示部少片	※ 図示部少片	突き口部分。外面に指頭の強いナデ。内面は幅広いヘラ状工具によるナデの痕跡が残っている。	①素地やや粗くボソボソしている。砂粒、角閃石等の混入物多い。②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい橙7.5YR6/4。黒色味をおびつムラあり様でない。④二次焼熱の影響強い。

2号溝出土遺物(本文95頁～ P L-35)

No.・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
1 杯(須恵)	口(10.8) 底 6.7 高 3.7	口 写 底 完存	右回転クロー→回転ヘラ切り→外底縁部に弱い回転へ削り。口口度はやや強く同心円状に通っている。	①素地普通。輝石鉱物の混入多い。②還元焰。やや硬調。③灰白10Y7/1。ほぼ一様。 ④内面の凸部は磁が込んだように磨いて摩滅している。外面凸部も若干摩滅している。
2 杯(須恵)	口(12.0) 底 6.6 高 3.7	埋没土6片 口 写 底 完存	右回転クロー→回転糸切り→外底縁部回転ヘラ削り口口直や強い。内底は平坦。外底に焼成前の線刻「X」。	①素地普通。輝石鉱物の混入多。2mm大の礫混入。 ②還元焰。普通。 ③青灰5B6/1。断面赤灰色。
3 杯(須恵)	口(11.6)	埋没土2片 図示部の写	右回転クロー。内面上半のみやや強い口口痕が残る。口縁外縁に2条の平行沈線が通っている。	①素地やや粗い。白色砂粒を含んでいる。 ②還元焰。やや軟調。 ③灰7.5Y6/1。ほぼ一様。
4 盤(須恵)	口(23.0)	図示部 小片	内面は細かなカキ目状口口痕を残して粗い手持つヘラ削りを施している。内底は幅太のカキ目痕が残る。	①素地普通。混入物少ない。 ②中性焰か。焼調で焼き結も多。 ③灰白2.5Y8/2。彩度の高い部分も広い。
5 杯(土師)	口 10.4	埋没土 写側体	外面の削り幅広く強く方向不定。内面のナデも強く細かな磨板が全体に通っている。	①素地普通。2mm大のチャート散見するが他の混入物少ない。②酸化焰。普通。 ③にぶい赤褐2.5YR5/4。内面は彩度低い。
6 杯(土師)	口 10.6	埋没土2片 図示部の写	外面の削りはやや雑で鋭い。内面のナデは強いが器面に平滑さ欠く。	①素地普通。輝石まじりの砂粒を少量含んでいる。 ②酸化焰。普通。③にぶい赤褐5YR5/4。ほぼ一様。
7 杯(土師)	口(12.5) 高 4.1	埋没土2片 口 写 底 写	外面削りはやや粗いが無調整部分を残さない。内面器面は細かな凹凸ある。	①素地普通。赤褐色鉱物、3mm大のチャート等種多量な混入物含む。②酸化焰。普通。③にぶい橙7.5YR6/4。外面は赤色味や灰色味をおびるムラあり。
8 杯(土師)	口(18.2)	埋没土3片 写側体	外面の削りは雑で弱い。無調整部分広い。内面のナデは丁寧で平滑に仕上げている。	①素地普通。バミス、輝石等まじり砂粒やや多い。 ②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい橙7.5YR7/4。断面は彩度低い。



No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
9 壺(土師)	口(14.0)	埋没土 図示部の写	外面は新落著しく整形度は不明。二次焼成。	①黒地やや粗い。バミス、輝石等雑多な混入物のまじる砂粒多い。②酸化焼。やや硬質。 ③にぶい黄緑10YR7/3。灰色味をおびるムラ広い。
10 壺(土師)	口(22.4)	埋没土 図示部の写	結合度が内面に明確に残っている。外面頸部は幅広いへら先で削りに近い強い磨きを施す。内面のナデはやや粗。	①黒地粗い。バミス、輝石まじりの砂粒やや多い。②酸化焼。やや硬質。 ③灰黄緑10YR6/2。ムラ多く一様でない。
11 台付甕(土師)	底 10.6 高 4.3	埋没土 図示部の写	外面の削りはナデがつけるような感じで器面は凹凸が砂粒の移動は少ない。厚手。	①黒地やや粗い。バミス、1mm程度の雑多な混入物多い。②酸化焼。普通。 ③にぶい黄7.5YR6/4。内面明度高い。
12 甕(土師)	口(26.0)	埋没土3片 図示部 小片	器面の削り強い。内面も強く粗いナデ。小破片からの復元で、様、継ぎともに不安。	①黒地やや粗い。バミスまじりの粗砂の混入やや多い。②酸化焼。普通。 ③にぶい黄5YR6/4。外面に黒染あり

## 6号清出土遺物(本文97頁 PL-35)

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
1 高台付杯(須恵)	口(15.1) 底(7.4) 高 5.8	口 写 底 写	右回転クロー回転糸切り-高台取付け。クワ口横割い。	①黒地やや粗い。チャート1mm程度の雑多な混入。②やや軟調の還元焼。 ③灰白7.5Y7/1。一部黒色味をおびている。

## 8号清出土遺物(本文100頁 PL-35)

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
1 皿(磁器)	高台 4.4	東側埋没土 底 写	横掛け。贅付き部は割落。1mm大の白色粉が付着。貫入はやや粗く気泡も大粒。見込に植物意匠と思われる施文。縁辺に隠線配している。	③釉調は灰白色。外面はやや青色味。内面はやや青色味をおびる。呉須は黒色味をおびた黄色。 ④初期伊万里。1630~40年代。
2 蓋(陶器)	天(7.6) 口(5.4)	中央埋没土 図示部の写	上面のみ長石釉を施している。細かな美しい貫入が見られる。瀬戸・美濃系。	①やや軟密で混入物のない良好な土である。 ②やや硬質。 ③灰白7.5Y8/2。釉は透明で貫入は黒色味を帯びる。
3 碗(磁器)	底(4.0)	底 面直上 体部下半 写 底 写	贅付き部の割落著しい。外底に大明年刻みずしの跡。貫入は細かく少ない。	③釉調は透明感にやや欠ける乳白色。呉須はくすんだ藍色に黄色。 ④肥前または波色見系。18C後半。
4 湯呑茶碗(磁器)	高台 3.4	底面直上 図示部の写	贅付きは輪ハダ。貫入は見られず気泡もきわめて細かい。見込文様あり。3と同一意匠の染付け。	③釉調は僅かに青色味がかかった乳白色。呉須は淡い藍色に黄色。 ④肥前系。1780~18C前半。
5 小碗(磁器)	口(7.4) 高 3.9	口 写 底 完存	貫入はほとんど見えない。贅付き部は露胎。外面高台部に2条、口縁下部に1条の隠線を施文。内面は無地。	③釉調はやや濁った乳白色。呉須は薄い藍色。露胎部分や断面は褐色味をおびている。 ④肥前。18C。
6 碗(陶器)	台 4.6	底面直上 図示部ほぼ完存	贅付き部は割落多く不明瞭だが輪ハダか。外面はやや厚い鉄釉。内面は長石釉で粗い貫入が見られる。	①灰白色のガサガサした黒地。 ②外面は胎釉調の黄色。内面は僅かに緑色をおびた透明釉で貫入は鉄サビ色。④瀬戸・美濃系。
7 仏花瓶(磁器)	高台 5.2	中央埋没土 底ほぼ完存	贅付き部に細かい白色砂粒が付着。釉はやや厚い。二次焼成により器面は荒れている。	③器面は透明感を欠く乳白色。内面は黄褐色。呉須はくすんだ藍色。 ④肥前。18Cか。
8 碗(陶器)	中央埋没土 口 小片	貫入はやや細かい。外面の染付けは黄色良い。風乾意匠の施文か。内面は無地。	③釉調はやや青色味をおびた澄んだ灰白色。呉須は藍色に黄色。 ④肥前。陶胎染付け。18C前半。	
9 碗(陶器)	口 写	東側埋没土 口 写	貫入はやや細かい。外面の染付け文様ははっきりしない。内面は無地。	①黒地は砂質。③釉調はくすんだ青灰色。呉須は薄く黄色も悪い。④肥前。陶胎染付け。18C前半。
10 皿(陶器)	口(10.8) 底 6.4 高 2.0	写 底 6.4 高 2.0	右回転利用の削り出し高台は端部が尖る。外面は露胎の部分あり。円蓋ビンの痕跡が残る。	①モグサ土。1~2mm大の白色礫を含む。 ③釉調はややオリブ色味をおびた灰白色。 ④瀬戸・美濃系。
11 皿(陶器)	台(7.0)	中央埋没土 図示部の写	高台削り出しはやや鋭きに欠ける。内面に円蓋ビンの痕跡が残っている。贅付き部は割落多い。釉はやや厚い。	①モグサ土のややポソポソした胎土。気泡まじり。②普通。 ③長石釉で風土野馬の黄色。④瀬戸・美濃系。
12 灯明皿(陶器)	口(7.6) 底(5.1) 高(2.1)	図示部の写	外底に糸切り痕と思われる不明瞭な傷痕あり。カエリ部分は荒れている。重ね焼きがリング状に残る。鉄釉を施すが外面では薄くハケ塗りのような痕が残っている。	①緻密な黒地。混入物もなく良好。 ②やや硬質。 ③灰白10Y8/1。釉は褐色で厚い部分では光沢がある。

遺物観察表

No.・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
13 火鉢 (陶器)	口 30cm程か	底面直上 口縁片	外面には右回転ロクロを利用したような弱い削りの痕が残っている。おろし目を類するような鋭い工具で正格子の文様を加えている。	①ボンボソしたやや粗い素地。バミス、赤褐色等の混入物や多い。 ②酸化焰、または中性焰。やや硬調。 ③器面いぶしたような黒褐色。断面赤色味をおびる。 ④ザツリしたモグサ土状。黒色砂粒を少量含む。 ⑤硬調やや焼き過ぎる。 ⑥胎調は鉄焼で光沢は弱い。 ⑦最大径 2mm程の気泡がまじる。 ⑧やや緑色味をおびた深い褐色。
14 燗鉢 (陶器)	底(13.6) 高(4.8)	図示部の写	おろし目やや幅太で1単位11本以上。残存部分では摩滅は少ない。瀬戸・美濃系か。	
15 ガラス瓶	底(7.8)	図示部の写	上げ底状の底部は厚みが著しく異なっている。	
16 鉢	鉢 0.3 身軀 2.6	小片	切先側か歪付近か不明。砥ぎ減りは少ない。両曲のやや少ない様と思われる。	
17 刀子	鉢 0.4	小片	錆化進み旧状は不明。砥ぎ減りは著しいようだ。直線的な身よりやや大型の刀子と推定。	
18 砥石	長 5.9 幅 2.9 厚 1.5 重 43g		4面使用だが表裏面が主な使用面。両端面は割れ口で風化が進んでいる。	①砥石 (安貴流紋岩)。

9号溝出土遺物 (本文101頁 P L-35)

No.・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
1 海苔茶碗 (磁器)	口( 8.8) 台( 3.6)	+ 9cm 口 写 底 写	畳付きは輪ハズ。外面に質の輪軸磨意匠の染付け。貫入は見られず気泡はごく細かい。	①胎土はやや透明感のある乳白色。貝類はやや滑んだ飯色。 ②肥前。18C後半～19C初。 ③貝類はやや深い藍色に発色。 ④肥前系。19世紀前半～。
2 海苔茶碗 (磁器)	口( 7.0) 台( 4.0) 高 5.2	埋没土2片 写個体	畳付き部輪ハズ。口縁外面のみ染付けを施している。	
3 皿(陶器)	口(11.2) 台( 6.5) 高( 2.4)	埋没土 写	畳付きは剝落後摩滅している。外底は露胎部分あり。細かな貫入あり。内底に意匠不明の鉄絵あり。	①灰白色のガサガサした素地。 ②貫入内は一部で鉄サビ色をしている。鉄絵部分は藍色に発色。③瀬戸・美濃系。
4 砥石	幅 2.9 厚 1.3 重 39g	東側埋没土	割れ口を除く5面使用。表裏面が主な使用面で裏面のみ平坦である。	①砥石 (安貴流紋岩)。

10号溝出土遺物 (本文102頁 P L-35)

No.・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
1 杯(土師)	口 12.3 高 4.0	口 写 底 完存	外面の削りは弱く粗い。口縁下半に弱い圧痕が空っている。内面のナダは丁家。底部中央に焼成後と思われる穿孔あり。内底は摩滅している。	①粒子の細かな素地。内凹石、バミスまじりの砂粒を含む。 ②酸化焰。軟調でややしり久く。 ③におい煙7.5YR7/3。
2 長頸瓶 (灰釉)	頸 5.8 胴 18.4	図示部ほぼ完	右回転ロクロ。外面胴部はコテ状工具使用のロクロ痕が残る。薄手で軽量。器面は荒れており輪は一部で割れている。二次被熱の可能性。	①黒色砂粒まじりの細砂を少量含む。 ②還元焰。硬調。 ③明青灰10BG7/1。輪は淡い緑色で一部コバルト色の発色をしている。

12号土坑出土遺物 (本文106頁 P L-35)

No.・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
1 葉(須臾)	口(11.0)	口 写	右回転ロクロ。ロクロ度は弱い。外面に丁寧な輪軸きざり状文が巡っている。	①ややザラザラした粗い素地。1mm大の石灰、バミス等を含む。②還元焰。普通。 ③青灰5B5/1。断面まで一様。
2 杯(土師)	口 12.5 高 4.3	口 写 底 完存	外底の削りは弱いが丁寧。内面のナダも丁寧で器面平滑。焼成時にできたと思われる著しい歪みあり。	①素地普通。チャート、バミス等を含む。 ②還元焰。軟調。③におい煙10YR7/2。黒色味をおびる部分広く一様でない。
3 杯(土師)	口 11.6 高 3.7	ほぼ完形	外底の削り細かく丁寧だがやや弱い。内面のナダはやや摩滅で底部には部分的に磨きを施している。	①素地や砂質。1mm大のバミスを少量含む。 ②還元焰。硬調。 ③におい煙10YR7/2。内外面に黒斑あり。
4 杯(土師)	口 10.2 高 4.9	完形	外面の削りは方向不定で雑で強い。内面は粗いナダで器面の平滑さ欠く。口縁は大きな波状の歪みあり。	

## 水田出土遺物 (本文109頁 P L-35)

No・器種	計測値 (cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
1 碗(酒器)	台 8.9	高台 裂 底 完存	左回転口クロ。回転利用の高台取付けで切り離し痕は消える。口クロ痕弱。器面全体に摩滅している。	①ザラザラのやや粗い素地。チャート、パミスまじりの砂粒多い。②還元不充分だがやや硬調。③にぶい黄緑10Y/R7.3。断面は灰色。

## 船載磁器 (本文117頁)

No・器種	計測値 (cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
1 碗(青磁)		表土 口 小片	外面に運弁を劃している。内面は平滑。軸はやや薄い。やや大粒の気泡を含むが透明である。龍泉窯。	軸はあまり黄色の良くない淡青緑色。口縁上端のみやや褐色をおびている。胎土は灰白色。
2 碗(青磁)		表土 口 小片	外面にへらによる刻文の簡略な運弁あり。内面は平滑。軸は薄い。気泡は細かく細買入が部分的に見られ透明である。龍泉窯系。	軸は淡褐色。胎土は灰白色で明度の低い芯ができています。
3 碗(青磁)		表土 口 小片	細片からの推定だが簡略で起伏の大きな運弁を劃している。内面平滑。軸はやや厚くやや粗い買入が見られる。気泡は細かく透明である。	軸は淡い灰色。結手の美しい黄色。胎土は白色。
4 碗(青磁)		表土 胴下~底裡片	外面に運弁を劃している。軸はやや厚い。やや粗い買入が僅かに見られる。気泡はやや細かく乳濁してやや透明さに欠けている。	軸は淡い青緑色で結手に近い黄色。胎土は灰白色。
5 碗(青磁)		表土 胴下部破片	外面下半は露胎。外面はへら削り再調整のやや強い稜の上に櫛歯文。内面は意匠不明の劃文あり。軸は薄い。やや粗い買入あり。気泡は細かく少ない。透明である。	軸は淡青緑色。胎土は灰白色で一部に明度の高い芯がある。
6 碗(青磁)		表土 体部下小片	内面へらによる意匠不明の刻文あり。外面は強いへら削りによる再調整の痕ができています。軸はきわめて薄い。細買入が多く赤色味をおびている。気泡はやや細かく透明である。	軸はオリーブ色味をおびた淡褐色。胎土は灰白色。

## 遺構外出針木製品 (本文118頁 P L-37)

No・器種	計測値 (cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
1 底板	長(12.6) 幅(4.7) 厚0.8		周縁10mmの位置に側板を受けた痕跡がわずかに観察できる。推定復元径は約16cmの小皿品と思われる。加工度はほとんど残っていない。	①ヒノキ属。柾目材。
2 底板	長(11.6) 幅(4.7) 厚0.8		周縁11mmの位置に、深さ3mmの側板受けを削り込んでいる。復元推定径は22cm。内外面とも平滑である。	①ヒノキ属。柾目材。
3 底板	長(14.1) 幅(3.2) 厚0.8		周縁11mmの位置に、深さ2mmの側板受けを削り込んでいる。復元推定径は21cm。	①ヒノキ属。柾目材。 ④内面の割落がすすんでいる。
4 底板	長20.4 幅(2.9) 厚0.8		周縁9mmの位置に、深さ2mmの側板受けを削り込んでいる。	①ヒノキ属。柾目材。 ④外面に弱い火焼を受けていて、一部炭化している。
5 底板	長(18.0) 幅(7.0) 厚0.7	5片を接合	炭素化がすすみ加工痕は不明瞭。側面に釘穴状の窪みあり、復元推定径は18.5cm。	①ヒノキ属。柾目材。 ④外面は広範囲に黒褐色の付着物あり。
6 底板	長(14.5) 幅(2.8) 厚0.6	4片を接合	側面が不明瞭だが、復元推定径は21.5cmほどと思われる。加工痕は残っていない。	①マツ属。板目材。 ④炭痕不明。
7 底板	長(20.8) 幅(6.0) 厚0.7	6片を接合	周縁11mmの位置に、深さ3mmの側板受けを削り込んでいる。内外面ともに規則的な櫛歯が見られる。復元推定径22cm。	①ヒノキ属。柾目材。
8 底板	長(16.2) 幅(4.8) 厚0.8		片割が著しく剥落している。復元推定径20cmほどの。	①ヒノキ属。板目材。 ④炭痕不明。

遺物観察表

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
9 不明 (板状品)	長(9.9) 幅(5.5) 厚 1.0		木口部分は片側が残存している。片側は割落がすすんでいる。	①ケヤキ。柱目材。 ②表裏不明。
10 不明 (角柱状品)	長 17.7 幅 1.6 厚 1.3		端部は不明瞭だが、完形品と思われる。一辺に粗い削り込みを加えている。また開口部の幅が一方で9×2mm、他方で7×5mmの孔が貫通している。	①ヒノキ属。板目材。 ④一部に火熱を受けて変色している。
11 不明 (角柱状品)	長(13.2) 幅 2.1 厚 1.2		遺存状態は良く、完形に近いものと思われる。側面の一方のみ裾ぎ込んだように平滑になっている。	①マツ属。柱目材。 ④各面に火熱を受けており、一部で著しく変色している。
12 不明 (角柱状品)	長 26.2 幅 4.5 厚 2.8	ほぼ完形	遺存状態はきわめて良い。側面に幅広い加工痕が残っている。両端部はやや摩滅している。	①モミ属。板目材。
13 不明 (板状品)			曲物の底版に似ているが、平坦な木口面が残存している。釘穴状の貫通孔が数多く見られるが、虫喰いの痕と区別できない。遺存状態は悪い。	①ヒノキ属。板目材か。
14 杭	長(20.5) 径 5.1~4.4		下端は四方から削り出している。表皮は残存しない。	①ヤマガタ。心持ち材。小さく両曲している。
15 杭		2片を接合	下端は五角から削り出し、粗い工具痕が明確に観察できる。表皮は残存しない。	①モモ。心持ち材。節の多い材である。

遺構外出土遺物 (本文120頁 P L-37)

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
1 杯(土師)	口(10.4) 高 3.5	B区表土2片 Ⅴ個体	外面の削りは息長く強い。外底中央に押圧痕状の凹みあり。内面のナデは丁寧。	①やや緻密な素地。パミスまじりの粗砂を少量含む。 ②酸化焰。やや硬調。 ③焼5YR6/6。一様。
2 杯(土師)	口(10.6) 高 3.0	B区表土2片 Ⅴ個体	外底の削りは細かくやや短。口縁のナデは上端のみ。底み著しく傾き、径ともに不安。	①素地普通。パミス、角閃石等を少量含む。 ②酸化焰。やや硬調で焼き過ぎる。 ③焼2.5YR6/6。黄褐色の強いムラあり。
3 杯(土師)	口(12.0) 高 4.4	B区表土3片 口Ⅴ 底Ⅴ	外底の削りは規則的でやや強い。内面のナデは丁寧だが底部はやや平滑欠く。内底に「×」になるとと思われる不明瞭な焼成後の線刻あり。	①素地普通。角閃石、石英、1mm大の礫を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③におい焼5YR6/4。赤色味、黒色味をおびるムラ多く一様でない。
4 杯(土師)	口(13.0)	A区k-11 グリッド 口Ⅴ底Ⅴ	口縁外面には強い2条の沈線が通る。外底の削りはやや強。内面は平滑。内底に凍てはぜ状の剥落あり。	①やや粗い素地。赤褐色鉱物、パミス、角閃石等を含む。 ②酸化焰。やや硬調。 ③におい焼7.5YR7/3。内面やや明度低い。
5 鉢(土師)	口 14.1 高 6.1~5.7	A区e-0 グリッド Ⅴ個体	外面の削りは細。口縁外面と内面に幅太の線で不明瞭な磨きを施している。内底は不明。	①素地普通。1~2mm大の石英、パミス等やや大粒の混入物多い。②酸化焰。普通。 ③におい赤褐2.5YR5/4。断面は黄色味強い。 ④内底の割落すずむ。
6 蓋(須恵)	口(15.2)	B区表土2片 図示部のⅤ	右回転クロー。天井部は広い範囲に回転利用のへら削り。内面はやや強いクロー痕が通っている。内面中央はやや摩滅している。	①素地緻密。黒色鉱物を少量含む。 ②還元焰。やや硬調。 ③黄灰5BG6/1。断面は黄色味をおびている。外周にのみ黄灰色の剥離痕がある。
7 甕(土師)	口(18.6) 頸(13.2)	C区6~7a層 2片 図示部のⅤ	外面の削りはやや粗い。口縁と内面のナデは丁寧で細かな滑りが規則的に通っている。	①素地普通。輝石、パミス、チャート等の混入物が多い。②還元焰。普通。 ③焼2.5YR5/6。内面は彩度低い。
8 甕(土師)	口(16.2) 頸(13.6)	B区表土 図示部のⅤ	外面はきわめて細かなハケ目状の擦面口縁のナデは強くS字状に似た屈曲をしている。内面のナデは丁寧。	①ソボソボしたやや粗い素地。黒色鉱物を少量含む。②還元焰。普通。 ③暗赤褐5YR3/2。内面はやや明度高い。
9 杯(須恵)	口(13.2) 底 8.7 高 3.3	C区誠龍坑 Ⅴ個体	右回転クロー→回転へら切り。外底縁部の一部にきわめて弱い手持ちのへら削りを加える。クロー痕弱く不明瞭。	①やや砂質の素地。黒色鉱物、チャート等を少量含む。②やや硬調の還元焰。 ③灰白10Y7/1。ほぼ一様。
10 杯(須恵)	口(13.0) 底 8.7 高 3.6	C区6~8a層 口Ⅴ底Ⅴ	右回転クロー→外底全面回転利用のへら削り。クロー痕はきわめて弱い。	①ゴサゴサしたやや軽質な素地。黒色鉱物、チャート等を含む。②還元焰。やや硬調。 ③灰白10Y8/1。ほぼ一様。
11 陶甕	脚下(15.0)	C区誠龍坑 脚一箇の1単位のみ残存	窓は12個か。外面から強く穿っており切り口は平滑だがはみ出した粘土は調整していない。	①素地緻密。黒色鉱物、片岩等を含んでいる。 ②還元焰の還元焰で焼き過ぎる。 ③灰10Y6/1。外面はムラ多く隆起輪むずかからず。

旧渡路跡の窪地出土漆附着の土器 (本文134頁 P L-38)

No.・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
漆-1 杯(土師)	口(13.2)	3区埋没土3片 口 瓦 底 瓦	丁寧な作りの杯である。外底の削りは朝 いが平滑で口縁下半の無調整部分も目立 たない。内底のナデは同心円状の規則的 な磨痕が流る。	①素地普通。混入物少ない。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい焼5YR6/4。 ④内面の広い範囲にやや厚く漆が付着。
漆-2 瓶(真土)	口(7.4) 胴(9.0)	4区埋没土5片 胴示部の瓦	内面全体に指頭痕状の凹凸あり。特に肩 部付近で著しい。外面は粗いカキ目が通っ ている。	①素地普通。混入物少なく良好。 ②還元焰。普通。 ③灰白10Y8/1。
漆-3 杯(土師)	口 13.5程か	1区埋没内 口 小片	口縁外面に棱があり下半は無調整。外底 の削りはやや粗い。内面にも細かな凹凸 あり。	①素地普通。混入物は少ない。 ②酸化焰。普通。③にぶい焼7.5YR7/4。ほぼ一様。 ④口縁内面と外縁の一部にスス状の付着物あり。
漆-4 杯(土師)	口 13.0程か	埋没土 口 小片	外底の削り内底のナデともやや強い。	①素地普通。パミス、輝石等を少量含む。 ②酸化焰。普通。③にぶい焼5YR7/4。外底黒炭広い。
漆-5 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	平底気味の杯である。外底の削りは細か い。	①素地普通。赤褐色鉱物、1mm次の輝等を少量含む。 ②酸化焰。普通。③にぶい焼5YR5/4。ほぼ一様。 ④内面の漆はやや厚い。
漆-6 杯(土師)		4区埋没土 口 小片	残存部分では外面の削りやや粗。小破片 からの復元で傾き不安。	①素地普通。パミス以外の混入物は少ない。 ②酸化焰。普通。 ③外面黒色。内面にぶい焼7.5YR7/3。
漆-7 杯(土師)		埋没土 底 瓦	やや厚手の杯である。内底に細かな凹凸 あり。	①素地やや粗い。赤褐色鉱物まじりの砂粒を含む。 ②酸化焰。普通。③にぶい焼5YR7/3。ほぼ一様。 ④漆状の付着物は内外面ともやや薄い。
漆-8 杯(土師)		4区埋没土 口 小片	外底の削りやや粗い。口縁のナデは上端 のみで無調整部分が広い。	①素地普通。パミス、1mm次の輝等を少量含む。 ②酸化焰。やや酸調。③にぶい焼5YR7/4。 ④内面の漆は厚く、外面はやや薄い。

住居出土も編石 (P L-38)

No.	出土遺構	出土位置	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	重さ (g)	備	考
1	2号住居	南東隅床直上	粗粒安山岩	12.6	6.2	250		
2	2号住居	西壁下床直上28cm	滑結凝灰岩	11.8	4.3	200		
3	2号住居	南西隅床直上30cm	はんれい岩	13.7	6.5	740		
4	2号住居	南東隅床直上14cm	粗粒安山岩	13.5	7.3	510		
5	2号住居	西壁下床直上11cm	変質玄武岩	16.5	7.6	600		
6	4号住居	南壁下床直上	変質安山岩	13.1	4.7	350		
7	4号住居	南壁下床直上	ひん岩	11.5	5.1	340		
8	6号住居	東壁下床直上6cm	石英閃緑岩	10.8	4.6	270		
9	6号住居	南東隅床直上	滑結凝灰岩	11.7	5.0	250		
10	6号住居	フク土	粗粒安山岩	11.3	7.1	250		
11	9号住居	北西隅床直上	粗粒安山岩	12.7	5.5	250		
12	10号住居	西壁下床直上	粗粒安山岩	13.3	6.3	550		
13	12号住居	北壁下床直上	滑結凝灰岩	12.0	6.9	540		
14	12号住居	南東隅床直上	輝緑岩	13.0	6.0	490		
15	12号住居	北西隅床直上	石英閃緑岩	12.3	5.0	560		
16	12号住居	西壁下床直上	粗粒安山岩	15.7	6.7	490		
17	12号住居	北西隅床直上	変質安山岩	15.2	5.3	350		



# 写 真 图 版







黒書土器・円面硯・砥石



漆付着の土器

PL-2 漆様物質の顕微鏡写真



写真4, 漆4の透過光による写真(×100)



写真8, 漆8の透過光による写真(×200)



写真12, 漆6の透過光による写真(×100)



写真16, 漆8の透過光による写真(×400)



写真3, 漆2の偏射光による写真(×100)



写真7, 漆4の偏射光による写真(×100)



写真11, 漆6の偏射光による写真(×100)



写真15, 漆8の偏射光による写真(×400)



写真2, 漆1の透過光による写真(×200)



写真6, 漆2の透過光による写真(×100)



写真10, 漆5の透過光による写真(×100)



写真14, 漆7の透過光による写真(×400)



写真11, 漆1の偏射光による写真(×100)



写真5, 漆2の偏射光による写真(×100)



写真9, 漆5の偏射光による写真(×100)



写真13, 漆7の偏射光による写真(×100)





住居群全景(北から)



1号住居全景



1号住居遺物出土状態(南から)



1号住居セクション(西から)



2号住居全景(西から)



2号住居遺物出土状態



2号住居カマド遺物出土状態



2号住居カマドセクション



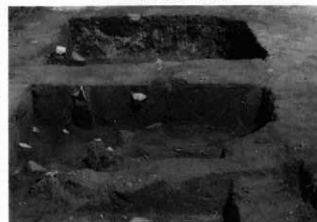
3号住居全景



3号住居遺物出土状態



3号住居セクション(東から)



3号住居セクション(南から)



4～7号住居全景



4号住居全景(西から)



4号住居壁下矢板跡(南西コーナー付近)



4号住居カマド掘り方セクション



4号住居カマド掘り方



5号住全景(西から)



5号住居カマドセクション



6号住居全景(西から)



6号住居遺物出土状態



6号住居カマド掘り方



6号住居セクション(西から)



6号住居貯蔵穴セクション



6号住居カマド掘り方セクション



7号住居全景(西から)



7号住居セクション(南から)



7号住居遺物出土状態



7号住居カマドセクション



8号住居全景(西から)



8号住居遺物出土状態(西から)



8号住居カマド遺物出土状態



8号住居カマド掘り方





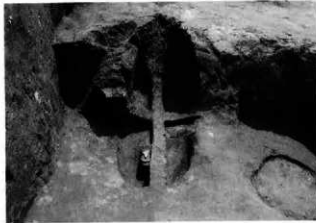
9号住居全景(西から)



9号住居セクション(南から)



9号住居遺物出土状態



9号住居カマド掘り方



10号住居全景(西から)



10号住居セクション(南から)



10号住居セクション



10号住居掘り方



11号住居全景(西から)



11号住居遺物出土状態



12号住居全景(西から)



12号住居遺物出土状態



12号住居セクション(西から)



12号住居カマド



12号住居カマドセクション



12号住居カマド掘り方



1号掘立柱建物全景(西から)



P2・P2'セクション



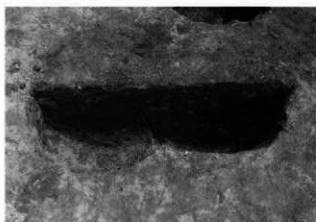
P3セクション



P4セクション



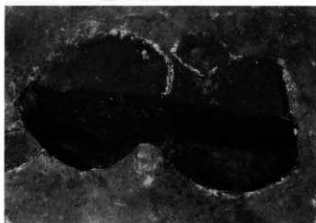
1・2号掘立柱建物全景(西から)



2号掘立柱建物P8セクション



2号掘立柱建物全景(南から)



2号掘立柱建物P6セクション

PL-12 1～4号土坑



1・2号土坑全景(西から)



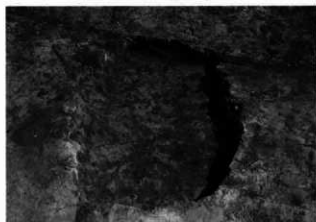
3・4号土坑(南から)



1号土坑(南から)



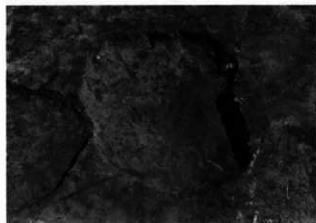
1号土坑セクション



2号土坑(南から)



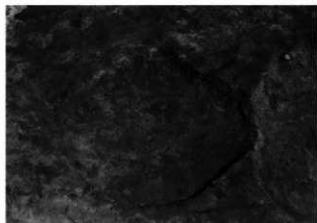
2号土坑セクション



3号土坑(南から)



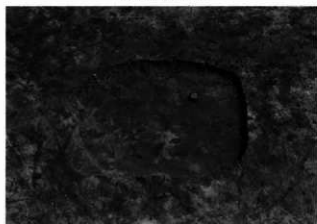
3号土坑セクション



4号土坑(南から)



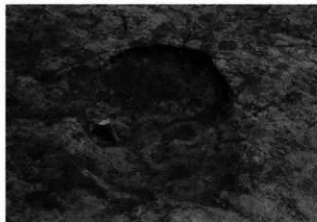
4号土坑セクション



5号土坑(南から)



5号土坑セクション



6号土坑(北東から)



6号土坑セクション

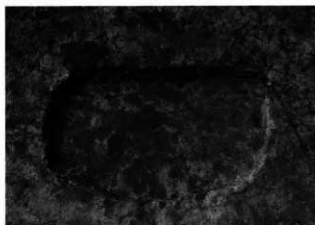


7号土坑(南から)

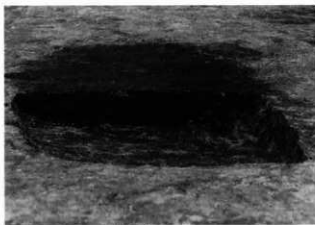


7号土坑セクション

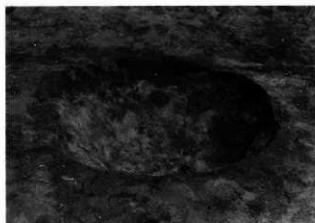
PL-14 8～12号土坑



8号土坑(北から)



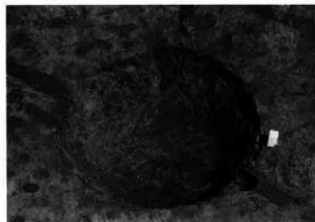
8号土坑セクション



9号土坑(西から)



9号土坑セクション



10号土坑(南から)



10号土坑セクション



11号土坑セクション



12号土坑遺物出土状態



流路跡の窪地の全景



1～4区全景



セクション



磁石出土状態



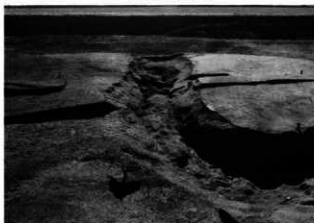
遺物出土状態



流路跡遺物出土状態



流路跡遺物出土状態



1号溝南半全景



1号溝セクション



1号溝北半全景



1号溝遺物出土状態



2号溝全景(南から)



3・4・5号溝全景(南から)

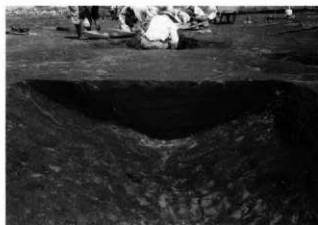




8・9・10号溝全景(東から)



6号溝セクション



8号溝セクション



9号溝遺物出土状態



10号溝セクション



C区水田全景(西から)



C区第1面水田



C区第1面水田(西から)



C区第2面水田(南西から)



C区第2面水田(南から)



A区水田全景(南東から)



A区水田(北東から)



A区水田(西から)



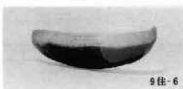
A区水田(南から)



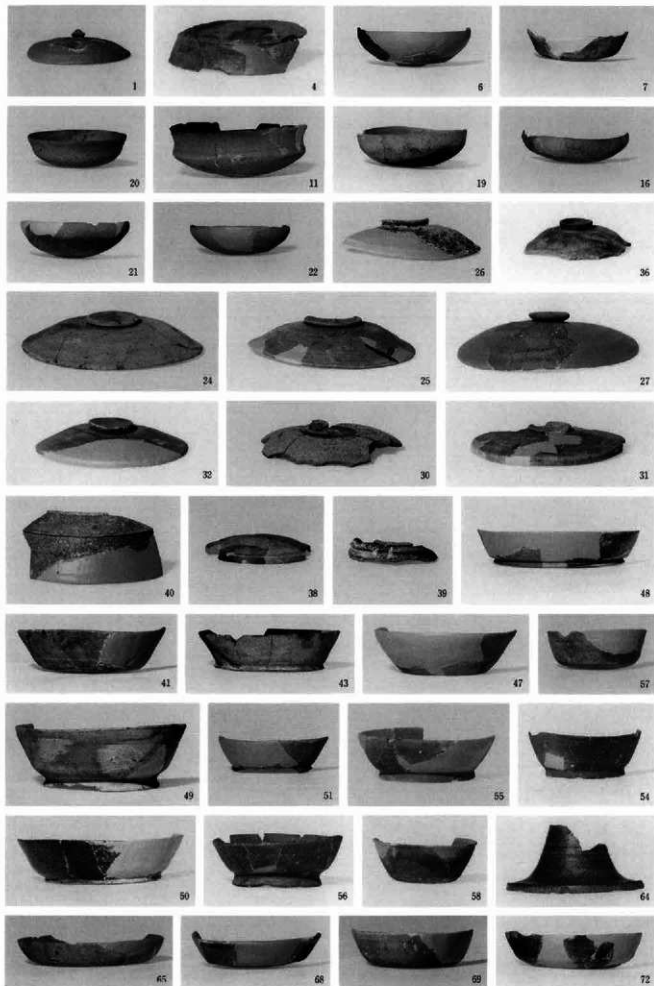
A区水田(南から)

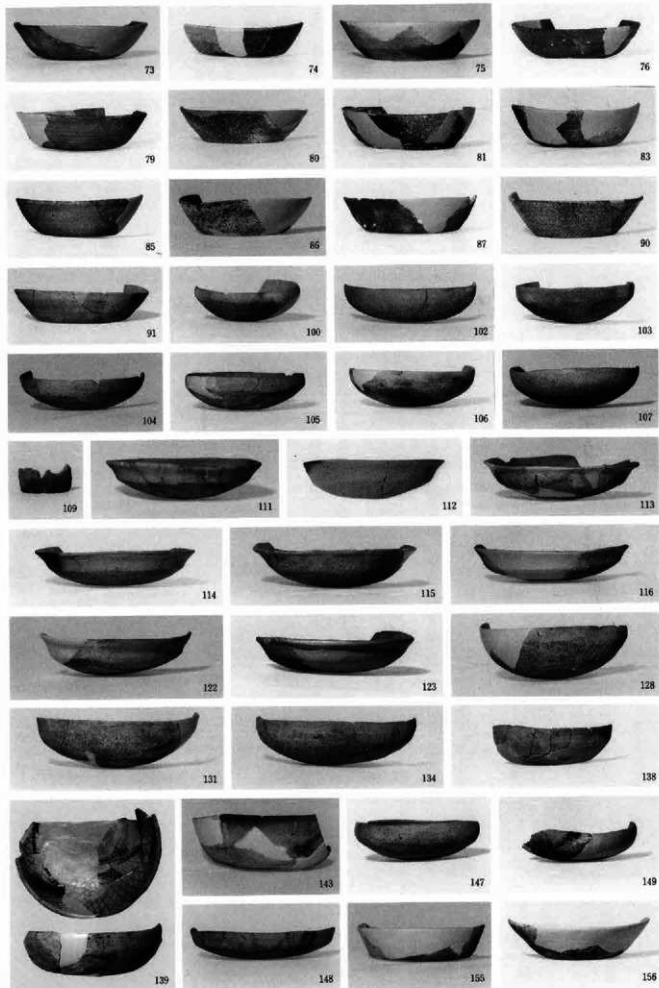
PL-20 竪穴住居出土遺物(2～8号住居)



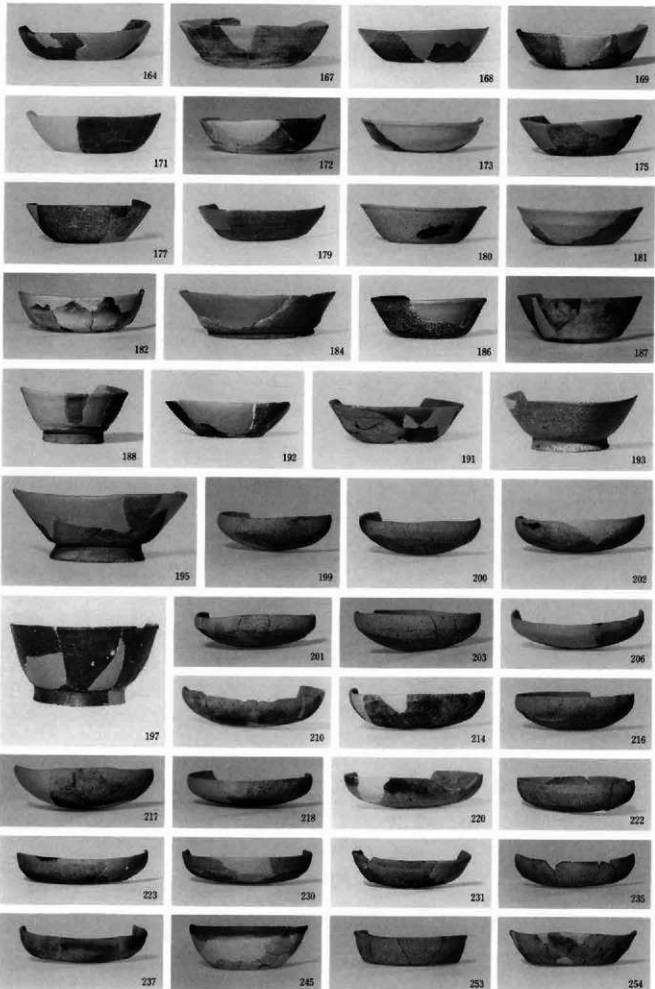


PL-22 流路跡の窪地出土遺物(1~72)

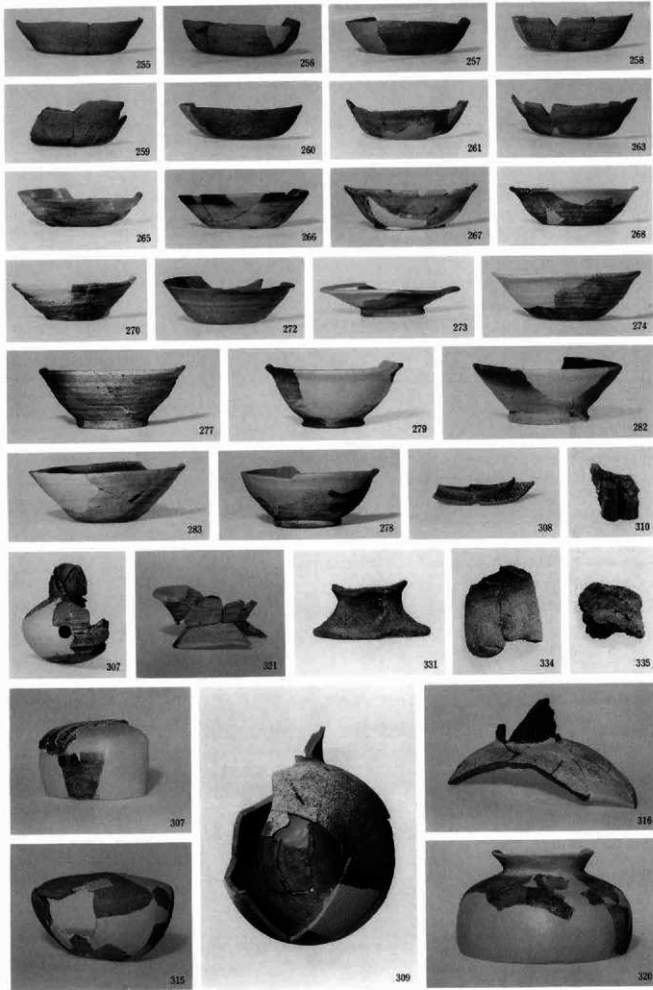


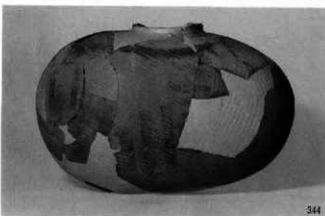


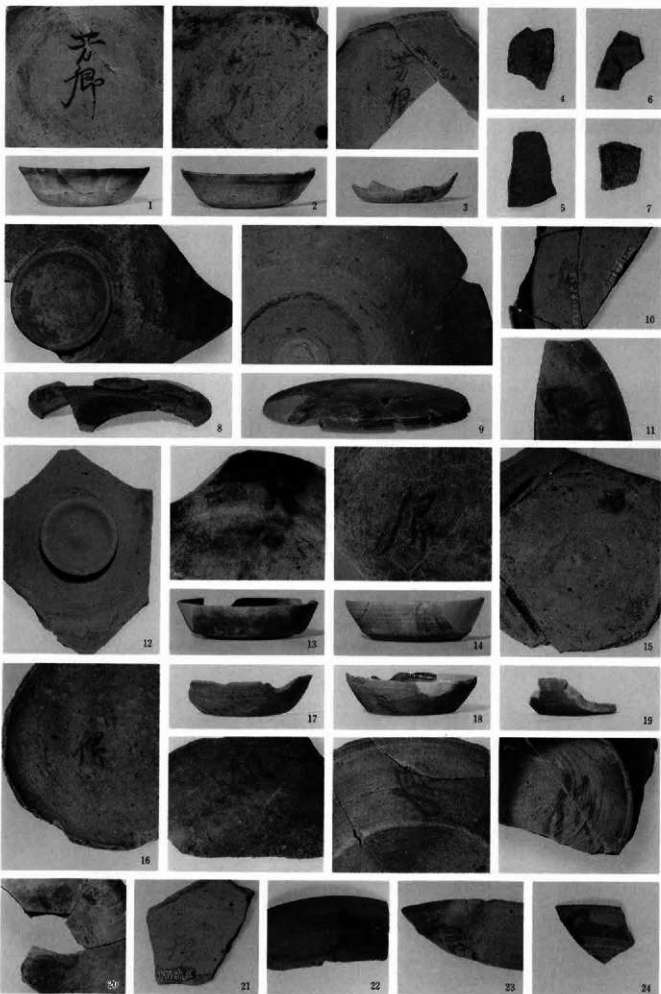
PL-24 流路跡の窪地出土遺物(164~254)



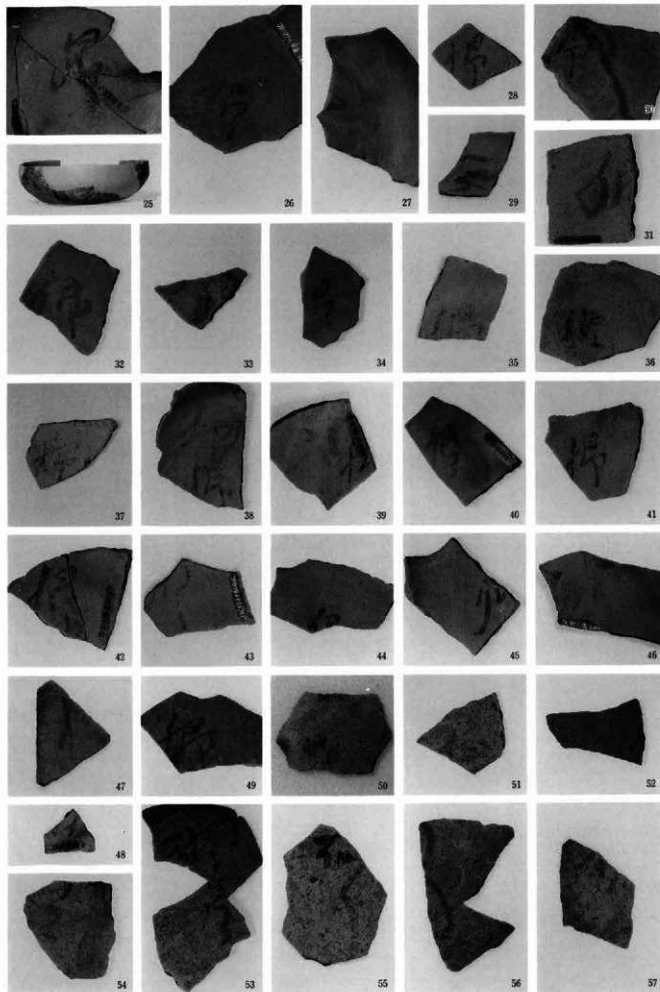


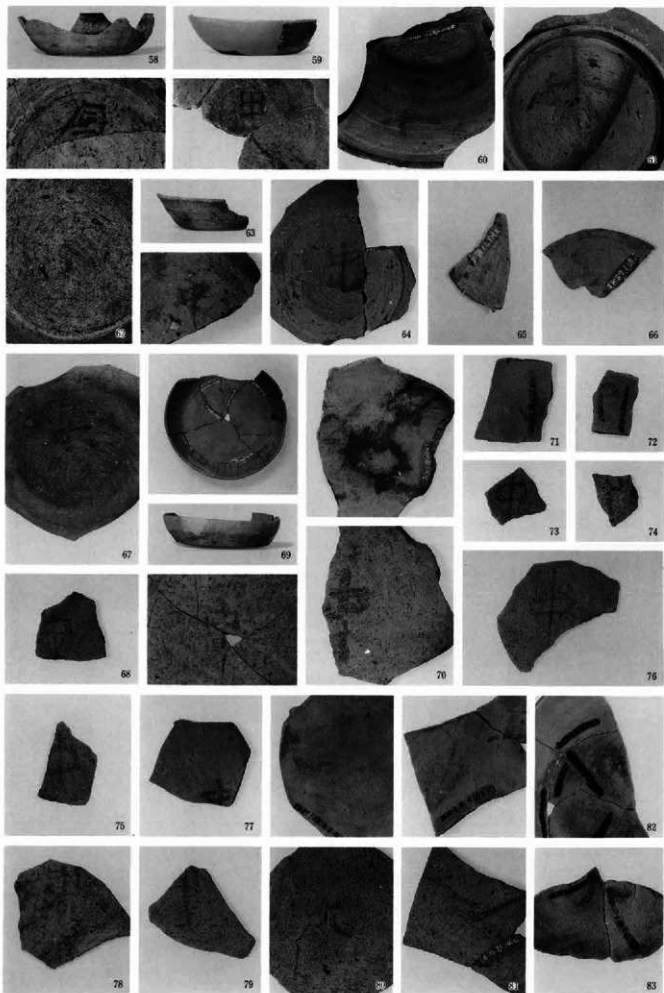




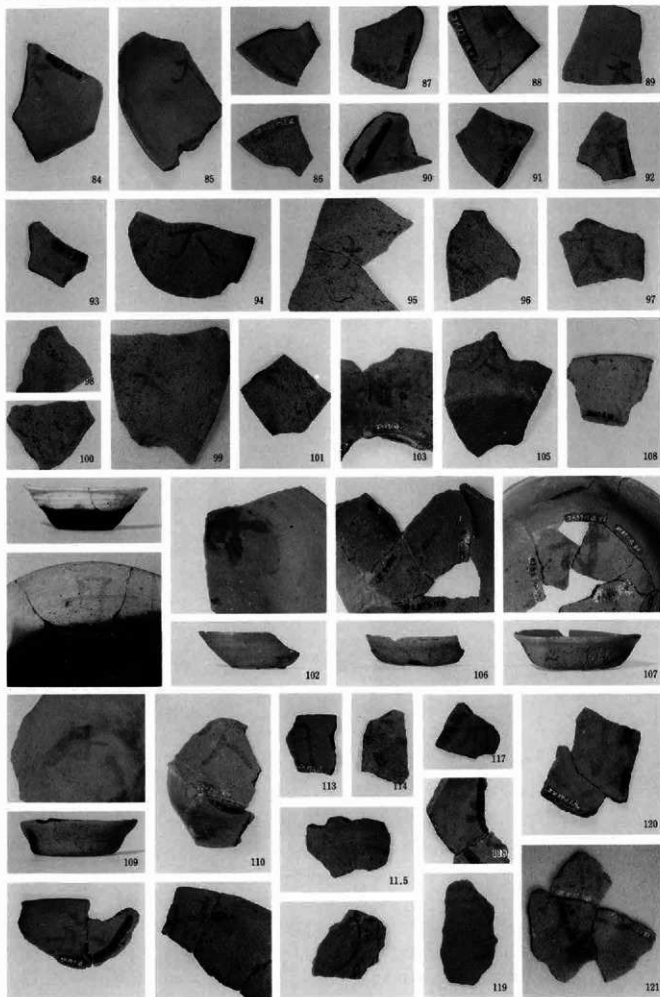


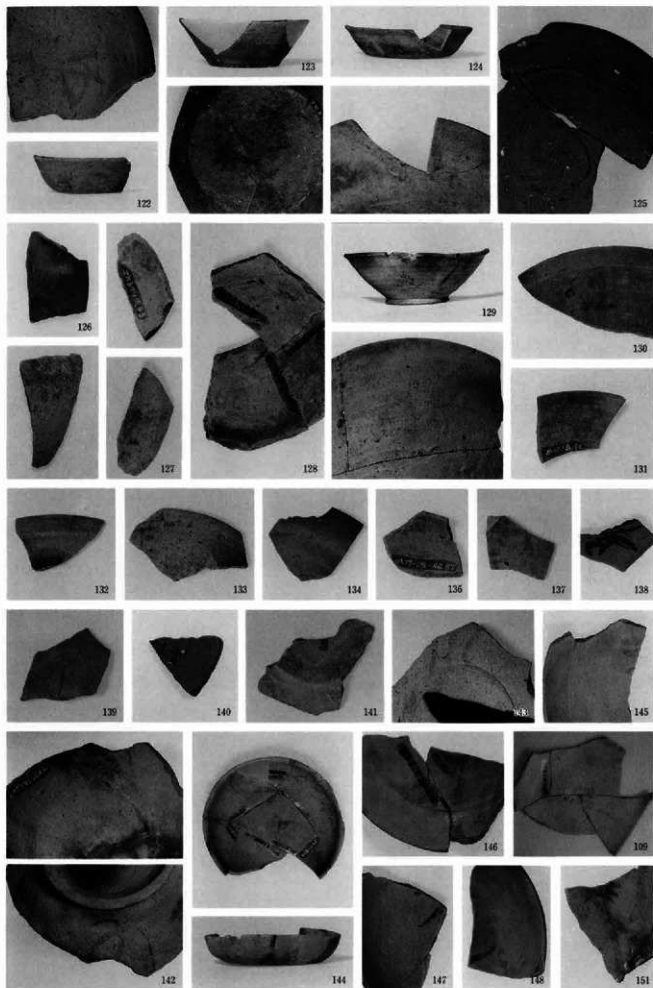
PL-28 窪地出土の墨書土器(25~57)



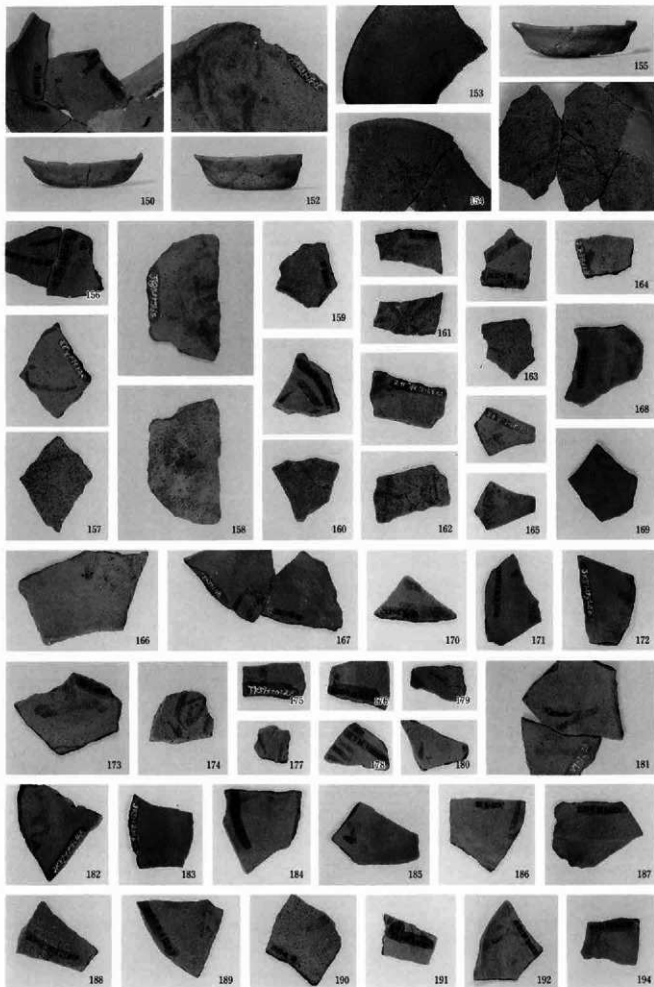


PL-30 窪地出土の墨書土器(84~121)

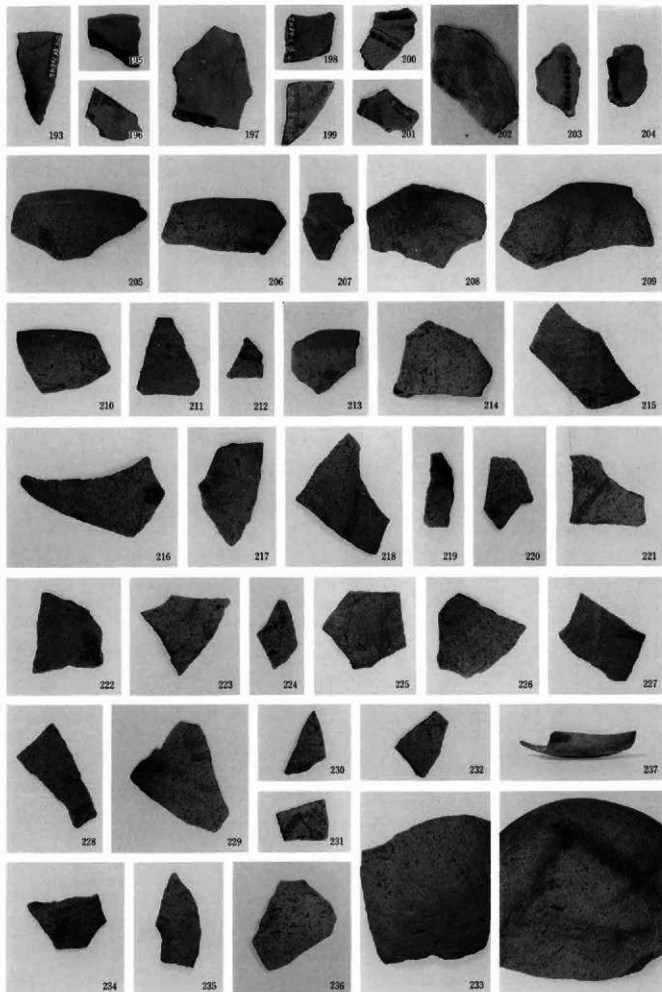




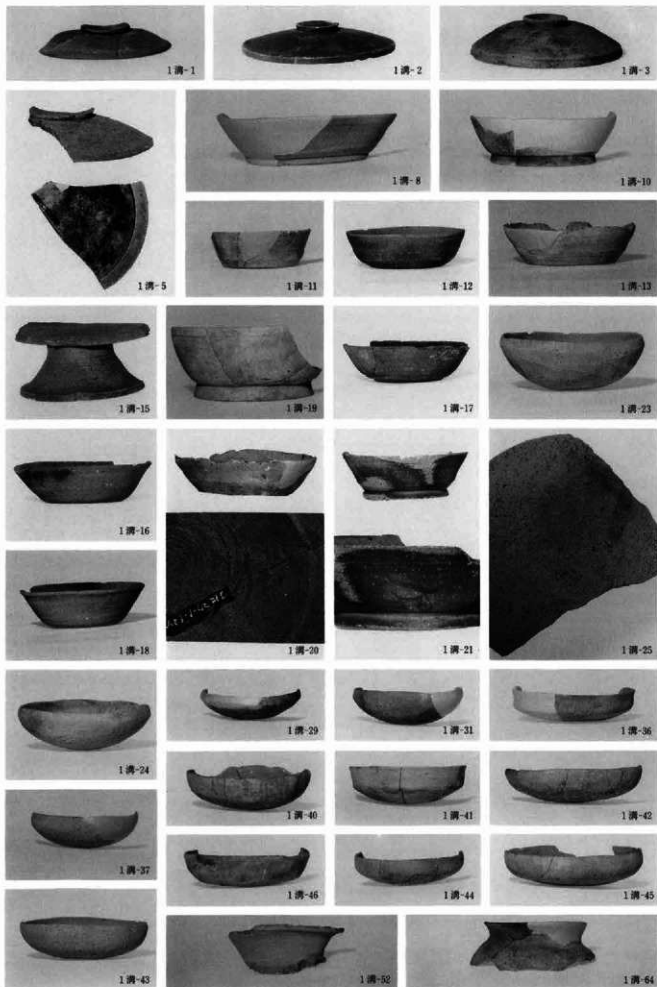
PL-32 窪地出土の墨書土器(150~194)

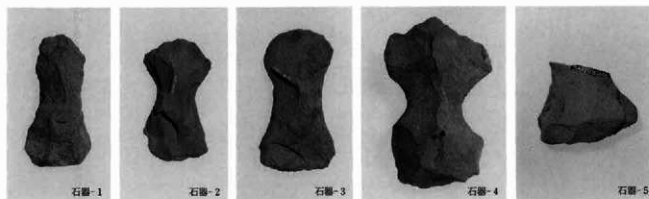
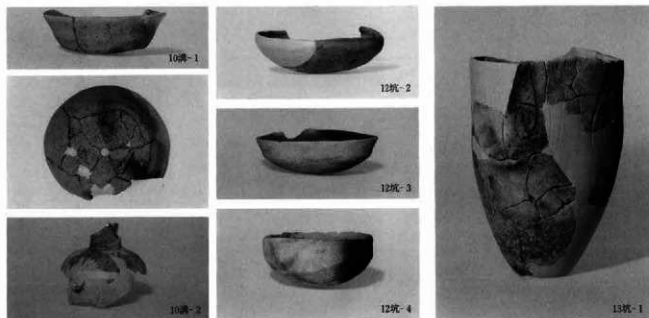
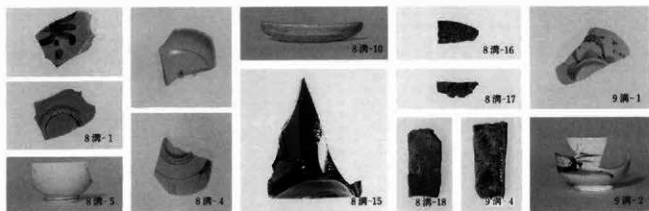




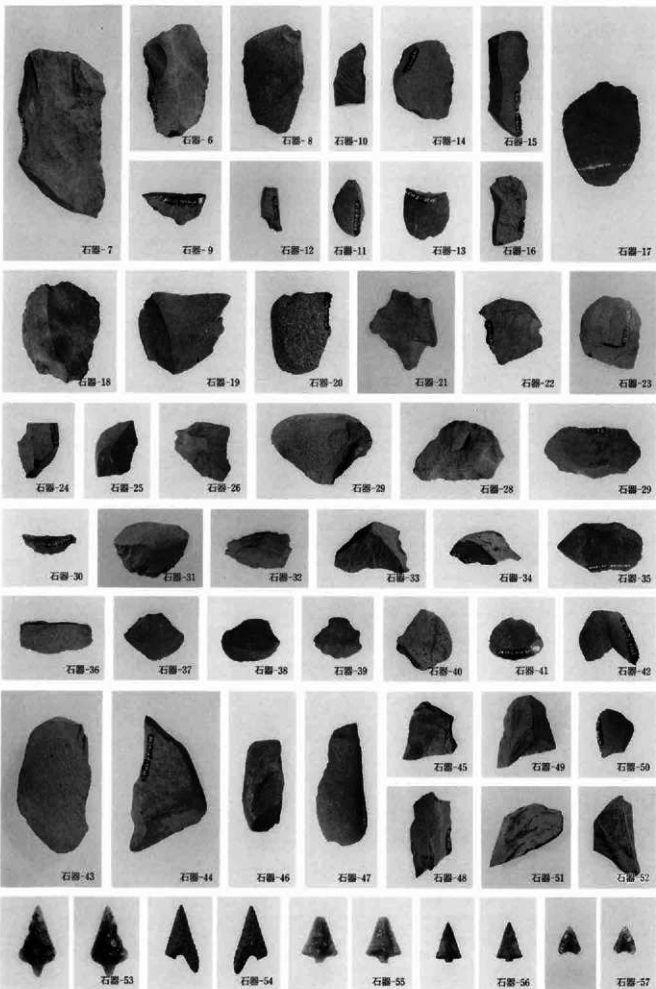


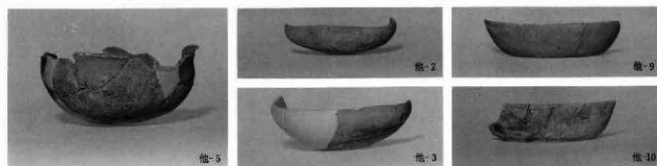
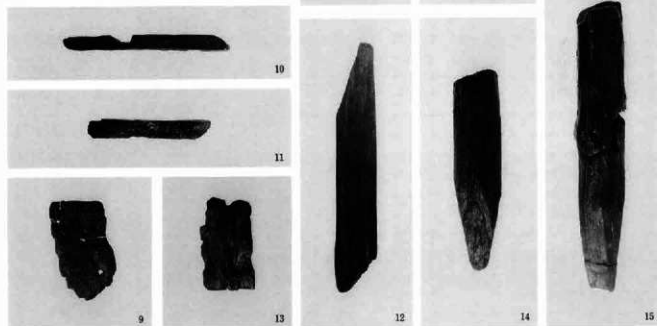
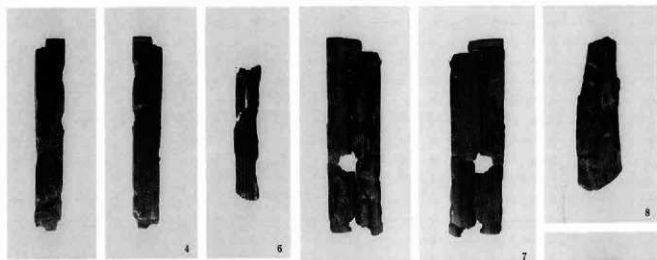
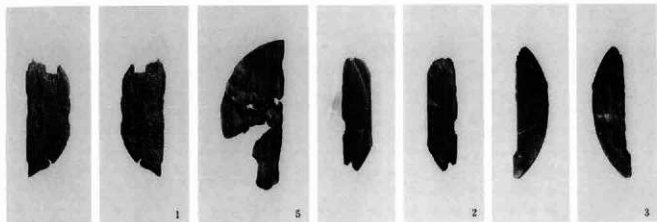
PL-34 1号溝出土遺物

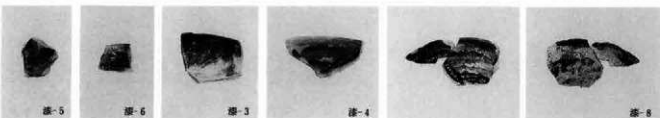
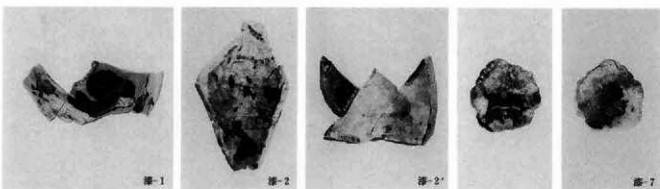
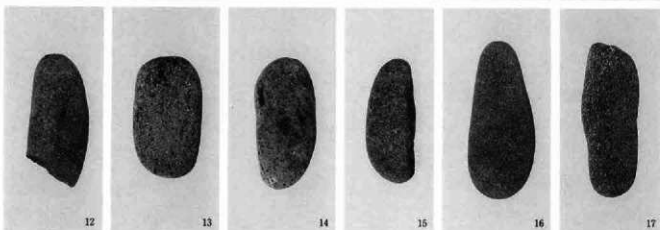
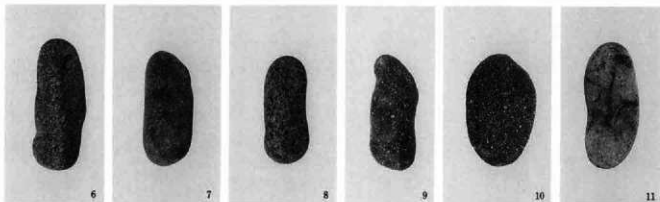
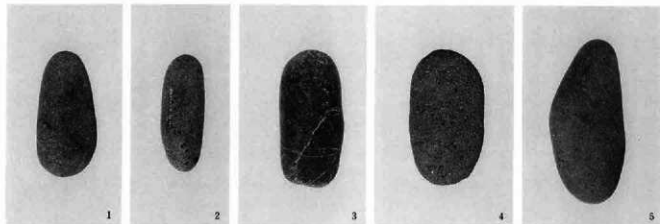


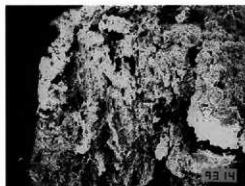


PL-36 縄文時代の石器





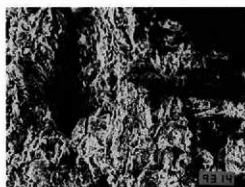




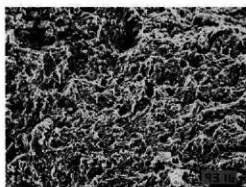
×35



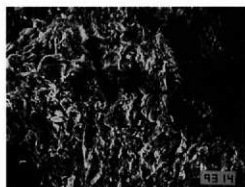
×35



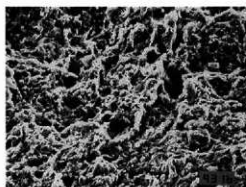
×350



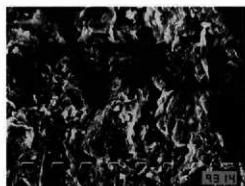
×350



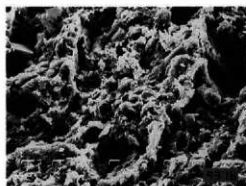
×750



×750



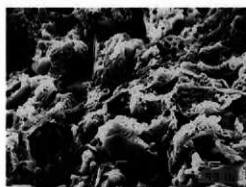
×1500



×1500



×5000

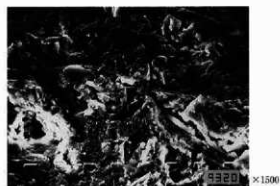
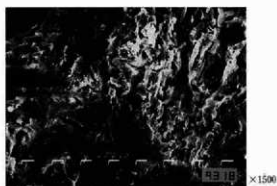
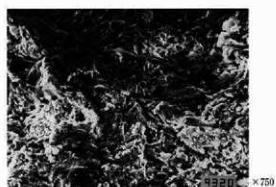
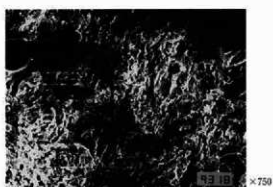
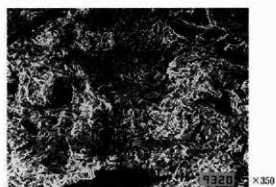
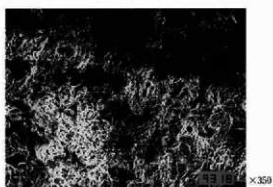
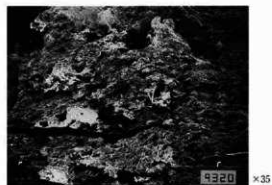
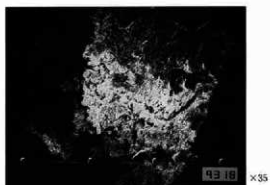


×5000

分析試料No 1 電子顕微鏡写真

分析試料No 3 電子顕微鏡写真

PL-40 胎土分析電子顕微鏡写真(2)



分析試料No.5 電子顕微鏡写真

分析試料No.7 電子顕微鏡写真





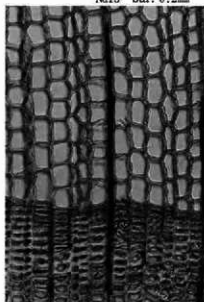
1 a. マツ属単維管束亜属 (横断面)  
No13 bar: 0.2mm



1 b. 同 (接線断面) bar: 0.2mm



1 c. 同 (放射断面) bar: 0.05mm



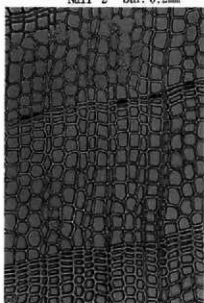
2 a. モミ属 (横断面)  
No11-2 bar: 0.2mm



2 b. 同 (接線断面) bar: 0.2mm



2 c. 同 (放射断面) bar: 0.1mm



3 a. ヒノキ属 (横断面)  
No 5 bar: 0.2mm

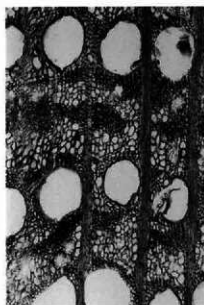


3 b. 同 (接線断面) bar: 0.2mm



3 c. 同 (放射断面) bar: 0.05mm

PL-42 木製品の樹種顕微鏡写真(2)



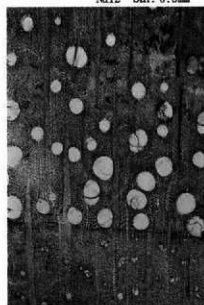
4 a. ケヤキ (横断面)  
No12 bar: 0.5mm



4 b. 同 (接線断面) bar: 0.2mm



4 c. 同 (放射断面) bar: 0.2mm



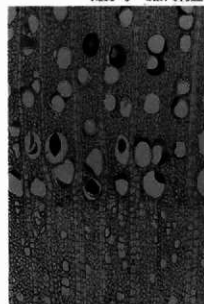
5 a. ヤマグワ (横断面)  
No11-3 bar: 0.5mm



5 b. 同 (接線断面) bar: 0.2mm



5 c. 同 (放射断面) bar: 0.2mm



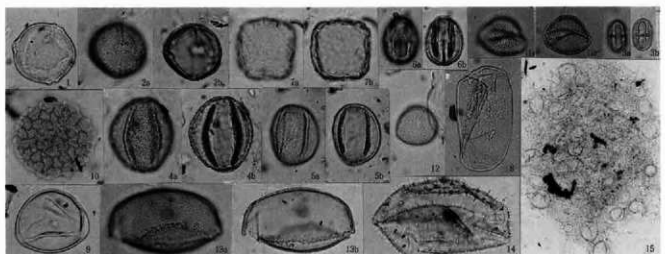
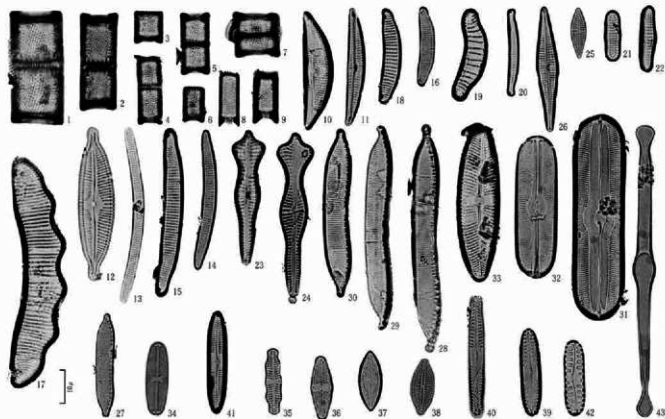
6 a. モモ (横断面)  
No11-1 bar: 0.2mm



6 b. 同 (接線断面) bar: 0.2mm



6 c. 同 (放射断面) bar: 0.1mm



No	珪藻化石類名	図版 No.	No	珪藻化石類名	図版 No.	No.	花粉化石名	図版 No.
1	<i>Aelicostis stellig</i> var. <i>valida</i> (Grun.) Siimonsen	12	14	<i>E. lenaris</i> var. <i>subarctica</i> (Haug.) Grunow	16	26	<i>C. gracile</i> Ehrenberg	12
2	<i>A. stellig</i> var. <i>valida</i> (Grun.) Siimonsen	16	15	<i>E. pectinatis</i> (Kuetz.) Rabenhorst	16	27	<i>Sentazschia amphioxys</i> (Ehr.) Grunow	22
3	<i>A. ambigua</i> (Grun.) Siimonsen	12	16	<i>E. pectinatis</i> var. <i>minor</i> (Kuetz.) Rabenhorst	16	28	<i>E. amphioxys</i> (Ehr.) Grunow	16
4	<i>A. ambigua</i> (Grun.) Siimonsen	12	17	<i>E. pectinatis</i> var. <i>minor</i> (Kuetz.) Rabenhorst	20	29	<i>E. amphioxys</i> (Ehr.) Grunow	12
5	<i>A. ambigua</i> (Grun.) Siimonsen	16	18	<i>E. duplisoraphis</i> H. Kubayasi	12	30	<i>E. amphioxys</i> (Ehr.) Grunow	22
6	<i>A. ambigua</i> (Grun.) Siimonsen	16	19	<i>E. procrepta</i> Ehrenberg	1	31	<i>Navicula americana</i> Ehrenberg	16
7	<i>A. distans</i> (Ehr.) Siimonsen	12	20	<i>E. stellig</i> A. Cleve	22	32	<i>N. bacillula</i> Ehrenberg	16
8	<i>A. stellig</i> (Ehr.) Siimonsen	12	21	<i>E. stellig</i> var. <i>asiatica</i> Skvorцов	16	33	<i>N. elliptica</i> var. <i>constricta</i> H. Kubayasi	1
9	<i>A. stellig</i> (Ehr.) Siimonsen	22	22	<i>E. monodon</i> var. <i>asiatica</i> Skvorцов	12	34	<i>N. elliptica</i> Kuetzing	16
10	<i>Amphioxys affinis</i> Kuetzing	22	23	<i>E. monodon</i> var. <i>asiatica</i> Skvorцов	16	35	<i>N. ligulata</i> Krasche	20
11	<i>Navicula gracilis</i> (Rab.) Cleve	16	24	<i>C. conchiformis</i> Siimonsen	16	36	<i>N. elliptica</i> Kuetzing	20
12	<i>Naviculaiformis</i> Americanoid	12	25	<i>C. conchiformis</i> Ehrenberg	12	37	<i>N. confusissima</i> (Kuetz.) Grunow	16
13	<i>Senecella lenaris</i> (Ehr.) Grunow	22	26	<i>C. parvulus</i> Kuetzing	20	38	<i>N. haenkei</i> Kuetzing	16
			27	<i>C. parvulus</i> Kuetzing	20	39	<i>Fenularia intermedia</i> (larger) Cleve	22
			28	<i>C. parvulus</i> Kuetzing	20	40	<i>F. subopisthata</i> Gregory	20
			29	<i>C. parvulus</i> Kuetzing	20			
			30	<i>C. parvulus</i> Kuetzing	20			
			31	<i>C. parvulus</i> Kuetzing	20			
			32	<i>C. parvulus</i> Kuetzing	20			
			33	<i>C. parvulus</i> Kuetzing	20			
			34	<i>C. parvulus</i> Kuetzing	20			
			35	<i>C. parvulus</i> Kuetzing	20			
			36	<i>C. parvulus</i> Kuetzing	20			
			37	<i>C. parvulus</i> Kuetzing	20			
			38	<i>C. parvulus</i> Kuetzing	20			
			39	<i>C. parvulus</i> Kuetzing	20			
			40	<i>C. parvulus</i> Kuetzing	20			
			41	<i>C. parvulus</i> Kuetzing	20			
			42	<i>C. parvulus</i> Kuetzing	20			
			43	<i>C. parvulus</i> Kuetzing	20			



群馬県埋蔵文化財調査事業団  
発掘調査報告第166集

二之宮洗橋遺跡 写真図版編 一般国道17号(上武道路)改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書  
観察表

平成6年3月15日 印刷

平成6年3月25日 発行

編集・発行／財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団  
勢多郡北橋村大字下箱田784-2  
電話 (0279) 52-2511(代表)

印刷／朝日印刷工業株式会社